Panasonic®

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 DMC-LX5

本書では、本機の操作方法を説明しています。
別冊の「パソコン接続編 取扱説明書」もあわせてお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(6～9ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

VQT2W82-2

安全上のご注意

はじめに

準備

基本

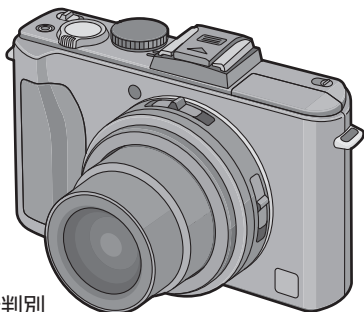
応用・撮影

応用・再生

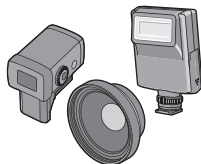
他の機器との接続

その他Q＆A

大切な瞬間を 楽しく カンタンに 撮る・

撮る P36

おまかせで撮る
(P39)
- カメラが自動でシーンを判別
  「インテリジェントオートモード」

ズームで撮る
(P42)
- 撮りたい焦点距離で撮る
  「ステップズーム」
- 超解像技術を利用してズームをさらに伸ばす
  「iAズーム」など

動画を撮る
(P82)
- ボタンひとつで動画撮影
- ハイビジョン動画を長時間撮影
  「AVCHD Lite」（1280×720画素）
- 動画撮影中でもズーム操作可能

アクセサリー
(P152)
- 機能を拡張する
  「外部ライブビューファインダー」、「ワイドコンバージョンレンズ」など

各機器にSDカードスロットがある場合は、カードを直接スロットへ!

- SDHCメモリーカード(別売)
  →SDHCメモリーカード対応機器および
  SDXCメモリーカード対応機器で使用できます。
- SDXCメモリーカード(別売)
  →SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。

見る・残す LUMIX（ルミックス）

見る

- テレビで見る

SDカード　AVケーブル
HDMIミニケーブル（別売）

残す

- ご家庭のプリンターで手軽にプリント
  （PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンター）
- お店でカードを渡してプリント
- 画像に日付を入れてプリント（P151）

SDカード　USB接続ケーブル

さらに 活かす、残す！

付属のソフトウェア
「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使って…

- 画像をパソコンに保存　● 画像をDVDに書き込む
- 複数の画像をパノラマ合成
- お好みの音楽や効果を付けてスライドショーを作成
- パソコンで画像をメール送信
- パソコンで画像を直接操作してプリント

SDカード　USB接続ケーブル

- ハードディスク･BD/DVDレコーダーで保存
  ※詳しくは、各機器の取扱説明書をお読みください。

SDカード　AVケーブル
ACアダプター（別売）

もくじ

はじめに

準備

基本

応用・撮影

→「安全上のご注意」を必ずお読みください（6～9ページ）

応用・再生

他の機器との接続

その他・Q & A

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ･発熱･発火･破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕･⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災·感電の原因になります。

・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

電源プラグは、正しく扱う

火災·感電·ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災·感電·ショートの原因になります。

- 加工しない·傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災·感電·故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。
- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードやホットシューカバーは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。
- 本体やチャージャーには、金属部があります。

ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。
- 首に掛けての使用はしない

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離（数cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

レンズキャップやひもを持って、本機をぶら下げたり、振り回したりしない

ひもが切れて本機が落下し、けがや破損の原因になることがあります。

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

- **レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。また、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入らないようにお気をつけください。**
- **本機を落としたり、ぶつけたりして、強い振動や衝撃を与えないでください。また、本機に強い圧力をかけないでください。**
  誤動作や、画像が記録できなくなる、またはレンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんなどに無理に入れたりしないでください。
- **下記の場所では、故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。**
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ
- **本機は防水構造ではありません。万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。**
  正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ つゆつきについて(レンズがくもるとき)…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

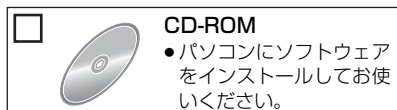
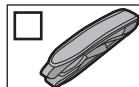
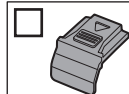
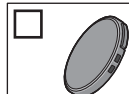
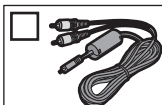
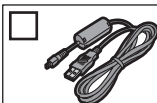
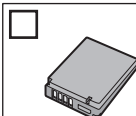
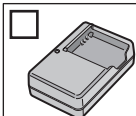
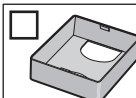
■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、あわせてお読みください(P175)

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は2010年7月現在のものです。変更されることがあります。

品名	品番・説明
CD-ROM	●パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。
ショルダーストラップ	VFC4324
ホットシューカバー ※	VYF3287
レンズキャップ※	VYF3361
レンズキャップひも	VFC4366
レンズリングフロント※	VGK3662（本体への装着位置は12ページをご確認ください）
AVケーブル	K1HA08CD0028
USB接続ケーブル	K1HA08AD0002
バッテリーパック	DMW-BCJ13（本文中では**バッテリー**と表記します）●充電してからお使いください。
バッテリーチャージャー	DE-A81A（本文中では**チャージャー**と表記します）
バッテリーケース	VGQ0N97

※お買い上げ時はカメラ本体に装着されています。

- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については152ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

はじめに

各部の名前

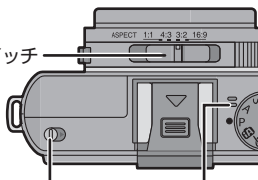
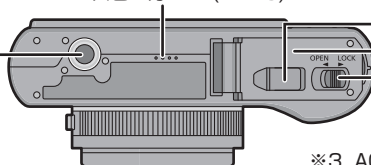
後ダイヤル

(P38、45、46、62、65、66、68、88、108)

本書では、後ダイヤルを右図のように説明しています。

後ダイヤルの操作方法については、14ページをお読みください。

例:左右に回すとき

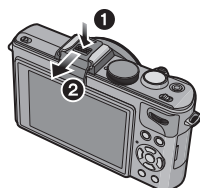
例:後ダイヤルを押すとき

※1 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

※2 スピーカーを指でふさがないでください。
また、水などでぬらさいないように、お気をつけください。

※3 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC5)とDCカプラー(別売:DMW-DCC7)を使用してください。接続について、詳しくは21ページをお読みください。

ホットシューカバーを取り外す

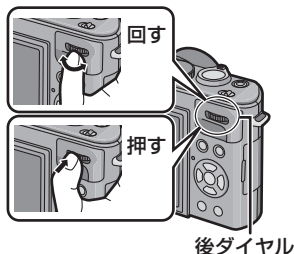
お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。
外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)(P154)、外部光学ファインダー(別売:DMW-VF1)(P156)または外部フラッシュ(P157)をご使用の場合は、ホットシューカバーを取り外してください。

ホットシューカバー取り外しボタン❶を押しながら、矢印の方向❷に引いて取り外す

お知らせ

- **外部ライブビューファインダー(別売)、外部光学ファインダー(別売)または外部フラッシュ(別売)をご使用にならないときは、必ずホットシューカバーを取り付けてください。**
- **ホットシューカバーの紛失にお気をつけください。**
- ホットシューカバーを取り外している場合は、専用コネクターに液体や砂、異物などが入らないようにお気をつけください。

後ダイヤルを操作する

後ダイヤルは左右方向に回す操作と押して決定する操作との2とおりあります。

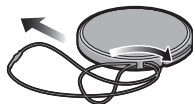
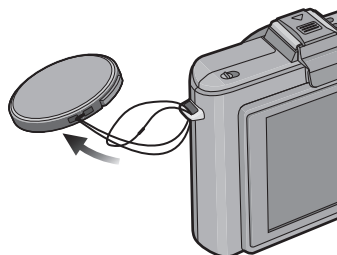
撮影・再生画面での操作の例

	回す	押す
撮影時	プログラムシフト(P38)、マニュアルフォーカス(P68)、絞り(P65)、シャッタースピード(P65)の調整など	露出補正操作への切り換え(P62)、マニュアルフォーカス操作への切り換え(P68)など
再生時	1画面再生、マルチ再生(P45)、カレンダー検索(P125)、再生ズーム(P46)時の画像送り	マルチ再生中、カレンダー検索時の画像選択

お知らせ

- 動画撮影中に後ダイヤルを操作すると、ダイヤル操作音が記録されますのでお気をつけください。

レンズキャップを付ける

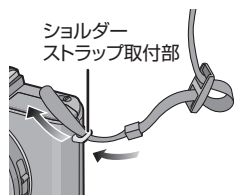
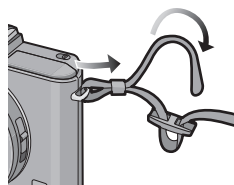
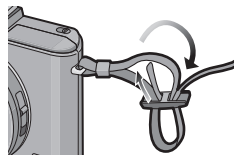
- 電源スイッチを[OFF]にしているときや持ち運びするときは、レンズ面の保護のため、レンズキャップを取り付けてください。

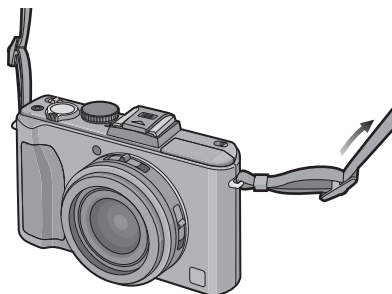
1 レンズキャップにひもをとおす

2 カメラにレンズキャップひもをとおす

3 レンズキャップを付ける

- レンズキャップを外して撮影してください。
- レンズキャップひもを付けた状態で本機をぶら下げたり振り回したりしないでください。
- **レンズキャップの紛失にお気をつけください。**

ショルダーストラップを付ける

● 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをおすすめします。

1 ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取付部にとおす

2 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングにとおしたあと、留め具にとおす

3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴にとおす

4 ショルダーストラップのもう一方を引いて、抜けないことを確認する

● 手順**1**～**4**の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

お知らせ

● ショルダーストラップは必ず手順に従って正しく取り付けてください。
● ショルダーストラップがしっかり付けられていることを確認してください。
● LUMIX のロゴが外側になるように付けてください。

バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2010年7月現在)

本機で使えるバッテリーはDMW-BCJ13です。

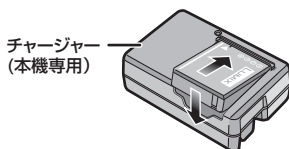
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。 なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。
- 本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー(DMW-BCJ13)は、この機能に対応しています。(この機能に対応していない従来のバッテリーは使用できません)(P177)

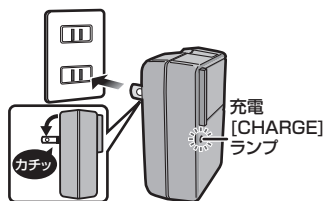
準備

■ 充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。
- 充電は周囲の温度が10 ℃～30 ℃(バッテリーの温度も同様)のところで行うことをおすすめします。

1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

チャージャー
(本機専用)

電源コンセントに差し込む

- 充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください。

■ 充電ランプの表示について

[点灯する]: 充電が開始され充電ランプが点灯します。

[消灯する]: 充電が正しく完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。

●点滅するときは

・バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをおすすめします。

・チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

バッテリーを充電する（つづき）

■ 充電について

充電時間	約155分

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

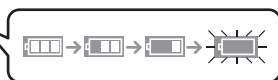
別売のバッテリーパック（DMW-BCJ13）の充電時間と記録可能枚数は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。

■ バッテリー残量表示について

残量表示が画面※に表示されます。

※ 画面とは、本機の液晶モニターと、外部ライブビューファインダー（別売：DMW-LVF1）選択時の画面を指します。

[ACアダプター（別売）につないで使用するときは表示されません]

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。（液晶モニターが消灯しているときは、動作表示ランプが点滅します）
  バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

お知らせ

- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
- **チャージャーは海外でも使うことができます。（P161）**
- **電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**

使用時間と撮影枚数のめやす

写真記録[液晶モニター/ 外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)使用時]

記録可能枚数	約400枚	条件はCIPA規格でプログラム AE モード時
撮影使用時間	約200分	

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%RH、液晶モニターを点灯
- 当社製のSDメモリーカード(32 MB)使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始(手ブレ補正[AUTO]使用)
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば2分に1回撮影した場合は、上記(30秒に1回撮影)の枚数の約1/4になります]

動画撮影[液晶モニター/ 外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)使用時]

	AVCHD Lite (画質設定を[SH]([SH])で撮影)	MOTION JPEG (画質設定を[HD]([HD])で撮影)
連続撮影可能時間	約140分	約140分※
実撮影可能時間	約70分	約70分※

- 温度23 ℃/湿度50%RH の環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源の [ON]/[OFF] 切り換え、撮影の開始 / 終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

※ **[MOTION JPEG] で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。**画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

再生[液晶モニター/ 外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)使用時]

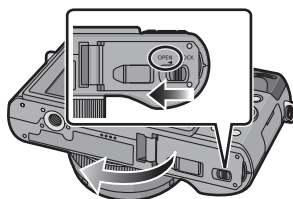
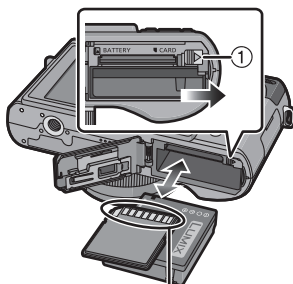
再生使用時間	約360分

お知らせ

- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は短くなります。
  ・スキー場などの低温下
  ・[オートパワーLCD] または [パワーLCD](P28)使用時
  ・フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返した場合
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

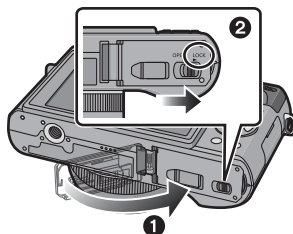
バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

2 バッテリー:
向きに気をつけて、①のレバーでロックされるまで入れる
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード:
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

3 ❶カード/バッテリー扉を閉じる
❷開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

- カード/バッテリー扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出し、カードの向きを確認してからもう一度入れ直してください。

お知らせ

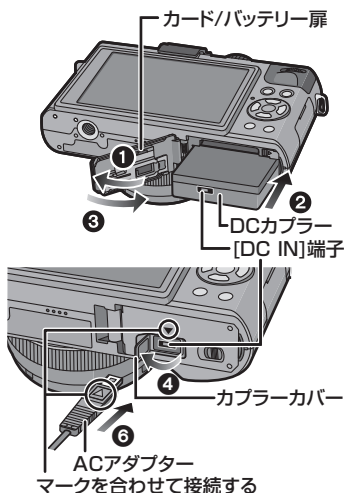
- 使用後は、バッテリーを取り出して、バッテリーケース(付属)に収納してください。
- 液晶モニターや動作表示ランプ(緑)が点灯した状態でバッテリーを取り出さないでください。カメラの設定が正しく保存されない可能性があります。
- 付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。
- バッテリーは当社製のものをお使いください。
- バッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、動作表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

■ バッテリーの代わりにACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使う

ACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC7)は、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

❶ カード/バッテリー扉を開く
❷ DCカプラーを向きに気をつけて入れる
❸ カード/バッテリー扉を閉じる
- カード/バッテリー扉は確実に閉じてください。

❹ カプラーカバーを開ける
- 開けにくい場合は、カード/バッテリー扉を開いた状態で、内側からカプラーカバーを押して開けてください。

❺ ACアダプターを電源コンセントに差し込む
❻ ACアダプターをDCカプラーの[DC IN]端子に接続する
- 必ず本機専用のACアダプターおよびDCカプラーを使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。

お知らせ

- 三脚の種類によっては、DCカプラー接続時に取り付けることができないものがあります。
- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをおすすめします。
- ACアダプター接続時にカード/バッテリー扉を開くときは、必ずACアダプターを抜いてください。
- 使わないときは、ACアダプターおよびDCカプラーを取り外し、カプラーカバーを閉じておいてください。
- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。
- 別売品については、152ページをお読みください。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプターの使用をおすすめします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合：
内蔵メモリーで画像の記録・再生**
- **カードを挿入している場合：
カードで画像の記録・再生**

内蔵メモリーの場合
IN　→IN（アクセス表示※）
カードの場合
→（アクセス表示※）
※アクセス表示は赤く点灯します。

内蔵メモリー

- **記録した画像はカードにコピーすることができます。(P137)**
- **容量：約40 MB**
- **記録できる動画：QVGA(320×240画素)のみ**
- カードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

本機で使えるカードの種類	備考
SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/ miniSDカード※1/microSDカード※1	● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。 ● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。 ● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/ microSDHCカード※1	
SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)	

※1 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。(アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、カードを入れてお使いください。)

- 4 GB～32 GBのカードはSDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。
- 48 GB、64 GBのカードはSDXCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。
- [AVCHD Lite]で動画撮影の際は、SDスピードクラス※2 が「Class4」以上のカードを使用してください。また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。

※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/**

お知らせ

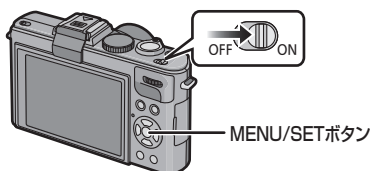
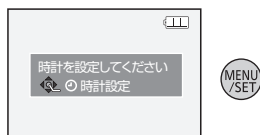
- **アクセス表示点灯中[画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット(P33)中など]は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売)を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。
カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。**
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P33)

書き込み禁止スイッチ

時計を設定する

● お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする

● 「時計を設定してください」が表示されます。

2 [MENU/SET]を押す

3 ◀/▶で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼で設定する

● 表示順を変えると、以下のように表示されます。
(例:2010年12月1日10時00分)
・[年/月/日]:2010/12/ 1 10:00
・[日/月/年]:10:00 1/DEC/2010
・[月/日/年]:10:00 DEC/ 1/2010
● 時刻表示形式は[24 時間]または[AM/PM]から選択します。
● [AM/PM]表示に切り換えた場合は、AM/PMが表示されます。
● 時刻表示形式を[AM/PM]に設定すると、午前0:00はAM12:00、午後0:00はPM12:00で表示されます。
この表示はアメリカなどで一般的に使用されている表示方法です。
● [㎜]を押すと、時計を設定せずに中止することができます。

:ホームの時間
:旅行先の時間(P97)

表示順　時刻表示形式

4 [MENU/SET]を押して決定する

5 [MENU/SET]を押す

● [㎜]を押すと、設定画面に戻ります。
● 時計設定終了後、一度電源を入れ直して、設定どおり表示されているか確認してください。

時計設定を変更する

撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選び、▶ を押してください。(P25)

● 上記の手順**3**、**4**の操作で変更できます。
● **バッテリーなしでも約3ヵ月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約 24時間入れてください)**

お知らせ

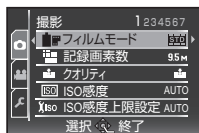
● 撮影時に[DISPLAY]を数回押すと、時計が表示されます。
● 年は2000年から2099年まで設定できます。
● 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込み(P128)を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
● 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

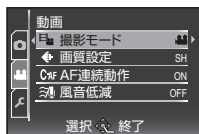
メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

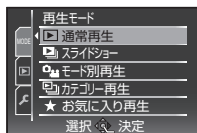
■ 撮影モード時

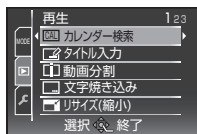
[📷](撮影メニュー)(P98～116)

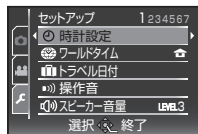
- 色合いや感度、画素数などをお好みで設定できます。

[🎥](動画撮影メニュー)(P117)

- 撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

■ 再生モード時

[MODE](再生モード選択メニュー)(P47、119～122)

- [お気に入り]設定した画像のみの再生やスライドショー再生など、再生方法を設定できます。

[▶](再生メニュー)(P125～137)

- 画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

[🔧](セットアップメニュー)(P27～33)

- 時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。
- セットアップメニュー は 撮影モード時、再生モード時 のどちらからでも設定できます。

お知らせ

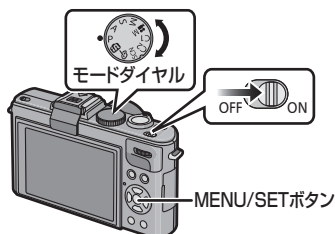
- 本機では仕様上、お使いの状況により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

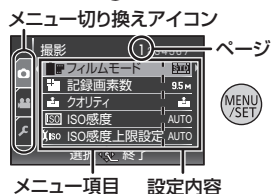
メニュー項目の設定方法

ここでは、撮影メニューの設定方法を説明していますが、動画撮影メニューや再生メニュー、セットアップメニューも同じ方法で設定できます。
例)プログラムAEモードで、[オートフォーカスモード]を[■](1点)から[顔](顔認識)に設定する

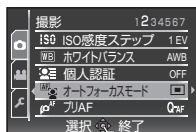
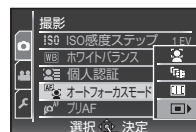
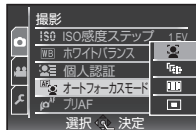
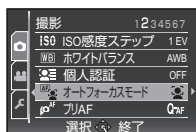
1 電源スイッチを[ON]にする

2 モードダイヤルを[P]に合わせる

- 再生メニューを設定するときは、[▶]を押して、手順 **3** へ進んでください。

3 [MENU/SET]を押してメニューを表示させる

- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面のページを切り換えることができます。

他のメニューとの切り換え
例)セットアップメニューとの切り換え **1 ◀を押す** **2 ▼でセットアップメニューアイコン[🔧]を選ぶ** **3 ▶を押す** ● 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

メニューを使って設定する（つづき）

4 ▲/▼で[オートフォーカスモード]を選ぶ
- 一番下の項目を選んで、さらに▼を押すと、2画面目に移ります。

5 ▶を押す
- 項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。

6 ▲/▼で[ ]を選ぶ

7 [MENU/SET]を押して決定する

8 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。
- モードによっては、設定できない項目もあります。

1 撮影状態で、[Q.MENU]を押す

設定する項目と設定内容が表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶で項目と設定内容を選び、[MENU/SET]を押して終了する
- 以下の項目選択中は、[DISPLAY]を押して詳細な設定などができます。
[ホワイトバランス](P103)/[オートフォーカスモード](P106)

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

- インテリジェントオートモード時は、[時計設定]、[ワールドタイム]、[操作音]、[手ブレ補正デモ](P33)のみ設定できます。

セットアップメニューの設定方法はP25へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
時計設定 日付や時刻を変更するときに設定します。	● 詳しくは、23ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。	[旅行先]: 旅行先の地域 ▶ [ホーム]: お住まいの地域 ● 詳しくは、97ページをお読みください。
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定します。	[トラベル日付設定]: ▶ [OFF] [設定] [旅行先]: ▶ [OFF] [設定] ● 詳しくは、95 ページををお読みください。
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	[操作音音量]: [ ]: なし ▶ [ ]: 小 [ ]: 大 [シャッター音音量]: [ ]: なし ▶ [ ]: 小 [ ]: 大 [操作音音色]: ▶ [❶] [❷] [❸] [シャッター音音色]: ▶ [❶] [❷] [❸]
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	▶ [LEVEL3] ● テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。
カスタムセット登録 現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして4 つまで登録しておくことができます。 (撮影モードのみ)	▶ [C1] [C2-1] [C2-2] [C2-3] ● 詳しくは、72ページをお読みください。

準備

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定（▶はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
Fn **Fn（ファンクション）ボタン設定** ▼ボタンにセットアップメニューまたは撮影メニューを割り当てます。よく使う機能を登録しておくと、便利にお使いいただけます。 （撮影モードのみ）	▶ [フィルムモード] [クオリティ] [測光モード] [ホワイトバランス] [オートフォーカスモード] [暗部補正] [ガイドライン表示] [動画記録枠表示] [残量表示切換] [フラッシュ] [オートブラケット] [アスペクトブラケット] ● 撮影メニューの詳細については、98ページをお読みください。 ● 設定によっては、[Fn ボタン設定]が無効になる場合があります。
LCD **液晶モード** 屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。	▶ [OFF] [（オートパワーLCD）]：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [（パワーLCD）]：液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 ● 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● [パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。 ● 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。 ● [オートパワーLCD]または[パワーLCD]時は記録可能枚数が減少します。 ● 再生モードでは、[オートパワーLCD]は選択できません。
表示サイズ 一部のアイコンやメニュー画面の表示のサイズを変更します。	▶ [標準] [大]
ガイドライン表示 撮影時に表示するガイドラインのパターンや位置を設定します。また、ガイドライン表示時に、撮影情報をあわせて表示するかしないかを設定します。（P49）	[撮影情報]： ▶ [OFF] [ON] [パターン]： ▶ [田] [田] [田]：ガイドラインの位置を設定できます。 設定方法は、50ページをお読みください。 ● インテリジェントオートモード時は、[パターン]は[田]に固定されます。

セットアップメニューの設定方法はP25へ

項目	設定（▶はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
ヒストグラム表示 ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。（P51）	▶ [OFF] [ON]
動画記録枠表示 動画撮影時の画角を確認できます。	▶ [OFF] [ON] ●動画記録枠表示は目安です。 ●記録画素数の設定によっては、T 側にズームしていくと記録枠表示が消える場合があります。 ●インテリジェントオートモード時は設定できません。
残量表示切換 記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。	▶ **[：（残枚数）]**：写真の記録可能枚数を表示します。 **[：（残時間）]**：動画の記録可能時間を表示します。
ハイライト表示 オートレビューまたは再生時に、白とびの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。	▶ [OFF] [ON] ●白とびが起こっている場合は、ヒストグラム表示（P51）を参考に、露出をマイナス方向に補正して（P62）再度撮影することをおすすめします。 ●フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白とびが起きる場合があります。このとき、ハイライト表示を[ON]に設定していると、フラッシュ光が当たったところが白とびとなって、黒と白の点滅で表示されます。 ●マルチ再生（P45）、カレンダー検索（P125）、再生ズーム（P46）、動画再生（P123）時は働きません。 ハイライト表示[ON] ハイライト表示[OFF]
レンズ位置メモリー 電源スイッチを [OFF] にしたときのズーム位置やMF（マニュアルフォーカス）位置を記憶することができます。	**[ズーム位置メモリー]**：電源スイッチを[ON]にすると、電源スイッチを[OFF]にしたときのズーム位置へ自動的に戻します。 ▶ [OFF] [ON] **[MF 位置メモリー]**：マニュアルフォーカスで設定した MF 位置を記憶します。もう一度マニュアルフォーカスの撮影状態になると、記憶した MF 位置に自動的に戻ります。 ▶ [OFF] [ON]

準備

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定（▶はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
レンズ位置メモリー（つづき）	● 以下のときにMF位置を記憶します。 ・電源 [OFF] にしたとき ・フォーカス切換スイッチを [MF] 以外に切り換えたとき ・再生モードに切り換えたとき ● [ズーム位置メモリー]が[OFF]の場合、ズーム位置はW端になります。 ● [MF位置メモリー]が[OFF]の場合、MF位置はマニュアルフォーカスの撮影状態になったときにピントが合っている距離になります。 ● 撮影条件によっては、記憶したときと復帰したときの MF 位置は異なる場合があります。 ● [コンバージョン]を[ ]に設定時は、[ズーム位置メモリー]は[OFF]に固定されます。
MF アシスト マニュアルフォーカス時に、ピントが合わせやすくなります。	[OFF] ▶ [MF1]: 画面中央部が拡大表示されます。 [MF2]: 画面中央部が画面全体に拡大表示されます。 ● 詳しくは、68ページをお読みください。
ECO エコモード 設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。 また、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。	[スリープモード]: 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 [OFF] [2分] ▶ [5分] [10分] [自動液晶OFF]: 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に液晶モニターを消灯します。 ▶ [OFF] [15秒] [30秒] ● [スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。 ● インテリジェントオートモード時は、[スリープモード]は[5分]に固定されます。 ● [自動液晶OFF]を[15秒]または[30秒]に設定すると[スリープモード]は[2 分]に固定されます。 ● 液晶モニター消灯中は動作表示ランプが点灯します。液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。 ● メニュー操作や再生ズームなどの操作中は[自動液晶OFF]は働きません。 ● 以下の場合、[スリープモード]は働きません。 ・ACアダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時 ・動画撮影 / 動画再生時　・[多重露出] 設定時 ・スライドショー時　・自動デモ ● 以下の場合、[自動液晶OFF]は働きません。 ・ACアダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時 ・セルフタイマー設定時　・動画撮影 / 動画再生時 ・[多重露出] 設定時　・スライドショー時 ・メニュー画面表示中　・自動デモ

セットアップメニューの設定方法はP25へ

項目	設定(▶ はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
モニター優先 外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)使用時に、撮影モードから再生モードに切り換えると、自動的に液晶モニターが点灯します。	▶ [OFF] [ON] ● 詳しくは、50ページをお読みください。
オートレビュー 撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	[OFF] [1秒] ▶ [2秒] [ホールド]:ボタンを押すまで表示 ● [オートブラケット]撮影(P63)、[アスペクトブラケット]撮影(P63)、[マルチフィルム](P99)、[連写](P112)、シーンモードの[自分撮り](P75)、[高速連写](P79)、[フラッシュ連写](P80)時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。 ● インテリジェントオートモード時は[2秒]に固定されます。 ● [ハイライト表示](P29)を[ON]に設定していると、オートレビュー時に白とびの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。 ● 動画撮影では働きません。
起動モード 電源スイッチを[ON]にしたときに、撮影モードまたは再生モードのどちらで起動するかを設定します。	▶ [(撮影モード)]:電源を入れると撮影モードになります。 [(再生モード)]:電源を入れると再生モードになります。 ● [撮影]に設定していても、[▶] ボタンを押しながら電源スイッチを[ON]にすると、再生モードで電源を入れることができます。
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	● フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。(P147) ● フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P33)することをおすすめします。 ● フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定** **セットアップ設定** ● 撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ● 撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録したデータもリセットされます。 ● セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの [回転表示](P132)は[ON]、[お気に入り](P133)は[OFF] になります。 ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2](P78)、[ペット](P78)の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付](P95)の設定内容(出発日、帰着日、旅行先) ・[ワールドタイム](P97)の設定内容 ・[カスタムセット登録](P72)の設定内容 ・[レンズ位置メモリー]/[メニュー位置メモリー] で記憶させた位置 ・[ユーザー名記録]で登録したユーザー名 ● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。

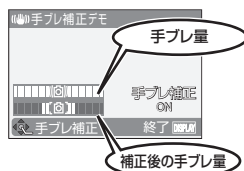
セットアップメニューを使う（つづき）

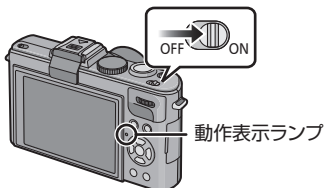
項目	設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
USBモード USB接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	▶ [接続時に選択]：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge（PTP）]のいずれかを選択します。 [PictBridge（PTP）]：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 [PC]：パソコンに接続する場合に設定します。 ● [PC]に設定すると、USBのMass Storage（マス ストレージ）通信方式で接続されます。 ● [PictBridge（PTP）]に設定すると、USBのPTP（Picture Transfer Protocol）（ピクチャー トランスファー プロトコル）通信方式で接続されます。
TV画面タイプ テレビの種類に合わせて設定します。 （再生モードのみ）	▶ [16:9]：画面が16：9のテレビと接続時 [4:3]：画面が4：3のテレビと接続時 ● AVケーブル接続時に働きます。
HDMI出力解像度 HDMIミニケーブル（別売）を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI出力の映像方式を設定します。	▶ [AUTO]：接続したテレビからの情報を元に、自動的に出力解像度を決定します。 [1080i]：有効走査線数1080本のインターレース方式で出力します。 [720p]：有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。 [480p]：有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。 **インターレース方式/プログレッシブ方式について** 1/60秒ごとに有効走査線を半分に分けて交互に流すi=インターレース（飛び越し走査）に対し、1/60秒ごとに有効走査線を同時に流す高密度な映像信号をp=プログレッシブ（順次走査）といいます。 本機の[HDMI]端子はハイビジョン映像出力[1080i]に対応しています。プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむにはそれぞれ対応テレビが必要です。 ● [AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[1080i]、[720p] または[480p] に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。 （テレビの説明書もお読みください） ● HDMIミニケーブル（別売）接続時に働きます。 ● 詳しくは、139ページをお読みください。
ビエラリンク 本機とHDMIミニケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。	[OFF]：本機のボタンでの操作になります。 ▶ [ON]：ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。（すべての操作はできません） 本機のボタンでの操作は制限されます。 ● HDMIミニケーブル（別売）接続時に働きます。 ● 詳しくは、140ページをお読みください。

セットアップメニューの設定方法はP25へ

セットアップメニューの設定方法はP25へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
SCN **シーンメニュー** シーンモードに切り換えたときに表示される画面を設定します。	[OFF]: 現在選択されているシーンモードの撮影画面を表示 ▶ [AUTO]: シーンモードの選択画面を表示
メニュー位置メモリー 最後に操作したメニューの位置を記憶します。	▶ [OFF] [ON]
ユーザー名記録 撮影時にユーザー名を画像に記録できます。画像に記録されたユーザー名は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfun STUDIO 5.0 HD Edition」で確認できます。	▶ [OFF]: ユーザー名を記録しません。 [ON]: ユーザー名を記録します。 [**設定**]:ユーザー名を登録(変更)します。 ● ユーザー名を登録(変更)するときの文字入力の方法については、118ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● 動画にはユーザー名を記録できません。 ● RAW画像にはユーザー名を記録できません。 ● 撮影後の画像にはユーザー名を記録できません。 ● 記録したユーザー名を本機で確認することはできません。
Ver. **バージョン表示**	● 本体のファームウェアバージョンを確認できます。
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	● フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。 ● カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ● 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ● カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。 ● フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。
DEMO **デモモード** [手ブレ補正デモ]や本機の特長を表示します。	**[手ブレ補正デモ]**:カメラが感知した手ブレ量を表示 **[自動デモ]** [OFF] ▶ [ON]:本機の特長をスライドショーで表示 ● [手ブレ補正デモ]中に[MENU/SET]を押すごとに、手ブレ補正がONとOFFに切り換わります。 ● [手ブレ補正デモ]は目安です。 ● [手ブレ補正デモ]を終了する場合は、[DISPLAY]を押してください。 ● 再生モード時でも[自動デモ]はテレビ出力されません。 ● [自動デモ]を終了する場合は、[MENU/SET]を押してください。

準備

撮影モードを選び、写真または動画を撮影する

1 電源スイッチを[ON]にする
- 電源が入ると動作表示ランプが点灯します。（約1秒後に消灯）

2 モードダイヤルを切り換える
- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。（モードダイヤルは360°回転します）

基本

P プログラムAEモード P36
お好みの設定で撮影します。

iA インテリジェントオートモード P39
カメラにおまかせで撮影します。

●の部分に使用したいモードを合わせる

応用

A 絞り優先AEモード P65
絞り値を決めて撮影します。

S シャッター優先AEモード P65
シャッタースピードを決めて撮影します。

M マニュアル露出モード P66
絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

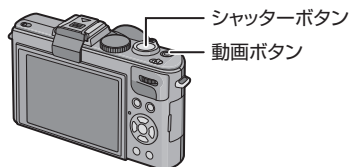
M クリエイティブ動画モード P88
マニュアル操作で動画を撮影します。

C1 C2 カスタムモード（カスタムモード1、カスタムモード2） P73
あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

SCN シーンモード P74
撮影シーンに合わせて撮影します。

マイカラーモード P70
色の効果を確認し、12種類のカラーモードから選択して撮影します。

本機の構えかたについて

- 両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプを指などでふさがないでください。
- スピーカー部を指でふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。

画像横縦比を設定する(写真のみ)

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

アスペクト切換スイッチを切り換える

[1：1]設定時	[4：3]設定時	[3：2]設定時	[16：9]設定時
正方形横縦比	4:3テレビの横縦比	一般のフィルムカメラの横縦比	ハイビジョンテレビなどの横縦比

● プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P173)

写真を撮影する

1 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

2 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

詳しくは、各撮影モードの説明をお読みください。

動画を撮影する

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

2 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

● 動画ボタンを押すと動画撮影開始 / 終了を知らせる音が鳴ります。
音量は [操作音音量](P27)で設定することができます。

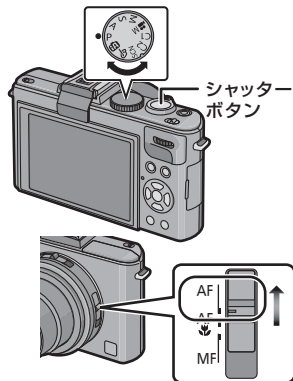
各撮影モードに適した動画が撮影できます。
詳しくは、82 ページ「動画を撮る」をお読みください。

お好みの設定で撮る（P：プログラム AE モード）

撮影モード：P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを [P] に合わせる

- フォーカス切換スイッチを[AF]にする。
- 撮影時の設定を変更したいときは、98ページの「撮影メニューを使う」をお読みください。

2 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

3 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- ピントが合う範囲は50 cm～∞です。
- さらに近づいて撮影するときは、58ページの「近づいて撮る（AFマクロ撮影）」をお読みください。

4 半押しのままさらにシャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

- 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P22）が赤く点灯します。

■ **撮影メニューでお好みの画質に変更するには（P98）**

■ **内蔵フラッシュを使って撮影するときは（P52）**

■ **ズームを使って撮影するときは（P42）**

■ **画像が暗く写るときなどに、露出を補正して撮影するには（P62）**

■ **画像が赤っぽく写るときなどに、色を調整して撮影するには（P103）**

■ **動画を撮影するときは（P82）**

ピントの合わせかた

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音※2	ピピッ	ピピピピッ

※1 適正露出にならないときは、赤くなります。(ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません)

※2 音量は[シャッター音音量](P27)で設定することができます。

ピントが合わないとき(被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど)

1 被写体にAFエリアを合わせ、**シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する

2 **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

- 手順 **1** の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

人物を撮影するときは、顔認識機能をお使いいただくことをおすすめします。(P106)

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの/撮影可能範囲表示が赤く表示されているとき/ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき/暗いときや手ブレしているとき/被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[((📷))]が表示されたときは、手ブレ補正(P114)、三脚、セルフタイマー(P59)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・赤目軽減スローシンクロ
  - ・シーンモード(P74)の[パノラマアシスト]/[夜景&人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル]/[星空]/[花火]
  - ・マイカラーモード(P70)の[ハイダイナミック]、[ダイナミックアート]、[ダイナミック B&W (白黒)]
  - ・[下限シャッター速度](P112)設定でシャッタースピードを遅くしたとき

縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P132)を[ON]に設定している場合のみ)

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

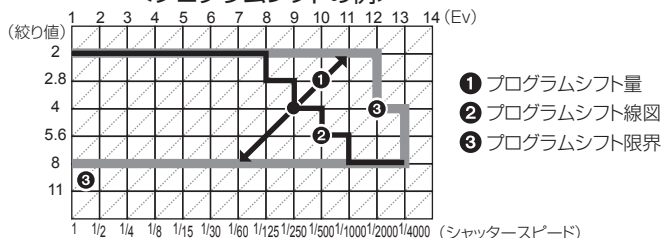
お好みの設定で撮る（P：プログラム AE モード）（つづき）

撮影モード：P

プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい（絞り値を小さくする）、動きを表現したい（シャッタースピードを遅くする）などの設定が可能です。

- シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されている間に（約10 秒間）、後ダイヤルでプログラムシフトしてください。
- プログラムシフトされている場合は、画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを [OFF] にするか、プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルを回してください。

<プログラムシフトの例>

お知らせ

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示されます。
- プログラムシフトが有効になってから、10秒以上経過すると、プログラムシフト設定可能な状態は解除され通常のプログラム AE に戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。
- 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。

カメラにおまかせで撮る（[iA]：インテリジェントオートモード）

撮影モード：[iA]

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

- 以下の機能が自動的に働きます。
  - ・自動シーン判別/手ブレ補正/インテリジェントISO/顔認識/クイックAF/暗部補正/デジタル赤目補正/逆光補正/超解像/iAズーム

1 モードダイヤルを[iA]に合わせる

- [iA]では[MF]（P68）に設定できません。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAF エリアが表示されます。
- ピントが合う範囲は1 cm（W端時）/30 cm（T端時）〜∞です。
- ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。

3 シャッターボタンを全押しして撮影する

- 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P22）が赤く点灯します。

■ 内蔵フラッシュを使って撮影するときは（P52）

- **フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。（P52）**
- 被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]になります。
- [i⚡A◎]または[i⚡S◎]の場合は、デジタル赤目補正が働きます。
- [i⚡S◎]、[i⚡S]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

■ 画像が暗く写るときなどに、露出を補正して撮影するには（P62）

■ 動画を撮影するときは（P82）

■ 個人認証機能（よく撮る人の顔を名前や誕生日などの情報とともに登録する）を使って撮影するときは（P90）

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）（つづき）

撮影モード：iA

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

iA →

i人物	i風景	iマクロ
i夜景&人物 ・[i⚡A]選択時のみ	i夜景	i夕焼け
i赤ちゃん※		

- どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [ ]、[ ]、[ ]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**(P107)
- [ ]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大8 秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[ ]、[ ]、[ ]の右上に[R]が表示されます。

※ [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が３歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

お知らせ

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗／被写体の大きさ・色／被写体までの距離／被写体の濃淡／被写体が動いている場合
  - ・撮影条件
    夕暮れ／朝焼け／低照度／手ブレが発生した場合／ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。
- **逆光補正について**
  - ・逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。本機では、逆光補正が自動で働きます。

追尾AF 機能

指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても、自動でピントと露出を合わせ続けます。

1 ▲(FOCUS)を押す

- 画面左上に[ ]が表示されます。
- 画面中央に追尾AF枠が表示されます。
- もう一度▲(FOCUS)を押すと、追尾AFは解除されます。

2 被写体を追尾AF枠に合わせ、[AF/AE LOCK]を押して被写体にロックする

AF/AE LOCK

- 追尾AF枠が黄色に変わります。
- ロックした被写体に最適なシーンを判別します。
- もう一度 [AF/AE LOCK]を押すと、ロックは解除されます。

お知らせ

- 追尾AF時、[個人認証]は働きません。
- [カラーエフェクト]の[白黒]設定時は、追尾 AFは使えません。
- 107ページの追尾AFのお知らせをお読みください。

インテリジェントオートモード時の設定内容

■ 撮影メニュー

[記録画素数][※1](P100)/[連写](P112)/[カラーエフェクト]/[個人認証](P90)

- [カラーエフェクト]は[標準]、[Happy]、[白黒]の色彩効果を設定できます。[Happy]選択時は、自動で色の明るさと鮮やかさが引き立った画像を撮影できます。

■ 動画撮影メニュー

[撮影モード](P84)/[画質設定][※1](P84)

■ セットアップメニュー

[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]/[手ブレ補正デモ]

- 以下の設定項目は固定されます。

項目	設定内容
ガイドライン表示(P28)	([撮影情報]は[OFF])
エコモード(スリープモード)(P30)	5分
オートレビュー(P31)	2秒
フィルムモード(P98)	スタンダード
クオリティ(P101)	
ISO感度(P60)	iISO(インテリジェントISO)[※2](最高ISO感度は[ISO1600])
ISO感度上限設定(P102)	1600
ホワイトバランス(P103)	AWB
オートフォーカスモード(P106)	(顔が認識されないときは[])[※3]

項目	設定内容
プリAF(P109)	Q-AF
暗部補正(P110)	中
測光モード(P110)	
超解像(P113)	中[※4]
iAズーム(P113)	ON
手ブレ補正(P114)	AUTO[※5]
AF補助光(P114)	ON
フラッシュシンクロ(P115)	先幕
デジタル赤目補正(P115)	ON
AF連続動作(P117)	ON
風音低減(P117)	OFF

※1 他の撮影モード使用時と設定できる内容が異なります。
※2 動画撮影時は[AUTO]に固定されます。
※3 動画撮影時、顔が認識されないときは[■]に固定されます。
※4 シーン判別が[]、[]、[]のときは[OFF]に固定されます。
※5 動画撮影時は[MODE1]に固定されます。

- 以下の機能は使えません。
  - ・[フラッシュ光量調整]/[オートブラケット]/[アスペクトブラケット]/ホワイトバランス微調整/[AF/AEロック切替]/[多重露出]/[デジタルズーム]/[ステップズーム]/[下限シャッター速度]/[ヒストグラム表示]/[ハイライト表示]
- 撮影メニューの[外部光学ファインダー]、[コンバージョン]、セットアップメニューのその他の項目は、プログラムAEモードなどで設定することができます。
  設定した内容はインテリジェントオートモードに反映されます。

基本

ズームを使って撮る

撮影モード：iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN ⌀

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/iAズーム/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。さらに大きく(最大6.7倍)撮るには、各画像横縦比(1:1/4:3/3:2/16:9)で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。
iAズームを使うと超解像技術によって画像をほとんど劣化させずに、約1.3倍ズーム倍率を上げることができます。
また、撮影メニューで[デジタルズーム]を[ON]に設定すると、より拡大が可能になります。

大きく撮るには(望遠)
ズームレバーをT側へ回す

広く撮るには(広角)
ズームレバーをW側へ回す

■ ズーム位置を記憶する(ズーム位置メモリー)

詳しくは 29 ページをお読みください。

■ ズームの種類

種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)
最大倍率	3.8倍	6.7倍※
画質	劣化しない	劣化しない
条件	なし	EZ 付きの記録画素数(P100)を選ぶ
画面表示	W T	EZ W T EZを表示

種類	iAズーム	デジタルズーム
最大倍率	5倍　(光学ズーム3.8倍含む) 8.9倍 (EX光学ズーム 6.7 倍含む)	15.1倍 (光学ズーム3.8倍含む) 26.8倍 (EX光学ズーム 6.7 倍含む) 20.1倍 (光学ズーム+[iA ズーム]5倍含む) 35.7倍 (EX光学ズーム+[iA ズーム]8.9倍含む)
画質	ほとんど劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	撮影メニューの [iA ズーム](P113)を[ON] に設定する	撮影メニューの[デジタルズーム](P113)を[ON]に設定する
画面表示	iA ZOOM W T EZ iA ZOOM W T iA ZOOM を表示	W T EZ W T iA ZOOM W T EZ iA ZOOM W T デジタルズーム領域を表示

- **ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例:0.5m−∞)**

※ 記録画素数や画像横縦比により変わります。

■ EX光学ズームの仕組み

例えば[3M](300万画素相当)に設定すると、CCDの持つ１０M(1010万画素相当)の領域のうち、3M(300万画素相当)分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

お知らせ

- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- 電源[ON]時はW端(1倍)です。[ズーム位置メモリー](P29)を[ON]に設定しているときは、電源スイッチを[OFF]にしたときのズーム位置になります。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- デジタルズーム領域では、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P59)を使って撮影することをおすすめします。
- 以下の場合、[iA ズーム]は[ON]に固定されます。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・シーンモード([高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]時は使えません)
  - ・マイカラーモードの[ハイダイナミック]、[ダイナミックアート]、[ダイナミック B&W (白黒)]、[サンドブラスト]
- 以下の場合、iA ズームは使えません。
  - ・マイカラーモードの [ピンホール]
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  - ・シーンモードの [高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]
  - ・マイカラーモードの [ピンホール]
  - ・動画撮影時
  - ・[クオリティ]の[RAW]、[RAW]、[RAW]設定時
  - ・[多重露出] 設定時
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・シーンモードの [高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]
  - ・マイカラーモードの [ピンホール]、[サンドブラスト]
  - ・[クオリティ]の[RAW]、[RAW]、[RAW]設定時
  - ・[多重露出] 設定時
  - ・[コンバージョン] の [W] 設定時

ズームを使って撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M 動画M C1 C2 SCN

ステップズームを使う

撮影メニューの[ステップズーム]（P113）を[ON]に設定すると、停止可能なズーム位置が表示され、撮りたい焦点距離（撮影できる画角の指標）を選んでズームすることができます。

ズームレバーを回すごとに、24 mm、28 mm、35 mm、50 mm、70 mm、90 mm（35 mmフィルムカメラ換算）の各焦点距離の位置でズームが停止します。

焦点距離

- [記録画素数]、EX光学ズーム、[デジタルズーム]、[iAズーム]の設定によっては、ズーム領域が広がります。広がったズーム領域に応じて135 mm、200 mm、300 mm、400 mm、500 mm、600 mm、800 mm および T 端の焦点距離（35 mm フィルムカメラ換算）もズームのステップとして表示されます。

- 画像横縦比を[1:1]に設定時は、焦点距離の数値が変わります。

■ 焦点距離の表示について

画面には W 側、現在のズーム位置、T 側の 3 つの焦点距離が表示されます。（倍率は表示されません）

現在のズーム位置

W 端時、T 端時の焦点距離の表示

W 端時 W 24 28 T

現在のズーム位置よりも W 側（左側）には、焦点距離は表示されません。

T 端時 W 70 90 T

現在のズーム位置よりも T 側（右側）には、焦点距離は表示されません。

T 端の焦点距離は、設定によって変わります。例えば、[記録画素数] を 2.5M（16:9）、[iA ズーム] を [ON]、[デジタルズーム] を [ON] に設定すると、864 mm が表示されます。

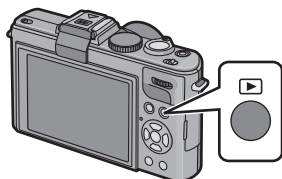
W 800 864 T

お知らせ

- 焦点距離は目安です。
- 以下の場合、ステップズームは使えません。
  - ・インテリジェントオートモード時
  - ・動画撮影時
  - ・[コンバージョン] の [W] 設定時
- ステップズームで撮影した画像は、再生時に焦点距離が表示されます。

画像を見る（通常再生）

再生モード：[▶]

1 [▶] を押す

2 ◀/▶ で画像を送る

◀：前の画像へ　▶：次の画像へ

- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
- ◀/▶ を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- 後ダイヤルを回しても画像を送ることができます。

ファイル番号
画像番号

■ 再生を終了するには

再度 [▶] を押すか、動画ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

お知らせ

- 本機は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。

基本

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

ズームレバーを [▦] (W) 側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー検索(P125)

- ズームレバーを[Q](T)側に回すと、1つ前に戻ります。
- 回転表示はされません。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

選択画像番号/トータル枚数

■ 1画面表示に戻すには

1　▲/▼/◀/▶ で画像を選ぶ

- 撮影画像や設定によって、アイコンが表示されます。
- 後ダイヤルを回しても画像を送ることができます。

2　[MENU/SET] を押す

- 選択されていた画像が表示されます。
- 後ダイヤルを押しても画像を表示することができます。

画像を見る（通常再生）（つづき）

再生モード：▶

再生画面を拡大する（再生ズーム）

ズームレバーを[Q]（T）側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- 拡大したあと、ズームレバーを[▦]（W）側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置表示が表示され、▲/▼/◀/▶で拡大部分の位置を移動させることができます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 表示する位置を移動させると、約1秒間ズーム位置が表示されます。

■ 再生ズームのまま表示画像を切り換えるには

再生ズーム中に後ダイヤルを回して画像を送る

- 再生ズームのズーム倍率、ズーム位置を保持したまま表示画像を切り換えることができます。

お知らせ

- 再生ズーム中も、[DISPLAY]を押して、画面に表示する情報の表示ありと表示なしを切り換えることができます。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミング（切抜き）を行ってください。（P131）
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。
- ズーム倍率とズーム位置は、電源が切れると（スリープモードを含む）解除されます。
- 以下の画像は、ズーム位置が中央に戻ります。
  - ・画像横縦比が異なる画像
  - ・[記録画素数]が異なる画像
  - ・回転方向が異なる画像（[回転表示]を[ON]にしている場合）
- 動画再生時、再生ズームは使えません。

合焦ポイントを拡大する(合焦ポイント表示)

本機は撮影時にピントを合わせた位置(合焦ポイント)を記録し、その位置を中心に拡大することができます。

画像再生時に、▲(FOCUS)を押す

- 合焦ポイントが画像の端にある場合は、中心にならないことがあります。
- ズーム時の操作については、「再生画面を拡大する(再生ズーム)」(P46)をお読みください。
- 以下の画像では合焦情報がありませんので、拡大されません。
  - ・ピントを合わせずに撮影した画像
  - ・マニュアルフォーカスで撮影した画像
  - ・他機で撮影した画像

再生モードを切り換えるには

1 再生時に [MENU/SET] を押す

2 ▶ を押す

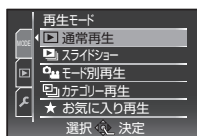
3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

[通常再生](P45)
すべての画像を再生します。

[スライドショー](P119)
画像を順番に再生します。

[モード別再生](P121)
[写真]、[AVCHD Lite]※1または[MOTION JPEG]を選び、再生することができます。
※1 高精細なハイビジョン映像を記録･再生するための規格です。

[カテゴリー再生](P121)
カテゴリーで分類した画像を再生します。

[お気に入り再生]※2(P122)
お気に入りの画像を再生します。
※2 [お気に入り]を設定していないときは、[お気に入り再生]は表示されません。

画像を消去する

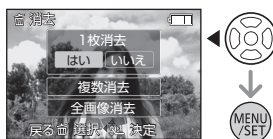
再生モード：▶

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

● 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

1枚消去

1 消去する画像を選び、[🗑]を押す

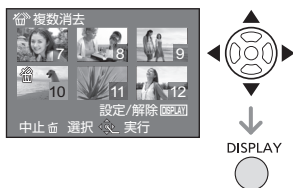
2 ◀で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

複数(50枚まで)/全画像消去

1 [🗑]を押す

2 ▲/▼で[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]を押す

● [全画像消去]→手順**5**へ

3 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISPLAY]で設定する(繰り返す)

● 設定した画像に[🗑]が表示されます。もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

4 [MENU/SET]を押す

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

■ [お気に入り](P133)設定時に[全画像消去]を選んだときは

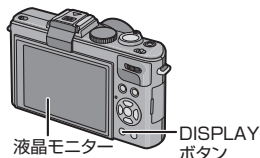
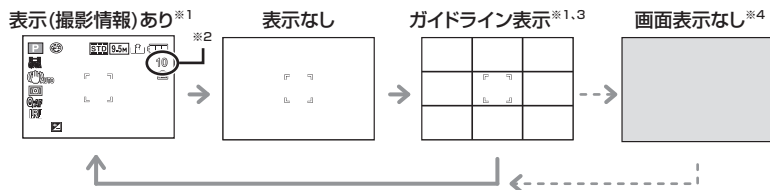
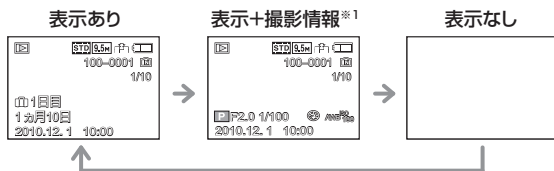
再度、選択画面が表示されます。[全画像消去]または[★以外全消去]を選び、▲で[はい]を選んで画像を消去してください。([お気に入り]設定した画像がない場合は、[★以外全消去]を選択できません)

お知らせ

● 消去中([🗑]表示中)は電源スイッチを[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使用してください。
● [複数消去]、[全画像消去]または[★以外全消去]中に[MENU/SET]を押すと、途中で消去が中止されます。
● 消去枚数により、時間がかかることがあります。
● DCF規格外または[プロテクト]設定(P135)された画像の場合は、[全画像消去]または[★以外全消去]をしても消去されません。

画面表示を切り換える

[DISPLAY]を押して切り換える

- メニュー画面表示時は[DISPLAY]は働きません。
  再生ズーム時(P46)、動画再生中(P123)、スライドショー中(P119)は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

再生時

※1　セットアップメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。
※2　セットアップメニューの[残量表示切換]で撮影可能枚数と記録可能時間の表示を切り換えることができます。
※3　セットアップメニューの[ガイドライン表示]で、表示するガイドラインのパターンを設定できます。[田]を選択したときは、ガイドラインの位置を移動することができます。(P50)また、ガイドライン表示時に、撮影情報を合わせて表示する/表示しないを設定できます。
※4　撮影メニューの[外部光学ファインダー](P116)を[ON]に設定したときのみ切り換えることができます。通常、液晶モニターは消灯していますが、フォーカス表示(P37)やフラッシュ充電表示などは点灯します。

お知らせ

- シーンモード(P74)の[夜景&人物]、[夜景]、[星空]、[花火]では、ガイドラインはグレーで表示されます。

画面表示を切り換える（つづき）

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ モニター優先について

セットアップメニューの[モニター優先]（P31）を[ON]に設定すると、撮影モードから再生モードに切り換えたときに液晶モニターが点灯します。
外部ライブビューファインダー（別売：DMW-LVF1）を点灯させて撮影したときでも液晶モニターに切り換える手間がなくなります。

■ ガイドライン表示について

被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

[田]：画面全体を3等分にして、バランスのよい構図の撮影を行いたい場合に使います。
[⊠]：画面の中心に被写体を配置したい場合に使います。
[⊟]：ガイドラインの位置を設定できます。画面の中心から外れた被写体をバランスよく撮影したい場合に使います。

[田]選択時

[⊠]選択時

[⊟]選択時

■ ガイドラインの位置を設定する

1 セットアップメニューから[ガイドライン表示]を選び、▶ を押す（P25）
2 ▼ で [パターン] を選び、▶ を押す
3 ▼ で [⊟] を選び、[MENU/SET] を押す
4 ▲/▼/◀/▶ で位置を設定し、[MENU/SET] を押して決定する
- [DISPLAY]を押すとガイドラインは中央に戻ります。

5 [MENU/SET] を押してメニューを終了する
- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ ヒストグラム表示について

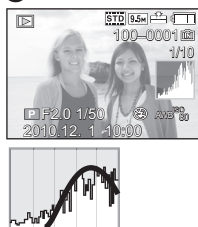
ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

ヒストグラムの表示例

❶適正な明るさの画像

ヒストグラム

❷暗い画像

❸明るい画像

お知らせ

- **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  - ・露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが 0 EV 以外のとき
  - ・フラッシュが発光するとき
  - ・シーンモード(P74)の[星空]、[花火]のとき
  - ・フラッシュが閉じているときに、適正露出にならないときや、暗いところで画面の明るさが正確に表示できないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
- 以下の場合、ヒストグラムは表示されません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・動画撮影時
  - ・再生ズーム
  - ・HDMI ケーブル接続時
  - ・[アスペクトブラケット] 撮影時
  - ・マルチ再生
  - ・カレンダー検索

内蔵フラッシュを使って撮る

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

- 使わないときは、フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュが閉じているときは、[⊛]に固定されます。

お知らせ

- **フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。**

フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

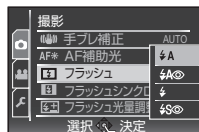
- フラッシュを開く。

1 撮影メニューから [フラッシュ] を選ぶ(P25)

2 ▲/▼ でモードを選び、[MENU/SET] を押す

- 選択できるフラッシュ設定については、54ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をお読みください。

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

項目	設定内容
⚡A: オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◎: 赤目軽減オート※	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ●暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。
⚡: 強制発光 ⚡◎: 赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 ●逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。 ●シーンモード(P74)の[パーティー]、[キャンドル]時のみ、[⚡◎]になります。
⚡S◎: 赤目軽減スローシンクロ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ●夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ●シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をおすすめします。
⊛: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ●フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。 ●内蔵フラッシュ使用時に発光禁止にするには、フラッシュを閉じてください。

※ **フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。**
撮影メニューの[デジタル赤目補正](P115)を[ON]に設定すると、アイコンに[ ]が表示されます。

■ デジタル赤目補正について

[デジタル赤目補正](P115)を[ON]に設定し、赤目軽減([⚡A◎]、[⚡◎]、[⚡S◎])選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。([オートフォーカスモード]が[顔]で顔認識しているときのみ)

- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- 以下の場合は、デジタル赤目補正が働きません。
  - ・フラッシュが[⚡A]、[⚡]、[⊛]のとき
  - ・[デジタル赤目補正]が[OFF]のとき
  - ・[オートフォーカスモード]が[顔]以外のとき

内蔵フラッシュを使って撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ✐

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
（○：設定可、×：設定不可、◎：シーンモード初期設定）

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	⚡OFF
iA	○※1	×	×	×	×	○
P	○	○	○	○	×	○
A	○	○	○	○	×	○
S	○	○	○	×	×	○
M	○	○	○	×	×	○
M	×	×	×	×	×	○
※2	×	×	×	×	×	○
※3	×	×	×	○	×	○
※4	○	×	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	◎	×	○

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	⚡OFF
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	◎	○	○
	×	×	×	○	◎	○
1	○	◎	○	×	×	○
2	○	◎	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	×
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎

※１ [i⚡A]と表示されます。被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]になります。
※２ [ポップ]、[レトロ]、[ピュア]、[シック]、[モノクローム]、[シルエット]、[カスタム]
※３ [ハイダイナミック]、[ダイナミックアート]、[ダイナミック B&W（白黒）]
※４ [ピンホール]、[サンドブラスト]

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

■ ISO感度別フラッシュ撮影可能範囲

ISO感度	フラッシュ撮影可能範囲	
	W端時	T端時
AUTO	約 80 cm～約7.2 m ※	約 30 cm～約4.4 m ※
ISO80	約80 cm～約2.0 m	約30 cm～約1.2 m
ISO100	約 80 cm～約2.3 m	約30 cm～約 1.3 m
ISO200	約80 cm～約3.2 m	約30 cm～約 1.9 m
ISO400	約80 cm～約4.6 m	約 30 cm～約2.7 m
ISO800	約80 cm～約6.5 m	約40 cm～約3.9 m
ISO1600	約80 cm～約9.2 m	約60 cm～約 5.5 m
ISO3200	約1.15 m～約13.0 m	約90 cm～約7.8 m
ISO6400	約1.60 m～約18.4 m	約1.30 m～約11.1 m
ISO12800	約2.30 m～約26.0 m	約 1.90 m～約15.7 m

※[ISO 感度上限設定](P102)が[AUTO]に設定時

- シーンモードの[高感度](P79)では、[ISO1600]～[ISO12800]の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。W端時：約80 cm～約 26.0 m　T端時：約60 cm～約15.7 m
- シーンモードの[フラッシュ連写](P80)では、[ISO100]～[ISO3200]の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。W端時：約 80 cm～約 5.6 m　T端時：約30 cm～約3.4 m

内蔵フラッシュを使って撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ フラッシュの発光量を調整する

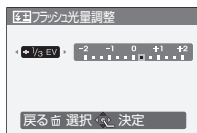
被写体が小さい、反射率が極端に高い、または低いときは、フラッシュの発光量を調整してください。

1 撮影メニューから[フラッシュ光量調整]を選び、▶ を押す(P25)

2 ◀/▶ でフラッシュの発光量を設定し、[MENU/SET]を押す

- −2 EV から +2 EV の範囲で、1/3 EV ごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、"0 EV"を選んでください。

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面左上にフラッシュ光量調整値が表示されます。
- 設定したフラッシュ発光量は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- 以下の場合、[フラッシュ光量調整] は設定できません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・シーンモードの [フラッシュ連写]

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/60※1～1/4000秒
⚡A◎	
⚡ ⚡◎	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S◎	1※1～1/4000秒 1～または1/4～1/4000秒※2
⊛	

※1 [下限シャッター速度]設定(P112)によって変わります。
※2 [下限シャッター速度]設定(P112)で[AUTO]選択時。

- 絞り優先AE、シャッター優先AE、マニュアル露出については、67ページをお読みください。
- ※2でシャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
  - ・[手ブレ補正]が[OFF]のとき
  - ・[手ブレ補正]設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- シーンモード時のシャッタースピードは上表と異なります。

お知らせ

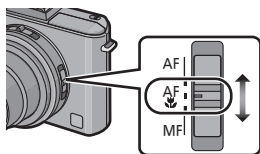
- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 赤目軽減オートなどの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンモードの[フラッシュ連写](P80)やシャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- [コンバージョン](P116)を[W]にした場合、フラッシュは[⊛]に固定されます。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては、157ページをお読みください。

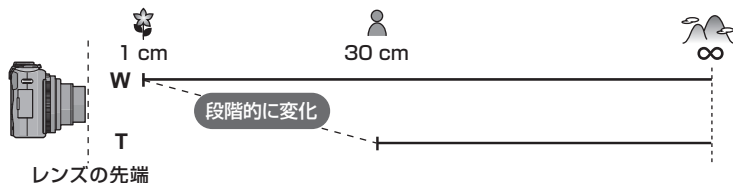
近づいて撮る（AFマクロ撮影）

撮影モード：P A S M 🎥M C1 C2 ⊘

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W端）にすると、レンズから1 cmまで接近して撮影できます。

1 フォーカス切換スイッチを[AF🌷]に合わせる

● AFマクロ撮影時は[AF🌷]が表示されます。

2 撮影する

■ AFマクロ撮影時のピントの合う範囲

お知らせ

● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
● 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[⚡]にする（フラッシュを閉じる）ことをおすすめします。
● 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
● 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
● AFマクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
● 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

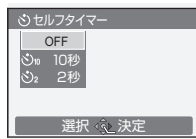
セルフタイマーを使って撮る

撮影モード: iA P A S M C1 C2 SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

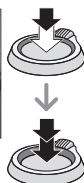
1 ◀(セルフタイマー)を押す

2 ▲/▼ で時間を選ぶ

- ◀(セルフタイマー)でも選ぶことができます。

3 [MENU/SET] を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー動作中に[MENU/SET]を押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

応用・撮影

お知らせ

- セルフタイマーを2秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光(P114)として明るく点灯することがあります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- [連写]の撮影枚数は、3枚に固定されます。
- シーンモードの[フラッシュ連写](P80)の撮影枚数は、5枚に固定されます。
- シーンモードの[自分撮り]時は、10秒に設定できません。
- 以下の場合、セルフタイマーの設定はできません。
  - ・シーンモードの[高速連写]
  - ・動画撮影時

ISO感度を設定する

撮影モード：P A S M 🎥M C1 C2 ⌀

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 ▶(ISO)を押す

- 撮影メニューからも、設定することができます。(P102)

2 ▲/▼でISO感度を選び、[MENU/SET]を押して決定する

- ▶(ISO)でも選ぶことができます。
- シャッターボタン半押しでも決定できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

ISO感度	80 ⟷	12800
撮影場所(おすすめ)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

ISO感度	設定内容
AUTO ※	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。
iISO ※ (インテリジェント)	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。
80/100/200/400/800/1600/3200/6400/12800	それぞれのISO感度に固定します。 **(撮影メニューの[ISO感度ステップ](P102)を[1/3 EV]に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します)**

※ **撮影メニューの[ISO感度上限設定](P102)を[AUTO]以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定]の設定値までの範囲で自動的に設定します。**

[ISO感度上限設定]を[AUTO]に設定したときは以下の設定になります。

・[AUTO]を選ぶと、明るさに応じて最大[ISO400](フラッシュ使用時は[ISO1000])までの範囲で自動的に設定します。

・[iISO]を選ぶと、明るさに応じて最大[ISO1600](フラッシュ使用時は[ISO1000])までの範囲で自動的に設定します。

- [ISO6400]/[ISO12800]([ISO 感度ステップ]が[1/3EV]時は[ISO4000]～[ISO12800])設定時に、[記録画素数] を[2.5M](1:1)、[3M](4:3)、[3M](3:2)または [2.5M](16:9)より大きく設定していた場合は、以下のように [記録画素数] が小さくなります。
  - ・ 7.5M/5.5M/3.5M → 2.5M(1:1)
  - ・ 10M/7M/5M → 3M(4:3)
  - ・ 9.5M/6.5M/4.5M → 3M(3:2)
  - ・ 9M/6M/4.5M → 2.5M(16:9)
- [ISO6400]/[ISO12800]([ISO 感度ステップ]が[1/3EV]時は[ISO4000]～[ISO12800])設定時は、以下の機能は使えません。
  - ・[クオリティ]の[RAW]、[RAW]または[RAW]
  - ・EX 光学ズーム
  - ・[iA ズーム]
  - ・[デジタルズーム]
- 動画撮影中は、ISO感度は[AUTO]の動作になります。また、[ISO感度上限設定]は機能しません。
- クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。
  [AUTO]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]

■ iISO(インテリジェントISO感度コントロール)について

被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。

- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。実際のシャッタースピードは再生画像の情報表示でご確認ください。

お知らせ

- ISO感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレをおさえる効果が得られますが、ノイズは増加します。
- フラッシュで撮影できる範囲については、55ページをお読みください。
- [iISO]を選んでも、明るさや被写体の動きの速さによっては、被写体ブレをおさえられない場合があります。
- 動いている被写体が小さいときや動いている被写体が画面の端にあるとき、シャッターボタンを全押しした瞬間に被写体が動き出したときは、動きを検出できないことがあります。
- シーンモードの[スポーツ]、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]、[フラッシュ連写]では[iISO]に固定されます。
- [iISO]選択時は、プログラムシフトは使えません。
- シャッター優先AEまたはマニュアル露出モード時は、[iISO] は選択できません。
- マイカラーモードの[カスタム]以外では、[AUTO]に固定されます。
- ノイズが気になるときは、ISO感度を低くするか、[フィルムモード]の[ノイズリダクション]をプラス方向にする、または[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整して撮影することをおすすめします。(P98)

露出を補正して撮る

撮影モード：iA P A S ■M C1 C2 SCN ♂

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出アンダー

露出をプラス方向に補正してください。

適正露出

露出をマイナス方向に補正してください。

露出オーバー

1 後ダイヤルを押して[±]を有効にし、後ダイヤルを回して露出を補正する

- 後ダイヤルを押すごとに、有効な操作が切り換わります。
- 画面左下の[±]がオレンジ色に変わると、露出補正操作が有効になります。
- 露出補正値は−3 EV〜+3 EVの範囲で設定可能です。
- 露出を補正しない場合は、"±"のみ(0 EV)を選んでください。

2 撮影する

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 露出補正値は、画面左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。ただし、インテリジェントオートモード時は露出補正量は記憶されません。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの[星空]時は、露出補正は使えません。
- マイカラーモードの[ポップ]、[レトロ]、[ピュア]、[シック]、[モノクローム]、[シルエット]、[カスタム]設定時は、露出補正は使えません。

露出や横縦比を自動的に変えながら撮る

撮影モード：P A S M C1 C2 SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

オートブラケット

1回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に3枚撮影します。露出が異なる3枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット±1EVの場合

1枚目	2枚目	3枚目
±0EV	−1EV	＋1EV

1 撮影メニューから [オートブラケット] を選び、▶ を押す(P25)

2 ◀/▶ で露出の補正幅を設定し、[MENU/SET] を押す

- オートブラケット撮影をしない場合は、"0"(OFF)を選んでください。

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

アスペクトブラケット

1回シャッターボタンを押すと、横縦比[4：3]/[3：2]/[16：9]/[1：1]の画像を自動的に4枚撮影します。(シャッター音は1回しか鳴りません)

1 撮影メニューから[アスペクトブラケット]を選び、▶ を押す(P25)

2 ▼で [ON] を選び、[MENU/SET]を押す

露出や横縦比を自動的に変えながら撮る（つづき）

撮影モード：P A S M C1 C2 SCN

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- 画像サイズの組み合わせは以下のようになります。

[4:3]	→	[3:2]	→	[16:9]	→	[1:1]
10M		9.5M		9M		7.5M
7M		6.5M		6M		5.5M
5M		4.5M		4.5M		3.5M
3M※		3M※		2.5M※		2.5M※

（例）[3:2]で記録画素数を[6.5M]に設定している場合
[4:3]：7M　[3:2]：6.5M　[16:9]：6M　[1:1]：5.5M

※ アスペクトブラケット設定時の最小記録画素数です。これより小さい記録画素数に設定している場合は、一時的にこの記録画素数に変わります。

お知らせ

- オートブラケットを設定すると、画面に[ ]が表示されます。
- アスペクトブラケットを設定すると、画面に[ ]が表示されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- 電源スイッチを[OFF]（スリープモードを含む）にするとオートブラケット、アスペクトブラケットの設定が解除されます。
- オートブラケット、アスペクトブラケットを設定すると、[オートレビュー]の設定にかかわらずオートレビューされます。セットアップメニューで[オートレビュー]の設定はできません。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- 内蔵メモリーでオートブラケット、アスペクトブラケットを行った場合は、書き込みに時間がかかります。
- **オートブラケットを設定すると、フラッシュは[ ]になります。**
- **オートブラケット、アスペクトブラケットを設定すると、[連写]、[マルチフィルム]、ホワイトバランスブラケットは解除されます。**
- シャッター優先AEまたはマニュアル露出時は、シャッタースピードが1秒より長くなると、オートブラケットが無効になります。
- **どちらかを設定すると、もう一方の設定は解除されます。（オートブラケットとアスペクトブラケットは同時に設定することはできません）**
- 以下の場合、オートブラケットの使用はできません。
  - ・マイカラーモードの[ポップ]、[レトロ]、[ピュア]、[シック]、[モノクローム]、[シルエット]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[カスタム]
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空]
  - ・[多重露出]設定時
  - ・動画撮影時
- 以下の場合、アスペクトブラケットの使用はできません。
  - ・マイカラーモードの[ポップ]、[レトロ]、[ピュア]、[シック]、[モノクローム]、[シルエット]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[カスタム]
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空]
  - ・クオリティの[RAW]、[RAW]または[RAW]設定時
  - ・[多重露出]設定時
  - ・動画撮影時

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード：AS

A：絞り優先AE

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 モードダイヤルを [A] に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。

3 撮影する

S：シャッター優先AE

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを [S] に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。

3 撮影する

お知らせ

- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、67ページをお読みください。
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生モードで確認してください。
- 絞り優先AEのとき、明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- 明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。
- シャッター優先 AE のとき、[ ] は設定できません。

手動で露出を合わせて撮る（M：マニュアル露出）

撮影モード：M

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

1 モードダイヤルを［M］に合わせる

● マニュアル露出アシストが約 10 秒間表示されます。

2 後ダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

● 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。
● ［ MF ］表示中は、マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます。（P68）

3 シャッターボタンを半押しする

● マニュアル露出アシストが約10秒間表示されます。
● 適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードを設定し直してください。

4 撮影する

■ マニュアル露出アシストについて

-2 -1 0 +1 +2（0の位置）	適正露出になります。
-2 -1 0 +1 +2（+1の位置）	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
-2 -1 0 +1 +2（-1の位置）	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

● マニュアル露出アシストは目安です。

お知らせ

● 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、67 ページをお読みください。
● 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生モードで確認してください。
● シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
● フラッシュの［⚡S◎］は設定できません。

シャッタースピードと絞り値について

■ 絞り優先 AE

設定可能な絞り値（1/3 EV ごと）			本機で設定されるシャッタースピード(秒)
F8.0			8 ～ 1/4000
F7.1	F6.3	F5.6	
F5.0	F4.5	F4.0	
F3.5	F3.2	F2.8	8 ～ 1/2000
F2.5	F2.2	F2.0	

■ シャッター優先 AE

設定可能なシャッタースピード(秒)(1/3 EV ごと)				本機で設定される絞り値
8	6	5	4	F2.0 ～ F8.0
3.2	2.5	2	1.6	
1.3	1	1/1.3	1/1.6	
1/2	1/2.5	1/3.2	1/4	
1/5	1/6	1/8	1/10	
1/13	1/15	1/20	1/25	
1/30	1/40	1/50	1/60	
1/80	1/100	1/125	1/160	
1/200	1/250	1/320	1/400	
1/500	1/640	1/800	1/1000	
1/1300	1/1600	1/2000		
1/2500	1/3200	1/4000		F4.0 ～ F8.0

■ マニュアル露出

設定可能な絞り値（1/3 EV ごと）	設定可能なシャッタースピード(秒)(1/3 EV ごと)
F2.0 ～ F3.5	60 ～ 1/2000
F4.0 ～ F8.0	60 ～ 1/4000

お知らせ

- 上記表の絞り値は、ズーム W 端時の値です。
- ズーム位置によっては、選べない絞り値があります。

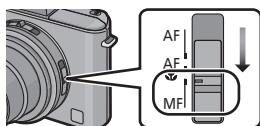
手動でピントを合わせて撮る（MF: マニュアルフォーカス）

撮影モード：P A S M 🎥M C1 C2 SCN ♪

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 フォーカス切換スイッチを［MF］に合わせる

- マニュアルフォーカス撮影時は左上に［ MF ］が表示されます。

2 後ダイヤルを数回押して、マニュアルフォーカス操作を有効にする

- 後ダイヤルを押すごとに、有効な操作が切り換わります。
- 画面右下の［ MF ］がオレンジ色に変わると、マニュアルフォーカス操作が有効になります。

3 後ダイヤルを回す

- フォーカス距離表示が表示されます。

4 ◀/▶または後ダイヤルを回してピントを合わせる

または

- 後ダイヤルを使用すると、細かい調整が効きにくい場合があります。気になるときは、カーソルボタンでの調整をおすすめします。
- カーソルボタンを押したままにすると、ピント位置が動き続けます。
- カーソルボタンまたは後ダイヤルの操作をやめると、約2秒後にMFアシストは消えます。
- カーソルボタンまたは後ダイヤルの操作をやめると、約5秒後にフォーカス距離表示は消えます。

- 動画撮影時、MFアシストやフォーカス距離表示は表示されませんが、◀/▶または後ダイヤルでピントを合わせることはできます。

5 撮影する

MF アシストについて

［MFアシスト］を［MF1］または［MF2］に設定したときは、後ダイヤルを回すと、MFアシストとして画面が拡大表示され、ピントを合わせやすくなります。

1 セットアップメニューから［MFアシスト］を選ぶ（P25）

2 ▲/▼で［MF1］または［MF2］を選び、［MENU/SET］を押す

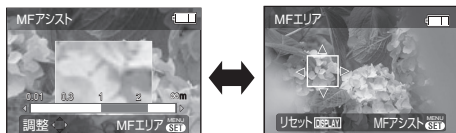
MF1	画面中央部が拡大表示されます。画面全体の構図を決めながら、ピントを合わせることができます。
MF2	画面中央部が画面全体に拡大表示されます。ピントの動きがわかりにくい W端でのピント合わせに便利です。
OFF	拡大表示されません。

3 [MENU/SET]を押して、メニューを終了する

●シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ 拡大部分移動について

MFアシストで画面を拡大中に、拡大部分を移動させることができます。ピントを合わせる位置を変えたいときに便利です。

❶ 後ダイヤルを回してMFアシストを表示させる
❷ [MENU/SET]を押して、MF エリア(拡大エリア)を表示させる
❸ カーソルボタンの ▲/▼/◀/▶ で拡大させたい部分を移動させる
❹ [MENU/SET] を押して設定する

●以下の操作を行うと、中央の MF アシスト位置に戻ります。
・[記録画素数]、画像横縦比を変更したとき
・電源スイッチを [OFF] にしたとき

■ マニュアルフォーカスのテクニック

❶ 後ダイヤルを回してピントを合わせる
❷ さらに同じ方向にカーソルボタンを数回押す
❸ カーソルボタンを逆方向に押して微調整 する

■ ワンショット AF

フォーカス切換スイッチを [MF] にして ▲(FOCUS)を押すと、オートフォーカスでピントを合わせることができます。置きピンをするときなどに便利です。

■ 置きピン

オートフォーカスではピントが合いにくい、動きの速い被写体を撮影する場合に、あらかじめ撮影するポイントに、マニュアルフォーカスを使ってピントを合わせておくテクニックです。
運動会でゴールしてくる子供、結婚式での新郎新婦など、被写体との距離が決まっている場合の撮影に最適です。

お知らせ

●広角側でピントを合わせると、ズームを望遠側にしたときにピントが合っていない場合があります。再度、合わせ直してください。
●デジタルズーム領域では MF アシストは表示されません。
●マニュアルフォーカスの距離表示は、ピント位置の目安です。ピントの確認は、画面(アシスト画面)で行ってください。
●スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
●AE ロックを併用すると、ピントの確認を行いやすくなります。

色を調整しながら撮る（[icon]: マイカラーモード）

撮影モード： [icon]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体を画面に映して手軽に確認しながら、お好みの効果を設定して撮影することができます。

1 モードダイヤルを [[icon]] に合わせる

2 ▲/▼ で項目を選ぶ

項目	効果
ポップ	色を強調したポップアート風の画像効果です。
レトロ	色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかい画像効果です。
ピュア	すがすがしく明るい光で、清涼感のある画像効果です。 （明るく少し青っぽい画像に仕上げます）
シック	重厚感を少しかもし出した、落ち着いた雰囲気の画像効果です。 （少し暗くアンバーよりの画像に仕上げます）
モノクローム	モノクロ写真ならではのトーンで被写体をとらえ、わずかな色を載せて描き出した画像効果です。
ハイダイナミック	暗いところから明るいところまで適度な明るさで描き出し、自然な色合いの画像効果です。

項目	効果
ダイナミックアート	暗いところから明るいところまで適度な明るさで描き出し、色を強調した印象的な画像効果です。
ダイナミック B&W（白黒）	暗いところから明るいところまで適度な明るさで描き出す白黒の画像効果です。
シルエット	空や夕焼けなどの背景色も生かして、影になっている被写体を黒いシルエットで強調したような画像効果です。
ピンホール	被写体の周辺を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。
サンドブラスト	砂を吹きつけたようなざらざらとした感じの白黒画像を撮影できます。
カスタム※	色の効果をお好みで設定できます。

※ [カスタム] 設定については 71 ページをお読みください。

3 [MENU/SET] を押して決定する

■ マイカラーを設定し直す

[MENU/SET] を押し、70 ページの手順**2**に戻る

お知らせ

- **動画撮影時は、マイカラーモードの設定が反映された動画になります。**
- 設定したマイカラー設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- [暗部補正]は、マイカラーモードを[カスタム]に設定しているときのみ設定できます。
- マイカラーモード時は、カメラが自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
  ・[フィルムモード]/[ISO感度上限設定]

カスタムの設定をお好みに応じて調整する

[カスタム]を選んだときに、お好みで光の色、明るさ、色の鮮やかさを調整して撮影することができます。

1 70ページ手順2で[カスタム]を選び、▶ を押す

2 ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で調整する

項目	調整内容
光の色	画像の色合いを赤っぽい光から青っぽい光まで調整します。(±5の11段階)
明るさ	画像の明るさを調整します。(±９の19段階)
鮮やかさ	色の濃さを白黒から鮮やかな画像まで調整します。(±5の11段階)
リセット	すべての設定を標準に戻します。

3 [MENU/SET]を押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

■ [カスタム] 設定を標準に戻す

1 上記手順**2**で[ ]を選ぶ

2 ◀で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 各項目の調整値が標準(中心点)に戻ります。

お知らせ

- [カスタム]設定で行った調整は、他の撮影モードには反映されません。
- [カスタム]設定を調整すると、画面に調整した項目のアイコンが表示されます。表示されるアイコンは、調整した方向のものが表示されます。
- [鮮やかさ]で色を薄くなるように調整した場合は、追尾AFが働かないことがあります。

お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録）

撮影モード：P A S M 🎥M C1 C2 SCN iA

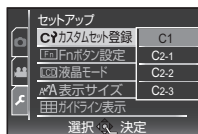
▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして4つまで登録しておくことができます。

- あらかじめ、保存したい状態のモードダイヤルに合わせ、本機でメニュー設定をしておいてください。

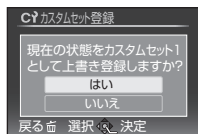
1 セットアップメニューから[カスタムセット登録]を選ぶ(P25)

2 ▲/▼で登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押す

- モードダイヤルの[C1]では、[C1]に登録したカスタムセットを使うことができます。モードダイヤルを合わせるだけで撮影できますので、よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。
- モードダイヤルの[C2]では、[C2-1]、[C2-2]または[C2-3]に登録したカスタムセットの中から選ぶことができます。3つまでカスタムセットを登録できますので、状況に合わせてお使いください。

3 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- [はい]を選ぶと、前に保存していた設定が上書きされます。

4 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- 以下のメニュー項目は他の撮影モードに反映されるため、保存されません。

撮影メニュー/撮影機能	セットアップメニュー	
・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日および名前設定	・[時計設定]	・[ワールドタイム]
・[個人認証]で登録されたデータ	・[トラベル日付]	・[操作音]
	・[スピーカー音量]	・[液晶モード]
	・[表示サイズ]	・[エコモード]
	・[オートレビュー]	・[起動モード]
	・[番号リセット]	・[設定リセット]
	・[USBモード]	・[TV画面タイプ]
	・[HDMI出力解像度]	・[ビエラリンク]
	・[シーンメニュー]	・[バージョン表示]
	・[デモモード]	

カスタムモードで撮る（C1 C2：カスタムモード）

撮影モード：C1 C2

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影状況などに合わせて、[カスタムセット登録]で保存した登録パターン（カスタムセット）を選択することができます。
お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

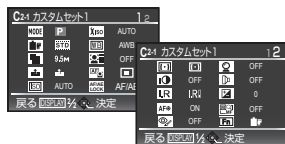
1 モードダイヤルを[C1]または[C2]に合わせる

- [C1]に合わせたとき
  → [C1]に登録されたカスタムセットで撮影できます。
  （画面に[C1]が表示されます）
- [C2]に合わせたとき
  →手順**2**、**3**へ

2 ▲/▼で使いたいカスタムセットを選ぶ

- [C2]では[DISPLAY]を押すと、メニューの設定内容が表示されます。（◀/▶で画面が切り換わります。もう一度[DISPLAY]を押すと選択画面に戻ります。）
- 主なメニュー項目のみ表示されます。

3 [MENU/SET]を押して決定する

- 選択されているカスタムセット表示が画面に表示されます。

■ メニュー設定を変更する場合は

カスタムセットのいずれかを選択した状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。
登録内容を変更する場合は、セットアップメニューの[カスタムセット登録](P72)で登録内容を上書きしてください。

お知らせ

- カスタムメニューに保存されないメニューについて詳しくは、72ページのお知らせをお読みください。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN: シーンモード）

撮影モード : SCN

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

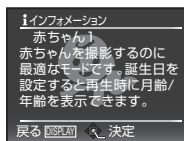
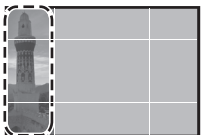
2 ▲/▼/◄/► でシーンモードを選ぶ

- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

3 [MENU/SET] を押して決定する

- 選択したシーンモードの撮影画面になります。

■ iインフォメーションについて

- 手順**2**でシーンモードを選んだときに[DISPLAY]を押すと、選択されているシーンモードの説明が表示されます。（もう一度押すとシーンモードのメニュー画面に戻ります）

お知らせ

- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET]を押したあとに►を押して、上記の手順**2**に戻ります。（[メニュー位置メモリー]（P33）が[OFF]のとき）
- シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[フィルムモード]、[ISO感度]、[ISO感度上限設定]、[ISO 感度ステップ]、[測光モード]、[暗部補正]、[多重露出]、[下限シャッター速度]、[超解像]、[iA ズーム]、[フラッシュシンクロ] の設定はできません。

項目	設定・お知らせ
人物 昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけT側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ● [超解像]は[OFF]に固定されます。
美肌 昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特になめらかに撮影できます。(胸から上を撮りたいときに効果的です)	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけT側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ● 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。 ● 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ● [超解像]は[OFF]に固定されます。
自分撮り 自分を撮りたいときに合わせてください。	**撮影のテクニック** ● シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。 ● セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ● 撮影後は自動的にレビューされます。 ● シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。 ● ピントが合う範囲は約30 cm～約1.2 m です。 ● 選択すると、ズームは自動的にW端の位置へ移動します。 ● セルフタイマーは[OFF]または[2秒]のみの設定です。[2秒]に設定すると、電源スイッチを[OFF]にするかシーンモードや撮影モード、再生モードを切り換えるまで、セルフタイマーの[2秒]設定は保持されます。 ● [手ブレ補正]は[MODE2]に固定されます。(P114) ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ● [超解像]は[OFF]に固定されます。
風景 広がりのある風景を撮影できます。	● **フラッシュは[ ]になります。** ● ピントが合う範囲は5 m～∞です。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN: シーンモード）（つづき）

撮影モード : SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>パノラマアシスト

パノラマ画像を作るのに適したつながりのある画像を撮影できます。</td><td>撮影する方向の設定
1 ▲/▼ で撮影する方向を選び、[MENU/SET] を押す
●水平/垂直ガイドが表示されます。
（画面表示：パノラマアシスト／左→右／右→左／下→上／上→下／選択 決定）
2 撮影する
●[撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。
3 ▲で[次の撮影]を選び、[MENU/SET] を押す
●シャッターボタン半押しでも決定できます。
●撮影した画像の一部が透過画像として表示されます。
4 透過画像が重なるように構図を水平、または垂直に移動して撮影する
●3枚目以降を撮影するときは、手順3、4を繰り返してください。
●[撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。
5 ▲/▼ で[完了]を選び、[MENU/SET] を押す

● 動画撮影時は、通常の動画撮影になります。
● フラッシュは[⚡̸]になります。
●[超解像]は[OFF]に固定されます。
●ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。
●三脚の使用をおすすめします。暗いときは、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
●[手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大8秒になります。
●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
●撮影した画像はCD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使ってパノラマ画像に合成することができます。</td></tr>
<tr><td>スポーツ

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。</td><td>● 動画撮影時は、通常の動画撮影になります。
●[手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大1秒になります。
●5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。
●インテリジェントISO が働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
夜景&人物 人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュを開いてください。(フラッシュ設定は[ ]になり強制発光します)** ● 被写体の人に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。 ● **動画撮影時は、薄暗い室内や夕暮れ時でもきれいに撮影できるローライト設定( )の動画になります。** ● ピントが合う範囲は50 cm(W端時)/1.2 m(T端時)～5 mです。 ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● [手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ● [超解像]は[OFF]に固定されます。
夜景 夜景を鮮やかに撮影できます。	● **動画撮影時は、薄暗い室内や夕暮れ時でもきれいに撮影できるローライト設定( )の動画になります。** ● **フラッシュは[ ]になります。** ● ピントが合う範囲は5 m～∞です。 ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● [手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
料理 レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。	● ピントが合う範囲は1 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュを開いてください。([ ]または[ ]に設定できます)** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ● [超解像]は[OFF]に固定されます。
キャンドル ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。	**撮影のテクニック** ● フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。 ● ピントが合う範囲は1 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。 ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● [手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大1秒になります。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN: シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定･お知らせ</th></tr>
<tr><td>赤ちゃん1/
赤ちゃん2

赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。[赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P128)で撮影画像に焼き込むことができます。</td><td>誕生日/名前を設定する
1 ▲/▼で[月齢/年齢]または[名前]を選び、▶を押す
2 ▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す
3 誕生日/名前を入力する
誕生日： ◀/▶：項目(年･月･日)選択、
▲/▼：設定、
[MENU/SET]：終了
名前： 文字入力の方法については118ページの「文字を入力する」をお読みください。
● 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。
● 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。
4 [MENU/SET]を押して終了する
赤ちゃん1
月齢/年齢 OFF
名前 ON
設定
選択 決定

月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには
「誕生日/名前を設定する」の手順2で[OFF]に設定してください。

● 動画撮影時は、[人物]の設定が反映された動画になります。
● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。
● 誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。
撮影前に[月齢/年齢]または[名前]を[ON]にしてください。
● ピントが合う範囲は1 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。
● [手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大1秒になります。
● インテリジェントISO が働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。
● 電源を入れたときに約5秒間、月齢/年齢と名前が現在日時とともに画面の左下に表示されます。
● 月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。
● [クオリティ]を[RAW]、[RAW]または[RAW]に設定して撮影した場合、撮影した画像に名前は記録されません。
● [設定リセット]で誕生日設定と名前設定のリセットができます。
● [オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。
● [超解像]は[OFF]に固定されます。</td></tr>
<tr><td>ペット

犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P128)で撮影画像に焼き込むことができます。</td><td>[月齢/年齢]、[名前]については、上記の[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。

● 動画撮影時は、通常の動画撮影になります。
● [AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。
● [オートフォーカスモード]の初期設定は[追尾]になります。
● [超解像]は[中]に固定されます。
● その他のお知らせについては、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	● **フラッシュは[ ]になります。**
高感度 薄暗い室内で被写体のブレをおさえて撮影できます。(高感度処理を行い、自動的に[ISO1600]から[ISO12800]の間で変化します)	● 記録画素数は画像横縦比に応じて固定されます。 [1:1]: 2.5M [4:3]: 3M [3:2]: 2.5M [16:9]: 2M ● [iA ズーム]は[OFF]に固定されます。 ● [クオリティ]は自動で[ ]になります。 ● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● ピントが合う範囲は1 cm(W端時)/30 cm(T端時)~∞です。
高速連写 高速連写により、すばやい動きや決定的瞬間を狙うのに便利です。	**速度優先・画質優先設定** **1 ▲/▼で[速度優先]または[画質優先]を選び、[MENU/SET]を押す** **2 撮影する** ● シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。 ● 記録画素数は画像横縦比に応じて固定されます。 [1:1]:2.5M [4:3]:3M [3:2]:2.5M [16:9]:2M 最高連写速度: 約10コマ/秒(速度優先時) 約6.5コマ/秒(画質優先時) 連写枚数: 約15枚~100枚 ● 連写速度は、撮影条件によって変化します。 ● 連写枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。 ● 書き込み速度の速いカードを使用したり、カードをフォーマットしたりすると、連写枚数が増加する場合があります。 ● **動画撮影時は、通常の動画撮影になります。** ● **フラッシュは[ ]になります。** ● [iA ズーム]は[OFF]に固定されます。 ● [クオリティ]は自動で[ ]になります。 ● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● ピントが合う範囲は1 cm (W端時)/30 cm(T端時)~∞です。 ● ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。 ● [ISO感度]は自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。 ● 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定･お知らせ
フラッシュ連写 フラッシュ発光しながら連写します。暗い場所で連写撮影をしたいときに便利です。	● シャッターボタンを全押ししている間、静止画を連続して撮影します。 ● 記録画素数は画像横縦比に応じて固定されます。 [1:1]：　2.5M [4:3]：　3M [3:2]：　2.5M [16:9]：2M 連写枚数：最大5枚 ● 連写速度は、撮影条件によって変化します。 ● **動画撮影時は、通常の動画撮影になります。** ● [超解像]は[OFF]に固定されます。 ● [iA ズーム]は[OFF]に固定されます。 ● [クオリティ]は自動で[ ]になります。 ● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● ピントが合う範囲は1 cm（W端時）/30 cm（T端時）～∞です。 ● ピント･ズーム･露出･シャッタースピード･ISO感度･フラッシュ発光量は、1枚目の設定に固定されます。 ● インテリジェントISO が働き、最高ISO感度は[ISO3200]になります。 ● [コンバージョン]の[ ]設定時は、[フラッシュ連写]は使えません。 ● [フラッシュ連写]を使うときは、57 ページのお知らせをお読みください。
星空 星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。	**シャッタースピード設定** シャッタースピードを15秒、30秒、60秒から選択します。 **1　▲/▼で秒数を選び、[MENU/SET]を押す** ● クイックメニュー（P26）でも、秒数の変更ができます。 **2　撮影する** ● シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。 9.5M 10 15 中止 ● 撮影中に[MENU/SET]を押すと、撮影が中止されます。 **撮影のテクニック** ● 15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● **動画撮影時は、薄暗い室内や夕暮れ時でもきれいに撮影できるローライト設定（ ）の動画になります。** ● **フラッシュは[ ]になります。** ● [手ブレ補正]は[OFF]に固定されます。 ● [ISO感度]は[ISO80]に固定されます。 ● [超解像]は[OFF]に固定されます。

項目	設定・お知らせ
花火 夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。	**撮影のテクニック** ●シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。 ●**動画撮影時は、通常の動画撮影になります。** ●**フラッシュは[ ]になります。** ●被写体までの距離が10 m以上のときに最適です。 ●シャッタースピードは以下のようになります。 ・手ブレ補正[OFF]設定時：2秒 ・手ブレ補正[AUTO]、[MODE1]または[MODE2]設定時：1/4秒または2秒（シャッタースピードが2秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです） ・露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。 ●AFエリアは表示されません。 ●[ISO感度]は[ISO80]に固定されます。 ●[超解像]は[OFF]に固定されます。
ビーチ 海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。	●[オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ●ぬれた手で触らないでください。 ●砂や海水は故障の原因になります。レンズ部や端子部に砂や海水がかからないようにしてください。
雪 スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。	―
空撮 飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。	**撮影のテクニック** ●雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト（濃淡）の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。 ●**フラッシュは[ ]になります。** ●ピントが合う範囲は5 m～∞です。 ●**離着陸時は電源スイッチを[OFF]にしてください。** ●**ご使用の際は、搭乗員の指示に従ってください。** ●窓への映り込みにお気をつけください。

動画を撮る

撮影モード：iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN ✎

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

AVCHD規格に準拠したハイビジョン映像や、Motion JPEGで記録される動画を撮影できます。音声はモノラルで記録されます。

1 モードダイヤルを切り換える

■ 動画撮影できるモードについて

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>iA インテリジェント オートモード</td><td colspan="2">被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に動画を撮影できます。</td></tr>
<tr><td>P、A、S、M モード</td><td colspan="2">絞りやシャッタースピードを自動で設定して動画を撮影できます。</td></tr>
<tr><td>🎥M クリエイティブ 動画モード</td><td colspan="2">絞りやシャッタースピードを手動で設定して動画を撮影できます。(P88)</td></tr>
<tr><td>C1、C2 カスタムモード</td><td colspan="2">選択したカスタムモードの設定で動画を撮影できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">SCN シーンモード</td><td colspan="2">一部のシーンモードでは、以下のような分類で撮影されます。</td></tr>
<tr><td>選択されているシーンモード</td><td>動画撮影時のシーンモード</td></tr>
<tr><td>[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]</td><td>人物モード</td></tr>
<tr><td>[夜景&人物]、[夜景]、[星空]</td><td>ローライトモード</td></tr>
<tr><td>[パノラマアシスト]、[スポーツ]、[ペット]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[花火]</td><td>通常動画</td></tr>
<tr><td colspan="2">上記以外では、それぞれのシーンに合った動画を撮影できます。(P74 ～ 81)</td></tr>
<tr><td>✎ マイカラーモード</td><td colspan="2">マイカラーモードの設定で動画を撮影できます。</td></tr>
</table>

2 動画ボタンを押して撮影を開始する

- アスペクト切換スイッチの位置に関係なく、[画質設定] での画像横縦比で撮影されます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 本機内蔵のマイクより、音声も同時に記録されます。(音声なしで動画を記録することはできません)
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 画面が一瞬暗くなり、表示を調節してから撮影が開始されます。
- 撮影中、▲(FOCUS) を押すとピントを合わせることができます。
- [MF]表示中は、マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます。(P68)

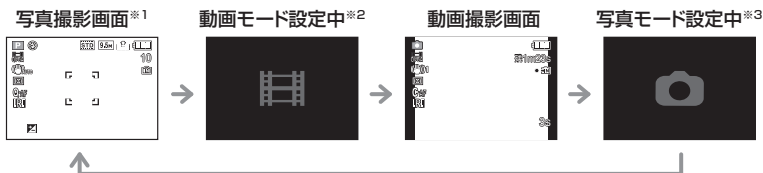
3 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画ボタンを押すと動画撮影開始 / 終了を知らせる音が鳴ります。
  音量は [操作音音量](P27)で設定することができます。
- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

■ ピント合わせについて

[AF連続動作](P117)を[ON]に設定していると、一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。動画撮影開始時のピント位置で固定したい場合は、[OFF]に設定してください。

お知らせ

- 手順 **2**、**3** で動画ボタンを押したときに、以下のように画面の表示が変わります。

※1　動画撮影前に記録可能時間を表示するには、[残量表示切換](P29)を[:]に設定してください。
※2　動画モード設定中に表示される画面は、[撮影モード] の設定によって異なります。
※3　クリエイティブ動画モード時は[ ]は表示されません。

- **動画撮影メニューについては 117 ページをお読みください。**
- **フラッシュは [ ] になります。**
- 記録可能時間については185ページをお読みください。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- レンズキャップひもを付けた状態で動画撮影した場合、本機にひもがこすれる音が記録される場合があります。
- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影可能範囲が大きく変わります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で同じ場合でも、動画撮影開始時に画角が変わる場合があります。[動画記録枠表示](P29)を[ON]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。

動画では記録されない部分

- 動画撮影時は、[手ブレ補正](P114)は[MODE1]に固定されます。
- 動画撮影時は、以下の機能は使えません。
  - ・オートフォーカスモードの [ ]、[ ] ([ ] に切り換わります)
  - ・縦位置検出機能
  - ・EX光学ズーム
  - ・[個人認証]
  - ・[ステップズーム]
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)の使用をおすすめします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。
- ズームスピードは通常より遅くなります。

動画を撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M 動画M C1 C2 SCN ART

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

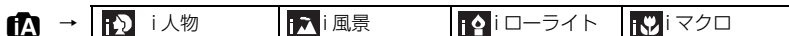
インテリジェントオートモードに設定した場合

● 82 ページの手順 **1** でインテリジェントオートモードを選ぶと、被写体や撮影状況に合わせた動画撮影を行うことができます。

■ 自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

iA →

i人物	i風景	iローライト	iマクロ

● どのシーンにもあてはまらない場合は [iA] になり、標準的な設定を行います。

● [i人物] のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**(P107)

お知らせ

● インテリジェントオートモード時の設定内容については 41 ページをお読みください。

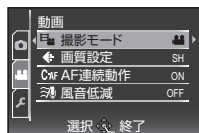
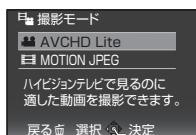
● 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。

・被写体条件
　顔の明暗、被写体の大きさ·色、被写体までの距離、被写体の濃淡、被写体が動いている場合

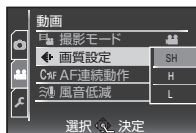
・撮影条件
　夕暮れ、朝焼け、低照度、手ブレが発生した場合、ズーム倍率

● 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。

撮影モードと画質設定を変更する

1 **動画撮影メニューから [撮影モード] を選び、▶を押す(P25)**

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

記録形式	特徴
[AVCHD Lite]	●ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。高精細な動画を長時間記録できます。 ●AVCHD対応機器にカードを入れて、そのまま再生できます。詳しくは、お使いの機器の説明書で対応を確認してください。 ●SDスピードクラス※が「Class4」以上のカードを使用してください。
[MOTION JPEG]	●パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。小さな画像サイズでも記録できるので、メモリーカードの容量が残り少ないときや、あとでパソコンからメールに添付するときなどに便利です。 ●SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用してください。

※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

3 ▲/▼で[画質設定]を選び、▶を押す

動画を撮る（つづき）

撮影モード： iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

4 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

手順2で [AVCHD Lite] を選んだ場合

	項目	画質（ビットレート）※1	コマ数	画像横縦比
高画質	([SH])	1280×720画素 約 17 Mbps※2	60p （センサー出力 30コマ/秒）	16:9
↓↑	([H])	1280×720画素 約 13 Mbps※2		
長時間	([L])	1280×720画素 約 9 Mbps※2		

※1 「ビットレート」とは
一定時間あたりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体により、ビットレート（一定時間あたりのデータの量）が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

※2 「Mbps」とは
「Megabit Per Second」の略で、転送される速度を表します。

手順2で [MOTION JPEG] を選んだ場合

	項目	記録画素数	コマ数	画像横縦比
高画質	HD ([HD])	1280×720画素	30 コマ/秒	16:9
↓↑	WVGA ※3 ([WVGA])	848×480画素		
	VGA ([VGA])	640×480画素		4:3
長時間	QVGA ([QVGA])	320×240画素		

※3　インテリジェントオートモード設定時、[MOTION JPEG]の[WVGA]は設定できません。

- [AVCHD Lite] または [MOTION JPEG] の[HD]では、HDMIミニケーブル（別売）を使用すると高画質な動画をテレビでお楽しみいただけます。詳しくは139ページの「HDMI端子付きテレビで見る」をお読みください。
- [QVGA] 以外は内蔵メモリーには記録できません。

5 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

● シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

● [AVCHD Lite]で動画を連続で撮影できるのは、最大13時間3分20秒までです。画面には13時間3分20秒までしか表示されません。ただし、バッテリー残量によっては、撮影が途中で終了する場合があります。(P19)
● [MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。
● 以下のようなカードを使用すると動画撮影が途中で終了する場合があります。
・記録·消去が何度も繰り返されたカード
・パソコンやその他の機器でフォーマットされたカード
撮影前に、本機でカードをフォーマット(P33)することをおすすめします。フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンなどに保存しておいてください。
● 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できない場合があります。
● **[AVCHD Lite]および[MOTION JPEG]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は、本機で再生してください。AVCHD対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/dsc/
● [AVCHD Lite]で撮影された動画はDCF/Exifに準拠していないため、再生時に一部の情報が表示されません。
● **本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため[MOTION JPEG]で撮影した動画を、2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で再生することはできません。**

マニュアル操作で動画を撮る（🎥M：クリエイティブ動画モード）

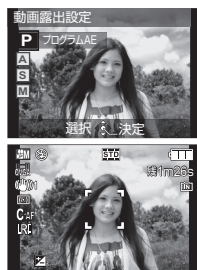
撮影モード：🎥M

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影することができます。
[動画露出設定]を切り換えることで、モードダイヤルを[P]、[A]、[S]、[M]に切り換えたときのような設定を使用することができます。

1 モードダイヤルを [🎥M] に合わせる

2 ▲/▼ で動画露出設定を選び、[MENU/SET] を押す

- クイックメニュー（P26）でも、選択できます。

3 後ダイヤルを回して設定を変更する

- 後ダイヤルを押すごとに、設定可能項目が切り換わります。

動画露出設定	設定可能項目	
P（プログラムAEモード）	プログラムシフト	露出補正※
A（絞り優先AEモード）	絞り値※	露出補正※
S（シャッター優先AEモード）	シャッタースピード※	露出補正※
M（マニュアル露出モード）	シャッタースピード※	絞り値※

※ 動画撮影中でも、設定を変更することができます。この場合、動作音が記録されることがありますのでお気をつけください。

- フォーカス切換スイッチが[MF]のときは、後ダイヤルまたはカーソルボタンでマニュアルフォーカスも設定できます。（P68）

4 動画ボタンを押して撮影を開始する

5 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。
- シャッターボタンを押して、動画撮影を開始、終了することもできます。
- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押すと、動画撮影開始／終了を知らせる音が鳴ります。音量は [操作音音量]（P27）で設定することができます。

■ 動画露出設定別の絞り値・シャッタースピード設定

動画露出設定	絞り値	シャッタースピード
P	―	―
A	F2.0 ～ F11(W端) F3.3 ～ F18(T端)	
S	―	1/30～1/20000秒
M	F2.0 ～ F11(W端) F3.3 ～ F18(T端)	1/30～1/20000秒 (マニュアルフォーカス時は 1/8 ～1/20000秒まで設定できます)

お知らせ

- **絞り値について**
  - ・背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。
- **シャッタースピードについて**
  - ・動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。
  - ・手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。
  - ・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- その他の動画撮影時の設定や操作方法については、82ページの「動画を撮る」をお読みください。
- **本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため [MOTION JPEG] で撮影した動画を、2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で再生することはできません。**

個人認証機能を使って撮る

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ♂

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

お買い上げ時、[個人認証] は [OFF] に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に [ON] になります。

● **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**

撮影時

・カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※1
（名前を設定している場合）

・撮影回数の多い顔をカメラが記憶し、自動的に登録画面を表示
（[自動登録]を[ON]に設定している場合）

再生時

・名前や月齢/年齢の表示（情報を登録している場合）

・登録人物から選んだ人物の画像のみを再生（[カテゴリー再生]（P121））

※1 名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

お知らせ

● オートフォーカスモードは[👤]に固定されます。
● 連写撮影時は、1 枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
● シャッターボタンを半押ししたあとで、違う被写体にカメラを向けて撮影をした場合、異なる人物の撮影情報が付加される場合があります。
● 以下のシーンモードで、[個人認証]を使用できます。
・[人物]/[美肌]/[自分撮り]※2/[風景]/[スポーツ]/[夜景&人物]/[パーティー]/[キャンドル]/[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]/[ペット]/[夕焼け]/[高感度]/[ビーチ]/[雪]
※2 [自動登録]は[OFF]に固定されます。
● マニュアルフォーカス時は、[個人認証]は働きません。
● 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。
● 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。
● 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
● **個人認証情報を変更した場合（P93）でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー再生]の個人認証に分類されなくなります。
● 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え]（P136）を行ってください。

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど(一登録につき最大3枚)、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

■ 顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)

■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。(P93)
- 撮影するその場で追加して登録する。
- [感度]の設定を変更する。(P93)
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。

認証されにくい例

- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
  - ・髪の毛が目や眉にかかっている(Ⓐ)
  - ・暗い/斜めから光が当たっている(Ⓑ)
  - ・斜めや横を向いている
  - ・上を向いている/下を向いている
  - ・目を閉じている
  - ・極端に明るいまたは暗い
  - ・サングラス、光で反射している眼鏡、髪、帽子などで隠れている
  - ・小さく写っている
  - ・顔全体が画面に収まっていない
  - ・年齢と共に顔の特徴が変化したとき
  - ・親子·兄弟姉妹など顔の特徴が似ている
  - ・表情が大きく違っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・デジタルズーム使用時

(Ⓐ)

(Ⓑ)

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN ♪

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

新規登録

1 撮影メニューから[個人認証]を選び、▶を押す（P25）

2 ▲/▼で[登録]を選び、[MENU/SET]を押す

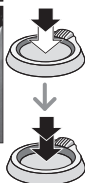
3 ▲/▼/◀/▶で未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET]を押す

4 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- 認識に失敗したときは、メッセージが表示され、撮影画面に戻ります。もう一度撮影してください。

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

6 ▲/▼で編集項目を選び、▶を押す

- 顔画像は3枚まで登録できます。

項目		設定内容
名前		名前を設定します。 **1** ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す **2** 名前を入力する ● 文字入力の方法については、118ページの「文字を入力する」をお読みください。
月齢/年齢		誕生日を設定します。 **1** ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す **2** ◀/▶で項目（年・月・日）を選んで▲/▼で設定し、[MENU/SET]を押す
フォーカスアイコン		ピントが合うときに表示されるフォーカスアイコンを変更します。 ▲/▼でフォーカスアイコンを選び、[MENU/SET]を押す
追加登録	追加登録	顔画像を追加登録します。 **1** 未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET]を押す **2** 「新規登録」の手順4、5を行う **3** [🗑]を押す
	解除	顔画像を一枚消去します。 **1** ◀/▶で解除したい顔画像を選び、[MENU/SET]を押す **2** ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す **3** [🗑]を押す ● 画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。

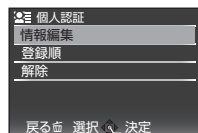
7 シャッターボタンを半押ししてメニューを終了する

■ iインフォメーションについて

● 92 ページ手順**4**の撮影画面で[DISPLAY]を押すと、顔画像撮影の説明が表示されます。（もう一度押すと撮影画面に戻ります）

登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

1　撮影メニューから[個人認証]を選び、▶を押す(P25)
2　▼で[登録]を選び、[MENU/SET] を押す
3　▲/▼/◀/▶ で編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET]を押す
4　▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 **「新規登録」の手順6を行う**
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 **▲/▼/◀/▶ で登録順を選び、[MENU/SET]を押す**
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。 **▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す**

5　シャッターボタンを半押ししてメニューを終了する

自動登録/感度を設定する

個人認証の自動登録や感度の設定ができます。

1　撮影メニューから[個人認証]を選び、▶を押す(P25)
2　▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す
3　▲/▼ で項目を選び、▶を押す

自動登録	[OFF]/[ON] ● [自動登録]を[ON]に設定すると自動的に[個人認証]が[ON]になります。 ● 詳しくは 94 ページの「自動登録について」をお読みください。
感度	[高]/[標準]/[低] ● 認証されにくいときは[高]を選んでください。認証されやすくなりますが、異なる人物を認証する可能性も高くなります。 ● 異なる人物を認証することが多いときは[低]を選んでください。 ● 設定を元に戻したいときは、[標準]を選んでください。

4　シャッターボタンを半押ししてメニューを終了する

個人認証機能を使って撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

自動登録について

[自動登録]を[ON]に設定すると、撮影回数の多い顔に対して、撮影後、自動的に登録画面が表示されるようになります。

- 登録画面が表示される目安は3回です。([多重露出]、[連写]、[オートブラケット]、[アスペクトブラケット]、ホワイトバランスブラケット、[マルチフィルム]、シーンモードの [自分撮り] を除く）
- 自動登録だけでは極端に認証されにくい場合があります。あらかじめ撮影メニューの[個人認証]から顔画像登録を行ってください。

■ 自動登録画面から登録する

1　▲で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す

- 登録している人物が 1 人もいない場合は、手順**3**へ進んでください。
- [いいえ]を選ぶと再度選択画面が表示されます。
  ▲で[はい]を選ぶと、[自動登録]が[OFF]に設定されます。

2　▲/▼で [新規登録] または [顔画像追加登録] を選び、[MENU/SET] を押す

新規登録	● すでに6人登録されているときは、登録人物の一覧が表示されます。入れ換える人物を選んでください。
顔画像追加登録	登録済みの人物に顔画像を追加登録します。 **▲/▼/◀/▶ で追加登録する人物を選び、[MENU/SET] を押す** ● すでに顔画像が 3 枚登録されている場合は、画像入れ換えの画面が表示されます。入れ換える顔画像を選んでください。

- 顔画像の追加登録や入れ換えを行ったあとは、自動的に撮影画面に戻ります。

3　「新規登録」の手順6以降の操作を行う

お知らせ
- 登録画面がなかなか表示されない場合は、同じ環境や表情で撮影すると表示されやすくなります。
- 登録したにもかかわらず認証されない場合は、その場で撮影メニューの[個人認証]から登録し直すと認証されやすくなります。
- すでに登録した人物に対して登録画面が表示される場合は、そのまま追加登録を行うと認証されやすくなります。
- フラッシュ撮影された画像が登録されると、認証されにくくなる場合があります。

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）

撮影モード：iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN ♂

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

旅行の経過日数や旅行先を記録する（トラベル日付）

旅行の出発日や旅行先を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）などが記録されます。記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P128）で撮影画像に焼き込むことができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。
- **あらかじめ[時計設定]（P23）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 セットアップメニューから[トラベル日付]を選び、▶を押す（P25）

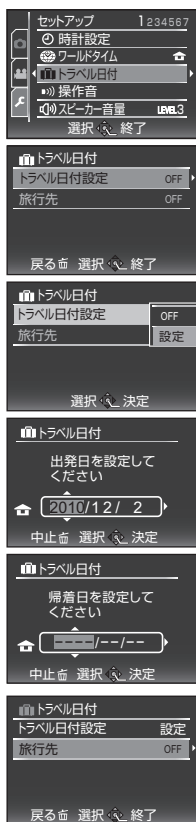
2 ▲で[トラベル日付設定]を選び、▶を押す

3 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲/▼/◀/▶で出発日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す

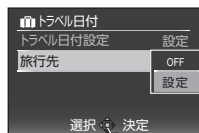
5 ▲/▼/◀/▶で帰着日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す

- 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で[MENU/SET]を押してください。

6 ▼で[旅行先]を選び、▶を押す

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）（つづき）

撮影モード：iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN ♂

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

7 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

8 旅行先を入力する

- 文字入力の方法については、118 ページの「文字を入力する」をお読みください。

9 [MENU/SET]を２回押して終了する

10 撮影する

- 経過日数は、トラベル日付の設定後や設定した状態で本機の電源を入れたときなどに、約５秒間表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に[🧳]が表示されます。

■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順**3**、**7**の画面で[OFF]を選び、[MENU/SET]を２回押してください。
また、手順**3**で[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。

お知らせ

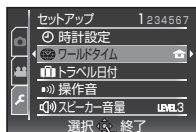
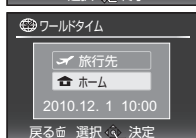
- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイム(P97)を[旅行先]に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- トラベル日付を[OFF]に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を[設定]にしても表示されません。
- 出発日より前は、オレンジ色で−(マイナス)付きで表示され、日付情報は記録されません。
- トラベル日付が白色で−(マイナス)付きで表示される場合は[ホーム]と[旅行先]との間に、日付をまたぐ時差があります。(記録されます)
- [AVCHD Lite]で撮影された動画は[トラベル日付]を設定できません。
- 以下の場合、[旅行先]は記録できません。
  - ・[クオリティ]の[RAW]、[RAW]または[RAW]設定時
  - ・動画撮影時
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

海外旅行先の日時を記録する（ワールドタイム）

旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

● **あらかじめ[時計設定]（P23）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

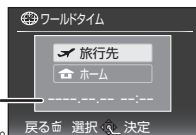
1 セットアップメニューから[ワールドタイム]を選び、▶を押す（P25）

● お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。[MENU/SET]を押し、手順**3**の画面から設定してください。

2 ▼で[ホーム]（お住まいの地域）を選び、[MENU/SET]を押す

3 ◀/▶でお住まいの地域を選んで、[MENU/SET]を押す

● ホームがサマータイム[☼◷]（夏時間）を採用している場合は、▲を押してください。もう一度押すと元に戻ります。

● ホームでサマータイムを設定しても、現在の日時は進みません。時計設定を1時間進めてください。

4 ▲で[旅行先]を選び、[MENU/SET]で決定する

「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間を表示します。

5 ◀/▶で旅行先のあるエリアを選び、[MENU/SET]で決定する

● 旅行先がサマータイム[☼◷]（夏時間）を採用している場合は、▲を押してください。（時計が1時間進みます）もう一度▲を押すと元に戻ります。

6 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

お知らせ

● 旅行から戻ったら、手順**1**、**2**、**3**の操作を行って、設定をホームに戻してください。

● すでにホームを設定している場合は、旅行先のみ変更してお使いください。

● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

撮影メニューを使う

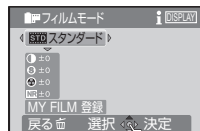
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定・お知らせ	
フィルムモード フィルムカメラで使用するフィルムの種類には、発色やコントラストなどの画質に個性があります。フィルムモードでは、フィルムを使い分けるように画像の色調を 9 種類から選択できます。 撮影状況、撮影イメージに合わせてフィルムモードを使い分けてください。	使えるモード: P A S M M C1 C2	
	[STD スタンダード]:	標準的な設定です。
	[D ダイナミック]:	彩度高め、コントラスト高め、記憶色よりの設定です。
	[NA ネイチャー]:	青、緑、赤などを明るく、自然をより美しく撮る設定です。
	[S スムーズ]:	コントラスト低め、穏やかですっきりとした設定です。
	[V バイブラント]:	[ダイナミック]よりさらに彩度高め、コントラスト高め、より鮮烈な色設定です。
	[N ノスタルジック]:	彩度低め、コントラスト低め、年月の経過をイメージした設定です。
	[スタンダード B&W (白黒)]:	標準的な設定です。
	[ダイナミック B&W (白黒)]:	コントラスト高めの設定です。
	[スムーズ B&W (白黒)]:	階調重視で、肌の質感を残す設定です。
	[MY1 MY FILM 1(マイ フィルム)]/ [MY2 MY FILM 2(マイ フィルム)]:	登録したフィルムを呼び出します。
	[マルチフィルム]:	1 回シャッターボタンを押すと、設定した複数枚のフィルムが自動で撮影されます。(最大 3 枚)
	● 白黒のフィルムモードは、[彩度] を調整できません。	

1 ◀/▶ でフィルムを選び、[MENU/SET] を押す

- 右図の画面で [DISPLAY] を押すと、各フィルムモードの説明が表示されます。(もう一度押すと前の画面に戻ります)

2 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ 各フィルムモードの設定をお好みに応じて調整する

1 ◀/▶ でフィルムを選ぶ

2 ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で調整する

- 調整できる項目については、次ページの表をお読みください。
- 登録した内容は電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。

撮影メニューの設定方法はP25へ

3　▲/▼ で [MY FILM 登録] を選び、[MENU/SET] を押す

4　▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

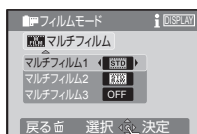
- 設定を 2 種類 ([MY FILM 1]、[MY FILM 2]) 登録できます。（登録後は、前回登録したフィルムモード名が表示されます）
- お買い上げ時は、[MY FILM1] に [スタンダード]、[MY FILM2] に [スタンダード B&W（白黒）] が登録されています。

項目		効果
コントラスト	＋	画像の明暗差を大きくします。
	−	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	＋	画像の輪郭を強調します。
	−	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	＋	派手で鮮やかな色になります。
	−	落ち着いた色になります。
ノイズリダクション	＋	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
	−	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

■ [マルチフィルム] で撮影したいフィルムを選ぶ

1　◀/▶ で [マルチフィルム] を選び、▼ を押す

2　▲/▼で [マルチフィルム1]、[マルチフィルム2]、[マルチフィルム3] を選び、それぞれに設定するフィルムを◀/▶で選び、[MENU/SET] を押す

- [マルチフィルム3]のみ[OFF]が選択できます。
- 1 回シャッターボタンを押すと、設定した複数枚のフィルムが自動で撮影されます。（最大 3 枚）

お知らせ

- フィルムモードでは、特有の画質を生成するため、カメラ内部で減感または増感に相当する処理を行うことがあります。その際は、シャッタースピードが通常と異なることがあります。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[ノイズリダクション] をプラス方向にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目をマイナス方向に調整して撮影することをおすすめします。
- [クオリティ] を [RAW]、[RAW] または [RAW] 設定時、[マルチフィルム] は働きません。
- フィルムモードを調整すると、画面に表示されるフィルムモードアイコンがオレンジ色で表示されます。
- お買い上げ時は、[マルチフィルム 1] に [スタンダード]、[マルチフィルム 2] に [スタンダード B&W（白黒）]、[マルチフィルム 3] に [OFF] が設定されています。
- 電源スイッチを [OFF]（スリープモードを含む）にすると、[マルチフィルム] の設定が解除されます。
- **[マルチフィルム] を設定すると、フラッシュは [ ] になります。**
- **[マルチフィルム] を設定すると、[オートブラケット]、[アスペクトブラケット]、[連写]、ホワイトバランスブラケットは解除されます。**
- 動画撮影時は、[マルチフィルム 1] の設定内容で撮影されます。

撮影メニューを使う（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>記録画素数

記録画素数を設定します。画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。</td><td>
使えるモード：iA P A S M C1 C2 SCN

画像横縦比：[1：1]のとき
<table>
<tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>7.5M（7.5M）</td><td>2736×2736画素</td></tr>
<tr><td>5.5M（5.5M EZ）※</td><td>2304×2304 画素</td></tr>
<tr><td>3.5M（3.5M EZ）</td><td>1920×1920画素</td></tr>
<tr><td>2.5M（2.5M EZ）※</td><td>1536×1536画素</td></tr>
<tr><td>0.2M（0.2M EZ）</td><td>480×480 画素</td></tr>
</table>
画像横縦比：[4：3]のとき
<table>
<tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>10M（10M）</td><td>3648×2736画素</td></tr>
<tr><td>7M（7M EZ）※</td><td>3072×2304 画素</td></tr>
<tr><td>5M（5M EZ）</td><td>2560×1920画素</td></tr>
<tr><td>3M（3M EZ）</td><td>2048×1536画素</td></tr>
<tr><td>2M（2M EZ）※</td><td>1600×1200画素</td></tr>
<tr><td>0.3M（0.3M EZ）</td><td>640×480画素</td></tr>
</table>
画像横縦比：[3：2]のとき
<table>
<tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>9.5M（9.5M）</td><td>3776×2520画素</td></tr>
<tr><td>6.5M（6.5M EZ）※</td><td>3168×2112 画素</td></tr>
<tr><td>4.5M（4.5M EZ）</td><td>2656×1768画素</td></tr>
<tr><td>3M（3M EZ）※</td><td>2112×1408 画素</td></tr>
<tr><td>2.5M（2.5M EZ）</td><td>2048×1360画素</td></tr>
<tr><td>0.3M（0.3M EZ）</td><td>640×424画素</td></tr>
</table>
画像横縦比：[16：9]のとき
<table>
<tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>9M（9M）</td><td>3968×2232 画素</td></tr>
<tr><td>6M（6M EZ）※</td><td>3328×1872画素</td></tr>
<tr><td>4.5M（4.5M EZ）</td><td>2784×1568画素</td></tr>
<tr><td>2.5M（2.5M EZ）</td><td>2208×1248画素</td></tr>
<tr><td>2M（2M EZ）※</td><td>1920×1080画素</td></tr>
<tr><td>0.2M（0.2M EZ）</td><td>640×360画素</td></tr>
</table>
※インテリジェントオートモード時は設定できません。
● EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
記録画素数 (つづき)	●デジタル画像は画素という点が集まって作られています。画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。 画素が少ない(粗い)　画素が多い(きめ細かい) ※画像は効果を説明するためのイメージです。 ●画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。 ●シーンモードの[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。 ●[クオリティ]の[RAW]設定時、記録画素数は設定できません。 ●被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。 ●記録可能枚数については、181ページをお読みください。
クオリティ 画像を保存するときの圧縮率を設定します。	使えるモード: P A S M C1 C2 SCN ファイン: 画質を優先するとき スタンダード: 標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき RAW+ファイン: ファイン相当のJPEG画像を同時に作りたいとき※1 RAW+スタンダード: スタンダード相当のJPEG画像を同時に作りたいとき※1 [RAW](RAW): パソコンで画像を高画質で加工したいとき※2 ※1 本機でRAW画像を消去すると、JPEG画像も同時に消去されます。 ※2 各画像横縦比の最大記録画素数に固定されます。 ●内蔵メモリーでRAW画像を記録する場合は書き込みに時間がかかります。 ●記録可能枚数については、181ページをお読みください。 ●RAWファイルを利用すると、より高度な画像の編集が可能です。編集した画像は、パソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。 RAWファイルの現像や編集には、CD-ROM(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。 ●[RAW]は[RAW+ファイン]または[RAW+スタンダード]よりも小さいデータ容量で記録できます。 ●[RAW]で撮影された画像には、[プリント設定]および[お気に入り]は設定できません。

項目	設定・お知らせ
ISO ISO感度 光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。	使えるモード：P A S M 🎥M C1 C2 ✍ [AUTO]、[iISO]、[80]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800] ● 詳しくは、60ページをお読みください。
ISO ISO 感度上限設定 被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。	使えるモード：P A S M 🎥M C1 C2 [AUTO]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200] ● クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。 [AUTO]、[800]、[1600]、[3200]、[6400] ● ISO感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレをおさえる効果が得られますが、ノイズは増加します。 ● ISO感度が [AUTO] または[iISO]時に設定が可能です。
ISO ISO感度ステップ [ISO80]～[ISO12800]までのISO感度の設定を、1/3 EVごとの設定値に変更します。	使えるモード：P A S M 🎥M C1 C2 ✍ [1/3 EV]: [80]、[100]、[125]、[160]、[200]、[250]、[320]、[400]、[500]、[640]、[800]、[1000]、[1250]、[1600]、[2000]、[2500]、[3200]、[4000]、[5000]、[6400]、[8000]、[10000]、[12800] [1 EV]: [80]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800] ● [1/3 EV]から[1 EV]に設定を変更すると、ISO感度は[1/3 EV]時に選んでいた設定値に最も近い値になります。 （もう一度[1/3 EV]に変更した場合、設定値は戻りません。[1 EV]時に選んでいた設定値のままになります）

項目	設定・お知らせ
WB ホワイトバランス 太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。	使えるモード：P A S M 🎥M C1 C2 SCN ✎ [AWB]：　自動調整 [☼]：　晴天の屋外での撮影時 [☁]：　曇りの屋外での撮影時 [⌂]：　屋外の晴天下の日陰での撮影時 [⚡WB]：　フラッシュ光のみでの撮影時 [白熱灯]：　白熱灯下での撮影時 [1]、[2]：　あらかじめセットしている設定を使用 [SET K]：　あらかじめセットしている色温度設定を使用 ● 蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[1]、[2]をご使用ください。 ● フラッシュ撮影時、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。 ● 電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランスは記憶されます。（シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります） ● 以下のシーンモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。 ・[風景]　・[夜景&人物]　・[夜景] ・[料理]　・[パーティー]　・[キャンドル] ・[夕焼け]　・[フラッシュ連写]　・[星空] ・[花火]　・[ビーチ]　・[雪] ・[空撮] ● インテリジェントオートモードまたはマイカラーモードの[ポップ]、[レトロ]、[ピュア]、[シック]、[モノクローム]、[シルエット]、[サンドブラスト]、[カスタム]設定時は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。

■ 手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

1 [1] または [2] を選び、▶ を押す

2 白い紙など白いものだけを枠内に写し、[MENU/SET] を押す

● 被写体が明るすぎたり、暗すぎると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適正な明るさに調整して再度設定してください。

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ ホワイトバランス微調整（WB±）

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

1　ホワイトバランスを選び、▶ を押す

- [1]、[2]または[SET K]を選択した場合は、もう一度 ▶ を押してください。

2　▲/▼/◀/▶ でホワイトバランスを微調整し、[MENU/SET]を押す

◀：A（アンバー：オレンジ系）
▶：B（ブルー：青系）
▲：G＋（グリーン：緑系）
▼：M−（マゼンタ：赤系）

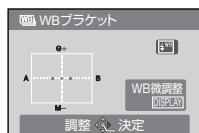
お知らせ

- ホワイトバランスをA（アンバー）またはB（ブルー）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG＋（グリーン）またはM−（マゼンタ）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[＋]（グリーン）または[−]（マゼンタ）が表示されます。
- ホワイトバランスを微調整しない場合は、中心点を選んでください。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- 電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- [1]、[2]で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または[SET K]で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準（中心点）に戻ります。

■ ホワイトバランスブラケット

１回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に３枚撮影します。

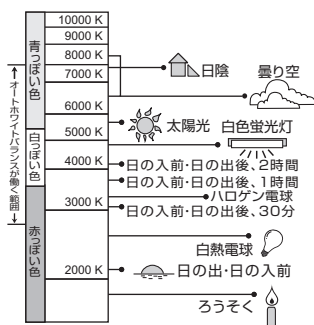
1　上記「ホワイトバランス微調整」の手順 2 で [DISPLAY] を押し、▲/▼/◀/▶ でブラケット設定を行う

◀/▶：横方向（A 〜B）
▲/▼：縦方向（G＋ 〜M−）

2　[MENU/SET] を押す

お知らせ

- ホワイトバランスブラケットを設定すると、画面に [WB] が表示されます。
- ブラケットの位置は、ホワイトバランス微調整の端(限界値)を超えて設定できません。
- ブラケットの設定後にホワイトバランス微調整をすると、変更後の調整値を中心にブラケット撮影されます。
- 電源スイッチを[OFF](スリープモードを含む)にすると、ホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
- シャッター音は1回しか鳴りません。
- クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]に設定すると、ホワイトバランスブラケットは設定できません。
- **ホワイトバランスブラケットを設定すると、[オートブラケット]、[アスペクトブラケット]、[マルチフィルム]、[連写]は解除されます。**
- 動画撮影時は、ホワイトバランスブラケットは働きません。
- マイカラーモードの[ピンホール]では、ホワイトバランスブラケットを設定できません。

■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

■ 色温度設定について

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

1 [SET K] を選び、▶ を押す

2 ▲/▼ で色温度を選び、[MENU/SET] を押す

- [2500K] ~ [10000K] まで設定できます。

撮影メニューを使う（つづき）

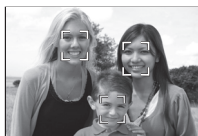
<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>個人認証
人物の顔を特定し、個人認証機能が働きます。</td><td>使えるモード：iA P A S M C1 C2 SCN
[OFF]、[ON]、[登録]、[設定]
● 詳しくは、90ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td>オートフォーカスモード
被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。</td><td>使えるモード：P A S M C1 C2 SCN
[ ]（顔認識）：人の顔を自動的に検知します。（最大15個）認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
[ ]（追尾AF）※：指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。（動体追尾）
[ ]（23 点）※：AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。（AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります）
[ ]（1 点）：AFエリア内にピントを合わせます。
※動画撮影中は [ ] になります。
● [ ]でAFエリアが複数（最大23個）点灯した場合は、点灯したすべてのAFエリアにピントが合っています。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を[ ]に切り換えてください。
● [ ]または[ ]に設定している場合は、ピントが合うまでAFエリアは表示されません。
● 人物以外の被写体をカメラが誤って顔と認識する場合は、[ ]以外に設定してください。
● クリエイティブ動画モード時は、[ ] または [ ] のみ設定できます。
● [個人認証]が[ON]のときは[ ]に固定されます。
● シーンモードの[花火]ではオートフォーカスモードの設定はできません。
● シーンモードの[パノラマアシスト]、[夜景]、[料理]、[星空]、[空撮]では[ ]に設定できません。</td></tr>
</table>

■ [顔認識アイコン](顔認識)について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[▦]に切り換わります。
  - ・顔が正面を向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・動きが速い
  - ・被写体が人物以外である
  - ・手ブレしている
  - ・デジタルズーム使用時

■ [追尾AFアイコン](追尾AF)を設定する

1 被写体を追尾AF枠に合わせ、[AF/AE LOCK]を押して被写体にロックする

- 被写体を認識すると、AFエリアが黄色で表示され、被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントと露出を合わせます。(動体追尾)
- もう一度[AF/AE LOCK]を押すと、追尾AFが解除されます。

2 撮影する

追尾AF枠(白色)

ロック前

追尾AF枠(黄色)

ロック後

お知らせ

- ロックに失敗したときは、追尾AF枠が赤く点滅したあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- 被写体を選択していないときや、見失ったとき、追尾AFに失敗したときは追尾AFは働きません。その際、[オートフォーカスモード]は[■]で撮影されます。
- 追尾AF設定時は、[個人認証]は働きません。
- 追尾AF動作中は、[Q-AF]は働きません。
- シーンモードの [パノラマアシスト]、[星空]、[花火]、[フィルムモード] の [スタンダード B&W (白黒)]、[ダイナミック B&W (白黒)]、[スムーズ B&W (白黒)]、マイカラーモードの[モノクローム]、[ハイダイナミック]、[ダイナミックアート]、[ダイナミック B&W (白黒)]、[ピンホール]、[サンドブラスト]では[[追尾AFアイコン]]に設定できません。
- ピントが合う範囲は1 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞です。
- 以下の場合は、動体追尾機能が働かないことがあります。
  - ・被写体が小さすぎる
  - ・撮影場所が明るすぎる、暗すぎる
  - ・被写体の動きが速い
  - ・被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
  - ・手ブレしている
  - ・ズーム使用時

撮影メニューを使う（つづき）

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ AF エリア選択について

[■] 選択時に▲（FOCUS）を押すと、AFエリアを選択することができます。
▲/▼ でオートフォーカスモードを選んでいるときに、▶ を押すことでもAFエリア選択画面に切り換えることができます。

- クイックメニュー（P26）からも、設定することができます。

1　▲/▼/◀/▶ で AF エリアを移動する

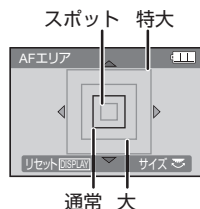
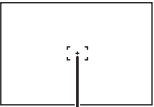
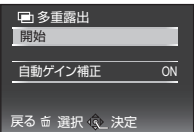
- 画面内の自由な位置に設定できます。（画面の端には設定できません）
- 移動中に [DISPLAY] を押すと、AFエリアを中央に戻すことができます。

2　後ダイヤルを回してAFエリア枠の大きさを変更する

後ダイヤル右回し：拡大
後ダイヤル左回し：縮小

- 「スポット」、「通常」、「大」、「特大」の４種類の大きさに変更できます。

3　[MENU/SET] を押して設定する

- 後ダイヤルを押しても設定できます。

お知らせ

- 動画撮影中は、AF エリアの移動と大きさの変更はできません。
- 「スポット」でピントが合いにくいときは、AFエリア枠の大きさを「通常」、「大」、「特大」のいずれかに変更してください。
- [測光モード] が [•] のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。
- インテリジェントオートモードにしたときや、スリープモードが働いたとき、また電源スイッチを [OFF] にしたときは、AFエリア位置は初期状態に戻ります。
- 以下の場合、AFエリア選択で選択されたエリアではなく、中央位置、大枠でAFを行います。
  - ・デジタルズーム時
  - ・暗いときにピントが合いにくい場合

項目	設定・お知らせ
プリAF 設定に応じて、カメラがピント合わせを自動的に行います。	使えるモード：P A S M C1 C2 SCN [OFF] [Q-AF]（クイックAF）：　画面に [Q-AF] が表示されます。 [C-AF]（コンティニュアスAF）※：画面に [C-AF] が表示されます。 ※動画撮影時は、[C-AF]（AF連続動作）のみ設定できます。 **Q-AF/C-AFについて** [Q-AF]はカメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピントを合わせます。[C-AF]は常時ピント合わせを行います（AF連続動作）。カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。 ● バッテリーの消耗は早くなる場合があります。 ● 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ● 追尾 AF 動作中は [Q-AF] は働きません。 ● [C-AF] に設定しているとき、ズームレバーを W端から T端に回したり、急に被写体を遠くから近くに変えたあとは、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。 ● 以下の場合、[プリ AF] は [OFF] に固定されます。 ・シーンモードの [夜景 & 人物]、[夜景]、[星空]、[花火] ・マニュアルフォーカス時
AF-L AE-L AF/AE ロック切換 ピントや露出を固定して撮影します。 被写体がAFエリアから外れている場合や、被写体のコントラストが強すぎて露出補正が得られないときなどに便利です。	使えるモード：P A S M (動画M) C1 C2 SCN [AF]：　**ピントだけを固定します。** ピントが合うと、[AF-L]が表示されます。 [AE]：　**露出だけを固定します。** 露出が合うと、[AE-L]および絞り値、シャッタースピードが表示されます。 [AF/AE]：　**ピントと露出を固定します。** ピントと露出が合うと、[AF-L AE-L]および絞り値、シャッタースピードが表示されます。 **■ AF/AE ロックの設定** **1　被写体にAFエリアを合わせる** **2　[AF/AE LOCK] を押して、ピントや露出を固定する** ● 追尾 AF 設定時は働きません。 **3　撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする** **解除するには** もう一度 [AF/AE LOCK] を押すと、ロックは解除されます。 ● [AE] では被写体の明るさが変わっても、露出は固定されます。 ● AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。 ● AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。 ● ロック後に動画撮影を行った場合、クリエイティブ動画モードではロックしたまま撮影ができます。クリエイティブ動画モード以外ではロックは解除されます。

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
AF/AE ロック切換（つづき）	● ロック後にズーム操作を行った場合は、ロックが解除されます。再度ロックし直してください。 ● マニュアル露出モード（[ISO 感度] を [AUTO] 以外に設定時）、シーンモード時はAEロックは働きません。
[(•)] 測光モード 明るさを測る測光方式を切り換えることができます。	**使えるモード：P A S M 🎥M C1 C2 ✎** [(•)]（マルチ測光）：画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをおすすめします。 [( )]（中央重点測光）：画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。 [•]（スポット測光）：スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット ● [(•)] 選択時、[オートフォーカスモード] を [顔] に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。
i◐ 暗部補正（インテリジェント暗部補正） 背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。	**使えるモード：P A S M 🎥M C1 C2 ✎** **[OFF]、[弱]、[中]、[強]** ● [弱]、[中]、[強]いずれかに設定すると、画面に[i◐]が表示されます。 ● [ISO感度]が[ISO80]/[ISO100]のときでも、[暗部補正]有効時に撮影すると、[ISO感度]は[ISO80]/[ISO100]より大きくなることがあります。 ● 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 ● [暗部補正]有効時は、画面の[i◐]が黄色になります。 ● [弱]、[中]、[強]は効果の最大範囲を表します。 ● 以下の場合、[暗部補正] は [OFF] に固定されます。 ・[クオリティ] の [RAW]、[RAW] または [RAW] 設定時 ・[多重露出] 設定時
多重露出 1 枚の画像に 2 回または 3 回の露光を行ったような効果を得ることができます。	**使えるモード：P A S M C1 C2** **1 [開始] を選び、[MENU/SET] を押す** 多重露出 開始 自動ゲイン補正 ON 戻る 選択 決定

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定･お知らせ
多重露出 （つづき）	**2　構図を決めて 1 枚目を撮影する** ●撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。 ●▲/▼で項目を選び、[MENU/SET] を押すと以下の操作が可能です。 ・[次の撮影]：次の撮影に進む ・[撮り直し]：1 枚目の撮影に戻る ・[完了]：1 枚目の撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了する **3　構図を決めて 2 枚目を撮影する** ●撮影後、1枚目と2枚目の撮影画像が重なって表示されます。 ●撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。 ●▲/▼で項目を選び、[MENU/SET] を押すと以下の操作が可能です。 ・[次の撮影]：次の撮影に進む ・[撮り直し]：2 枚目の撮影に戻る ・[完了]：2枚目の撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了する **4　構図を決めて 3 枚目を撮影する** ●撮影後、1 枚目、2枚目、3枚目の撮影画像が重なって表示されます。 ●▲で[撮り直し]を選び、[MENU/SET]を押すと、3枚目の撮影に戻ります。 **5　▼で [完了] を選び、[MENU/SET] を押す** ●シャッターボタン半押しでも終了できます。 ●3枚目までの撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。 **■ 自動ゲイン補正設定について** 手順 1 の画面で[自動ゲイン補正]を選んで設定してください。 ● [ON]：撮影枚数に応じて明るさのレベルを調整して重ね合わせます。 ● [OFF]：すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。 ●完了するまで画像は記録されません。 ●多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。 ●撮影時に[MENU/SET]を押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。 ●記録画素数は [開始] を選んだ時点で設定が固定されます。 ●ズーム位置とホワイトバランスは、1枚目を撮影した時点で固定されます。 ●以下の機能が使えなくなるなど、一部、機能制限があります。 ・[連写]　・[暗部補正]　・[オートブラケット] ・[アスペクトブラケット]　・ホワイトバランスブラケット ・EX 光学ズーム　・[デジタルズーム]

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
MIN 下限シャッター速度 下限シャッター速度を遅く設定すると、暗い場所での撮影時に明るく撮影できます。また、速く設定すると、被写体のブレを軽減して撮影することができます。	**使えるモード: P C1 C2** [AUTO]、[1/250]、[1/125]、[1/60]、[1/30]、[1/15]、[1/8]、[1/4]、[1/2]、[1] 下限シャッター速度設定: 1/250秒 ⇔ 1秒 明るさ: 暗くなる ⇔ 明るくなる 手ブレ: 少ない ⇔ 多い ● 通常は、[AUTO]に設定してお使いください。（[AUTO]以外を選択した場合、画面に [MIN] が表示されます） ● [AUTO]を選ぶと、手ブレ補正設定時にブレ量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大1秒になります。 ● [下限シャッター速度]を遅く設定するときは、手ブレが起きやすいため三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● [下限シャッター速度]を速く設定するときは、暗く写りやすいので、明るいところで撮影することをおすすめします。適正露出でない場合、シャッターボタンを半押しすると[MIN]が赤く点滅します。
連写 シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。 撮影後にお気に入りの画像を選んでください。	**使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN** [OFF]、[連写] **連写速度**：2.5コマ/秒※ **連写枚数**： （ファイン）最大3コマ （スタンダード）最大5コマ RAW（ファイン）・RAW（スタンダード）・RAW：最大3コマ ※カードの転送速度に関係なく、連写速度は一定です。 ● 上記の連写速度は、シャッタースピードが1/60より速いときの値です。 ● ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目に固定されます。被写体の明るさの変化によっては、2枚目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。 ● セルフタイマー使用時の連写設定は、3枚に固定されます。 ● 屋内外など明暗差の大きい場所（風景）で動きのある被写体を追いながら撮影した場合、最適な露出にならないことがあります。 ● 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ/秒）が遅くなる場合があります。 ● 連写設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。 ● 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。 ● **連写を設定すると、フラッシュは[発光禁止]になります。**

項目	設定・お知らせ
連写 （つづき）	**●連写を設定すると、[オートブラケット]、[アスペクトブラケット]、[マルチフィルム]、ホワイトバランスブラケットは解除されます。** **●外部フラッシュ使用時の連写枚数は、3 枚に固定されます。** ●以下の場合、連写はできません。 ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空] ・動画撮影時 ・[多重露出] 設定時
I.R超解像 超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影することができます。	使えるモード：P A S M ■M C1 C2 [OFF]、[弱]、[中]、[強] ●シーンモードの[高感度]、[高速連写]は[弱]、[人物]、[美肌]、[自分撮り]、[パノラマアシスト]、[夜景&人物]、[パーティー]、[赤ちゃん 1]/[赤ちゃん2]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]は[OFF]、それ以外のシーンモードでは[中]に固定されます。 ●マイカラーモードの[ハイダイナミック]、[ダイナミックアート]、[ダイナミック B&W (白黒)]は[弱]、[サンドブラスト]は[強]、[ピンホール] は[OFF]に固定されます。
i.ZOOM iA ズーム 超解像技術を利用して、画像をほとんど劣化させずに、約 1.3 倍ズーム倍率を上げることができます。	使えるモード：P A S M ■M C1 C2 [OFF]、[ON] ●詳しくは、42ページをお読みください。
デジタルズーム 光学ズーム、EX 光学ズーム、または iA ズームよりも、さらに拡大することができます。	使えるモード：P A S M ■M C1 C2 SCN [OFF]、[ON] ●詳しくは、42ページをお読みください。 ●ズーム時に手ブレが気になるときは、[手ブレ補正]を[AUTO]または[MODE1]に設定することをおすすめします。
ステップズーム 撮りたい焦点距離でズームを行うことができます。	使えるモード：P A S M C1 C2 SCN [OFF]、[ON] ●詳しくは、44ページをお読みください。

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定･お知らせ
((✋))手ブレ補正 撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。	使えるモード: P A S M 🎥M C1 C2 SCN 🖌 [OFF] [AUTO]※: 撮影状況に応じて自動的に[MODE1]と[MODE2]を切り換え、最適な手ブレ補正にします。 [MODE1]: 撮影モード時、常に手ブレを補正します。 [MODE2]※: シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。 ※動画撮影中は[MODE1]になります。 ●以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。 ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき ・デジタルズーム領域 ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。 ●シーンモードの[自分撮り]では[MODE2]、シーンモードの[星空]では[OFF]に固定されます。 ●クリエイティブ動画モード時は、[OFF] または [MODE1] のみ設定できます。
AF✳AF補助光 撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。	使えるモード: P A S M 🎥M C1 C2 SCN 🖌 [OFF]: 点灯しません。 [ON]: 暗い場所での撮影時、シャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。 （撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます） ●補助光の有効距離は1.5 mです。 ●暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。 ●以下の場合、AF 補助光は [OFF] に固定されます。 ･シーンモードの [自分撮り]、[風景]、[夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮] ･[コンバージョン] の [W] 設定時 AF補助光ランプ
⚡フラッシュ フラッシュの設定を切り換えることができます。	使えるモード: P A S M C1 C2 SCN 🖌 [⚡A]、[⚡A◎]、[⚡]、[⚡◎]、[⚡S◎] ●詳しくは、52ページをお読みください。

項目	設定･お知らせ
[フラッシュシンクロ アイコン] **フラッシュシンクロ** 後幕シンクロとは、車などの動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。	**使えるモード:** P A S M C1 C2 **[先幕(さきまく)]**: 一般的なフラッシュ撮影の方法です。 **[後幕(あとまく)]**: 被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。 ●通常は [先幕] に設定してください。 ●[後幕] に設定すると、画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。 ●シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。 ●フラッシュシンクロは外部フラッシュ使用時にも有効です。
[フラッシュ光量調整 アイコン] **フラッシュ光量調整** フラッシュの発光量を調整することができます。	**使えるモード:** P A S M C1 C2 SCN [クリエイティブ] **[−2 EV]、[−1 2/3 EV]、[−1 1/3 EV]、[−1 EV]、[−2/3 EV]、[−1/3 EV]、[0 EV]、[+1/3 EV]、[+2/3 EV]、[+1 EV]、[+1 1/3 EV]、[+1 2/3 EV]、[+2 EV]** ●詳しくは、56ページをお読みください。
[デジタル赤目補正 アイコン] **デジタル赤目補正** 赤目軽減([⚡A赤目])、[⚡赤目]、[⚡S赤目])選択時にフラッシュが発光すると、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。	**使えるモード:** P A S M C1 C2 SCN [クリエイティブ] **[OFF]、[ON]** ●赤目の状態によっては補正できない場合があります。 ●[ON]に設定すると、アイコンに[🖌]が表示されます。 ●詳しくは、53ページをお読みください。

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定･お知らせ
外部光学ファインダー 液晶モニターを、別売の外部光学ファインダー使用時に適した表示に切り換えることができます。	使えるモード：P A S M C1 C2 SCN [OFF] [ON]：液晶モニターは消灯します。 ● [DISPLAY]を数回押すことで液晶モニターの表示を切り換えることができます。液晶モニターの表示切り換えについては、49 ページをお読みください。 ● 通常、液晶モニターは消灯していますが、フォーカス表示やフラッシュ充電表示などは点灯します。 ● 外部光学ファインダーの取り付けかたについては、156ページをお読みください。 ● 外部光学ファインダーを使用しないときは、[OFF]に設定してください。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は [■] になります。 ● [ON] に設定しているときは、[オートフォーカスモード]の[ ]または [ ] は設定できません。
コンバージョン 別売のワイドコンバージョンレンズを使用することで、風景などをより広角に撮影することができます。	使えるモード：P A S M C1 C2 SCN [OFF] [W]：ワイドコンバージョンレンズを装着するとき ● [W]に設定すると W 端に固定され、画質はワイドコンバージョンレンズに最適な設定になります。 ● **レンズの取り付けかたについては、159ページをお読みください。** ● ワイドコンバージョンレンズを使用しないときは、必ず[OFF]に設定してください。
オートブラケット オートブラケット撮影時の露出の補正幅を設定します。	● 詳しくは、63ページをお読みください。
アスペクトブラケット 1 回シャッターボタンを押すと、自動的に横縦比を変えて 4 枚撮影することができます。	使えるモード：P A S M C1 C2 SCN [OFF]、[ON] ● 詳しくは、63ページをお読みください。
時計設定 年･月･日･時刻を設定、または変更することができます。	セットアップメニューの[時計設定]（P27）と同じ機能です。

動画撮影メニューを使う

動画撮影メニューの設定方法は P25へ

- クリエイティブ動画モード時は以下の撮影メニューも表示されます。
  ・[フィルムモード]/[ISO 感度]/[ISO 感度上限設定]/[ISO 感度ステップ]/[ホワイトバランス]/[オートフォーカスモード]/[AF/AE ロック切換]/[測光モード]/[暗部補正]/[超解像]/[iA ズーム]/[デジタルズーム]/[手ブレ補正]/[AF 補助光]/[コンバージョン]

項目	設定・お知らせ
撮影モード 動画のデータ形式を設定します。	**使えるモード:** iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN ⊘ [AVCHD Lite]、[MOTION JPEG] ● 詳しくは、84ページをお読みください。
画質設定 記録する動画の画質を設定します。	**使えるモード:** iA P A S M 🎥M C1 C2 SCN ⊘ 撮影モード :[AVCHD Lite]のとき [SH]、[H]、[L] 撮影モード :[MOTION JPEG]のとき [HD]、[WVGA]、[VGA]、[QVGA] ● 詳しくは、84ページをお読みください。
動画露出設定 クリエイティブ動画モード時の設定を切り換えます。	**使えるモード:** 🎥M [P]、[A]、[S]、[M] ● 詳しくは、88ページをお読みください。
C-AF AF連続動作 一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。	**使えるモード:** P A S M 🎥M C1 C2 SCN ⊘ [OFF]、[ON] ● [OFF]に設定時、動画記録が開始されるまで時間がかかる場合があります。 ● 動画撮影開始時のピント位置で固定したい場合は、[OFF] に設定してください。 ● シーンモードの[星空]、[花火]では[OFF]に固定されます。
風音低減 音声記録時の風雑音を記録しにくくします。	**使えるモード:** P A S M 🎥M C1 C2 SCN ⊘ [OFF]、[ON] ● 風音低減を設定しているときは、通常と音質が異なります。

文字を入力する

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

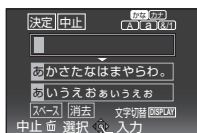
撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)

1 入力画面を表示し、▼を押して文字選択部分に移動する

- 入力画面は以下の操作から表示できます。
  - ・[ユーザー名記録](P33)
  - ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[名前](P78)
  - ・[個人認証]の[名前](P90)
  - ・[トラベル日付]の[旅行先](P95)
  - ・[タイトル入力](P126)

2 ▲/▼/◀/▶で文字を選び、[MENU/SET]で入力する

- [DISPLAY]を押すと、かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、&/1(記号/数字)に文字を切り替えることができます。([ユーザー名記録] 時は、A/a(アルファベット)と&/1(記号/数字)にのみ切り替えられます)
- 入力位置のカーソルは、ズームレバーで左右に移動できます。
- 空白を入れたいときは[スペース]、入力した文字を消去したいときは[消去]、文字入力の途中で編集を中止したいときは[中止]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押してください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - ・かな/カナ: 最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字)
  - ・A/a/&/1※: 最大30文字([個人認証]の名前設定時は最大9文字、[ユーザー名記録]時は最大64文字)

※ [＼]、[「]、[」]、[・]、[—]、[歳]、[カ]、[月]、[日]は最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字)です。

3 ▲/▼/◀/▶で[決定]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押して入力を終了する

- それぞれの設定画面に戻ります。

文字入力例
「パリ」と入力する場合:
❶ [DISPLAY]を押し、カナに切り替える
❷ ▼で文字選択部分に移動し、◀/▶で「ハ」にカーソルを合わせる
❸ ▼で下の段に移動し、◀/▶で「ハ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す
❹ ◀/▶で「゜」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押し、「パ」にする
❺ ▲を押して上の段に戻り、◀/▶で「ラ」にカーソルを合わせる
❻ ▼で下の段に移動し、◀/▶で「リ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

画像を順番に再生する（スライドショー）

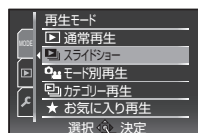
再生モード：[▶]

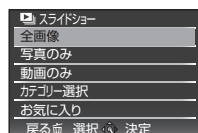
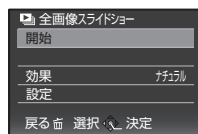
▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、カテゴリーで分類した画像のみ、お気に入りに設定した画像のみをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

1 [▶]を押し、[MENU/SET]を押す

2 ▶を押す

3 ▲/▼で[スライドショー]を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

- [お気に入り]は再生メニューの[お気に入り](P133)が[ON]で設定済みの画像があるときのみ、選択できます。
- [カテゴリー選択]時は、▲/▼/◀/▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください。
  カテゴリーの詳細については121ページをお読みください。

5 ▲で[開始]を選び、[MENU/SET]を押す

6 ▼を押してスライドショーを終了する

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

画像を順番に再生する（スライドショー）（つづき）

再生モード：[▶]

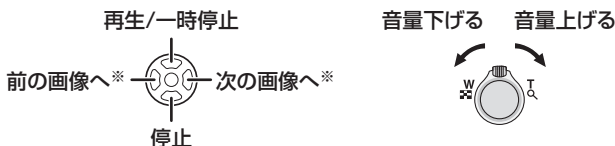
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

再生/一時停止

前の画像へ※ 次の画像へ※

停止

※一時停止中および動画再生中のみ操作できます。

- [🗑]を押すとメニュー画面に戻ります。

■ スライドショーの設定を変更する

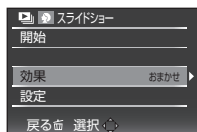
スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

[効果]

画像切り換え時の画面効果、音楽効果を選ぶことができます。
[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、
[おまかせ]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにおすすめの効果で再生します。
- 動画のみのスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
- 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の[効果]は動作しません。

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	OFF、ON
[音設定]	[OFF]: 音を出しません。 [AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 音声(動画のみ)を再生します。

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。

お知らせ

- 音楽を追加することはできません。
- HDMI ミニケーブル(別売)接続時は、[音楽]は表示されません。

画像を選んで再生する

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

モード別再生

[写真]、[AVCHD Lite]または[MOTION JPEG]を選び、再生することができます。

1 119ページの手順 **1**、**2** を行う

2 ▲/▼で[モード別再生]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

カテゴリー再生

シーンモードなどのカテゴリー(人物･風景･夜景など)を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。

1 119ページの手順**1**、**2**を行う

2 ▲/▼で[カテゴリー再生]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼/◀/▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押す

- 画像が見つかったカテゴリーのアイコンが青になります。
- 画像ファイルが多い場合は、検索に時間がかかることがあります。
- 検索中に[🗑]を押すと、途中で検索が中止されます。

画像を選んで再生する（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

●分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
（個人認証アイコン）	個人認証※
（人物アイコン）	人物、i人物、美肌、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、i赤ちゃん
（風景アイコン）	風景、i風景、夕焼け、i夕焼け、空撮
（夜景アイコン）	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、星空

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
（イベントアイコン）	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮
（赤ちゃんアイコン）	赤ちゃん、i赤ちゃん
（ペットアイコン）	ペット
（料理アイコン）	料理
（トラベルアイコン）	トラベル日付
（動画アイコン）	[AVCHD Lite]、[MOTION JPEG]

※ ▲/▼/◀/▶ で再生したい人物を選び[MENU/SET]を押して再生してください。
登録している人物でも、表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
また、すでに登録している人物が複数写っている画像の場合には、登録順で1人だけに分類されます。

お気に入り再生

[お気に入り]設定(P133)した画像を再生することができます。([お気に入り]が[ON]で設定済みの画像があるときのみ)

1 119ページの手順1、2を行う

2 ▲/▼ で [お気に入り再生] を選び、[MENU/SET] を押す

動画を再生する

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

- 本機で再生できる動画のファイル形式はQuickTime Motion JPEGまたは AVCHD Liteです。
- 本機で再生できるAVCHD Lite形式の動画は、本機および当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した[AVCHD Lite]動画のみです。

◀/▶ で動画アイコン([QVGA]など)が付いた画像を選び、▲を押して再生する

- 再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
  例)1時間2分30秒のとき：1h2m30s
- [AVCHD Lite]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。

■ 動画再生中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

※一時停止中のみ操作できます。

- **早送り/早戻し再生について**
  - ・再生中に▶を押すと早送り再生(◀を押すと早戻し再生)になります。もう一度◀/▶を押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。(画面表示が▶▶ から▶▶▶ に変わります)
  - ・▲を押すと、通常再生に戻ります。
  - ・大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

お知らせ

- スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの[スピーカー音量](P27)をお読みください。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM(付属)のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」をご使用ください。
- パソコンや他機で記録されたQuickTime Motion JPEG動画は、画質が粗くなったり、本機で再生できない場合があります。
- 再生時は、本機底面部のスピーカーをふさがないようにお気をつけください。

動画から写真を作成する

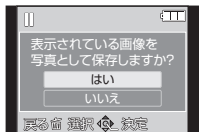
再生モード：[▶]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

1 動画再生中に ▲ を押して、一時停止にする

2 [MENU/SET] を押す

3 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す

記録画素数

記録画素数は以下のとおりです。

MOTION JPEG	記録画素数
HD / WVGA	2 M(16:9)
VGA / QVGA	0.3 M(4:3)

AVCHD Lite	記録画素数
SH / H / L	2 M(16:9)

- [クオリティ]は [▪▪▪] になります。
- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。

お知らせ

- 他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。

再生メニューを使う

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ（縮小）]、[トリミング（切抜き）]または[傾き補正]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

再生メニューの設定方法はP25へ

CALカレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 再生メニューから[カレンダー検索]を選ぶ

- ズームレバーを数回[▦]（W）側に回しても、カレンダー検索表示画面にできます。（P45）

2 ▲/▼/◀/▶ で再生する日付を選ぶ

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。
- 後ダイヤルを回しても日付を選ぶことができます。

3 [MENU/SET]を押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- [🗑]を押すと、カレンダー検索表示画面に戻ります。
- 後ダイヤルを押しても画像を表示することができます。

4 ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET]を押す

- 選択されていた画像が表示されます。
- 後ダイヤルでも選択できます。

お知らせ

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2010年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生メニューを使う（つづき）

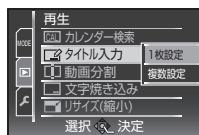
再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

タイトル入力

撮影画像に文字（コメント）を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み]（P128）で撮影画像に焼き込むことができます。（ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます）

1 再生メニューから［タイトル入力］を選ぶ

2 ▲/▼で［1枚設定］または［複数設定］を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでにタイトルが入力されている画像には[ ]が表示されます。

［複数設定］選択時
[DISPLAY]を押して設定（繰り返す）し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

［1枚設定］　［複数設定］

◀/▶ で選びます。

▲/▼/◀/▶ で選びます。

4 文字を入力する（P118）

5 [ ]を押してメニュー画面に戻る※

※［複数設定］選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使って、文字（コメント）をプリントすることができます。
- ［複数設定］で一度に設定できるのは50枚までです。
- 動画、プロテクトされた画像、クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像、他機で撮影された画像はタイトル入力できません。

再生メニューの設定方法はP25へ

動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにおすすめです。**分割すると、元に戻すことができません。**

1 再生メニューから[動画分割]を選ぶ

2 ◀/▶で分割編集したい動画を選び、[MENU/SET]を押す

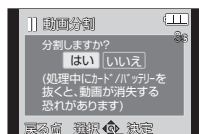
- 動画が再生されます。

3 分割したい位置で▲を押す

- 動画が一時停止されます。
  もう一度▲を押すと、続きから動画が再生されます。

4 ▼を押す

5 ◀で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失する恐れがあります。

6 [䷀]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 他機で撮影された動画は、分割できない場合があります。
- 動画の最初や最後の方では分割できない場合があります。
- [MOTION JPEG]動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。[カレンダー検索]や[モード別再生]の[MOTION JPEG]で表示することをおすすめします。
- [AVCHD Lite]動画の場合、画像の順番は変わりません。
- 以下の場合、動画分割はできません。
  ･[お気に入り]設定された動画
  ･プロテクトされた動画
  ･撮影時間が短い動画

再生メニューを使う（つづき）

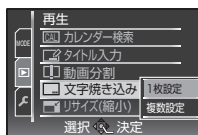
再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。Lサイズでプリントする場合に適しています。[記録画素数が[3M]より大きい画像はリサイズ(縮小)されます]

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISPLAY]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

4 ▲/▼で焼き込む項目を選び、▶を押す

5 ▲/▼で設定を選び、[MENU/SET]を押す

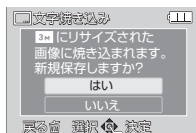
項目	設定内容
[撮影日時]	[OFF] [日付]：年月日を焼き込みます。 [日時]：年月日時分を焼き込みます。
[名前]	[OFF] [ ](個人認証)： [個人認証]で登録された名前を焼き込みます。 [/](赤ちゃん/ペット)： シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。
[旅行先]	[OFF] [ON]：[旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。
[トラベル日付]	[OFF] [ON]：[トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。
[タイトル]	[OFF] [ON]：[タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。

6 [MENU/SET]を押す

- 記録画素数が[2.5M](1:1)、[3M](4:3)、[3M](3:2)または[2.5M](16:9)より大きい画像に文字焼き込みを行う場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。
  - ・7.5M/5.5M/3.5M → 2.5M(1:1)
  - ・10M/7M/5M → 3M(4:3)
  - ・9.5M/6.5M/4.5M → 3M(3:2)
  - ・9M/6M/4.5M → 2.5M(16:9)
- [ ]または[/]選択時、[月齢/年齢]も焼き込む場合は▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押して手順**7**へ進んでください。

7 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 記録画素数が[3M]以下で撮影された画像の場合はリサイズ(縮小)されませんので、「新規保存しますか？」のメッセージだけが表示されます。

(例)

8 [ ]を押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- [0.2M]/[0.3M]/[0.3M]/[0.2M]の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・動画
  - ・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - ・文字焼き込みされた画像
  - ・クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
  - ・他機で撮影された画像

再生メニューを使う（つづき）

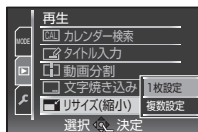
再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

リサイズ（縮小）　画像サイズ（画素数）を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量（記録画素数）を小さくします。

1 再生メニューから［リサイズ（縮小）］を選ぶ

2 ▲/▼で［1枚設定］または［複数設定］を選び、［MENU/SET］を押す

3 画像、サイズを選ぶ

［1枚設定］選択時

1. ◀/▶で画像を選び、［MENU/SET］を押す
2. ◀/▶でサイズ※1を選び、［MENU/SET］を押す

※1 リサイズ（縮小）できるサイズのみ表示されます。

［1枚設定］

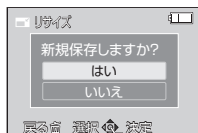
［複数設定］選択時

1. ▲/▼でサイズを選び、［MENU/SET］を押す
   - ［DISPLAY］を押すと、リサイズ（縮小）の説明を表示します。
2. ▲/▼/◀/▶で画像を選び、［DISPLAY］を押す
   - この手順を繰り返し、［MENU/SET］を押して決定します。

［複数設定］

4 ▲で［はい］を選び、［MENU/SET］を押す

5 ［🗑］を押してメニュー画面に戻る※2

※2［複数設定］選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。
- ［MENU/SET］を押してメニューを終了します。

お知らせ

- ［複数設定］で一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズ（縮小）を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズ（縮小）できない場合があります。
- 動画、文字焼き込みされた画像、クオリティを［RAW］、［RAW］または［RAW］にして撮影された画像はリサイズ（縮小）できません。

✂トリミング(切抜き) 画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから[トリミング(切抜き)]を選ぶ

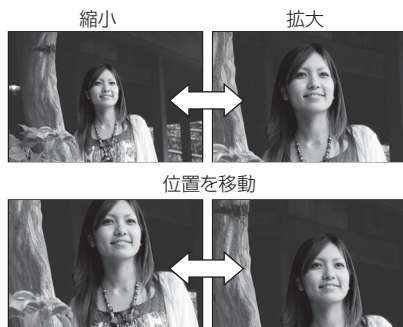
2 ◄/► で画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 ズームレバーと▲/▼/◄/►で切り抜く部分を選ぶ

ズームレバー(T): 拡大
ズームレバー(W): 縮小

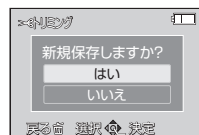
▲/▼/◄/►: 移動

縮小 拡大

位置を移動

4 [MENU/SET]を押す

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

6 [㎡]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- トリミング(切抜き)を行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミング(切抜き)できない場合があります。
- 動画、文字焼き込みされた画像、クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像はトリミング(切抜き)できません。
- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

傾き補正

画像の微妙な傾きを修正することができます。

1 再生メニューから［傾き補正］を選ぶ

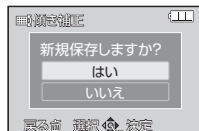
2 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

3 ◀/▶ で傾きを調整し、[MENU/SET] を押す

▶：時計回りに回転します。
◀：反時計回りに回転します。
- 最大 2° まで傾きを補正できます。

4 ▲ で［はい］を選び、[MENU/SET] を押す

5 ［🗑］を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET] を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 傾き補正を行うと、画質が粗くなります。
- 傾き補正を行うと、元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- 他機で撮影された画像は傾き補正できない場合があります。
- 動画から作成された静止画は傾き補正できない場合があります。
- 動画、文字焼き込みされた画像、クオリティを［RAW］、［RAW］または［RAW］にして撮影された画像は傾き補正できません。
- 傾き補正を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

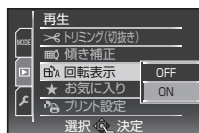
回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させることができます。

1 再生メニューから［回転表示］を選ぶ

2 ▼ で［ON］を選び、[MENU/SET] を押す

- [OFF] に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については、45ページをお読みください。

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

再生メニューの設定方法はP25へ

お知らせ

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです]
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。
- マルチ再生(P45)時は、回転表示されません。

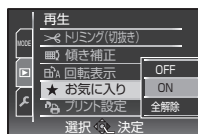
★お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。

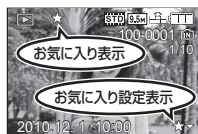
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([★以外全消去])

1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2 ▼で[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

- [OFF]に設定するとお気に入り設定できません。設定済み画像の表示[★]も表示されません。

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

4 ◄/► で画像を選び、▼で設定する

- この手順を繰り返します。
- もう一度▼を押すと解除されます。

■[お気に入り]設定を全解除する

1 手順**2**で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- 設定済みの画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

お知らせ

- 999枚まで設定できます。
- お店にプリントを依頼するときに、[★以外全消去](P48)の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。
- [クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。

再生メニューを使う（つづき）

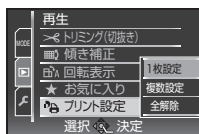
再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P137)してから[プリント設定]の設定をしてください。

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]を押す

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼でプリント枚数を設定し、[MENU/SET]で決定する
- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。(一括設定することはできません)

5 [🗑]を押してメニュー画面に戻る
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ [プリント設定]を全解除する

1 手順**2**で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する
- [プリント設定]で設定された画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY]を押すごとに日付プリントを設定/解除できます。
- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

再生メニューの設定方法はP25へ

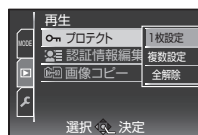
お知らせ

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- PictBridge対応のプリンターでは、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- 動画、[クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像はプリント設定できません。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

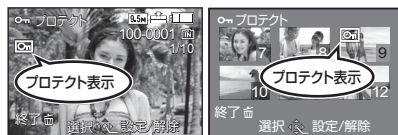
1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

[複数設定]選択時
- この手順を繰り返します。
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 [🗑]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ **[プロテクト]設定を全解除する**

1 手順2で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- 全解除中に[MENU/SET]を押すと、途中で全解除が中止されます。

お知らせ

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

1 再生メニューから [認証情報編集] を選ぶ

2 ▲/▼で [入換え] または [解除] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

- 個人認証情報が登録されていない画像は選択できません。

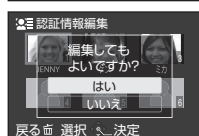
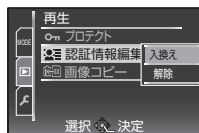
4 ◀/▶ で人物を選び、[MENU/SET] を押す

- [解除]→手順**6**へ
- 個人認証情報が登録されていない人物は選択できません。

5 ▲/▼/◀/▶ で入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET] を押す

6 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す

7 [🗑] を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET] を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー再生] の個人認証に分類されません。
- プロテクトされた画像は認証情報編集できません。

再生メニューの設定方法はP25へ

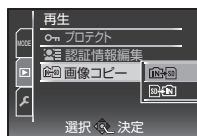
画像コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 再生メニューから[画像コピー]を選ぶ

2 ▲/▼で画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET]を押す

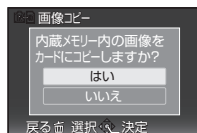
[IN→SD]：内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。→手順**4**へ

[SD→IN]：カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。→手順**3**へ

3 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- コピー中に[MENU/SET]を押すと、途中でコピーが中止されます。
- コピー中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。

5 [削除]を押してメニュー画面に戻る

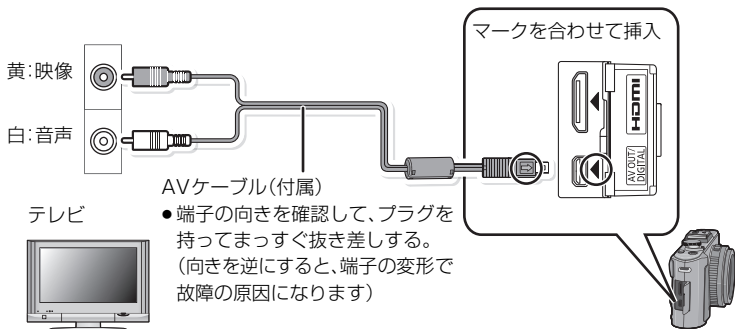
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。
- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、すべての画像をコピーすると、自動的に再生画面に戻ります。

お知らせ

- [IN→SD]時、カードの空き容量が少ないと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー(約40 MB)より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- [IN→SD]時、コピーする画像と同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [SD→IN]時は、同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。(P165)
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した画像のみコピーされます。(当社製デジタルカメラで撮影した画像でも、パソコンなどで編集された画像はコピーできない場合があります)
- [プリント設定]、[プロテクト]設定または[お気に入り]設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- [AVCHD Lite]で撮影された動画はコピーできません。

テレビで見る

再生モード：▶

AV ケーブル(付属)を使って見る

準備：[TV画面タイプ](P32)を設定する。
本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1. テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する
2. 本機の[AV OUT]端子にAVケーブルを確実に接続する
3. テレビの電源を入れ、外部入力にする
4. 本機の電源を入れ、[▶]を押す

お知らせ

- 画像横縦比によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。

SDカードスロット付きテレビで見る

SDカードスロット付きテレビに、カードを入れて、撮影した写真を再生することができます。

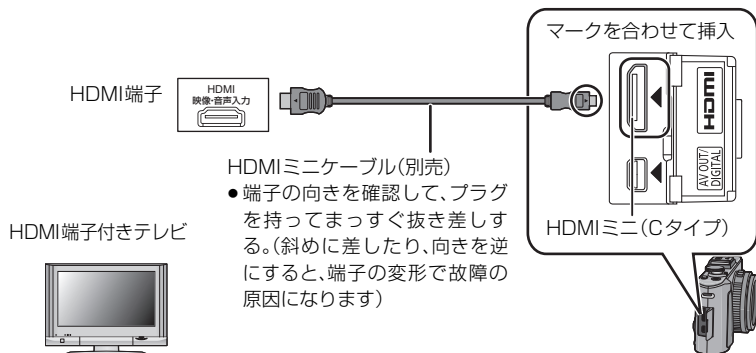
お知らせ

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- [AVCHD Lite]で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークが付いている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。その他の場合、動画を再生するときは、AVケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードに対応しているテレビでなければ再生できません。
- SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカードに対応しているテレビでなければ再生できません。

HDMI端子付きテレビで見る

HDMIミニケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続すると、高画質な画像や動画をテレビで楽しむことができます。

HDMIとは
HDMIはデジタル機器向けのインターフェースです。HDMI対応機器と接続すると、デジタル信号で映像や音声を出力することができます。本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影したハイビジョン映像を高画質·高音質で楽しむことができます。また、ビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)と接続すると連動操作(ビエラリンク)ができます。(P140)

準備: [HDMI出力解像度](P32)を確認する。
本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 テレビのHDMI端子にHDMIミニケーブルを接続する

2 本機の[HDMI]端子にHDMIミニケーブルを確実に接続する

3 テレビの電源を入れ、HDMI入力に切り換える

4 本機の電源を入れ、[▶] を押す

- [ビエラリンク](P32)を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。(P140)

テレビで見る（つづき）

再生モード：▶

お知らせ

- 画像横縦比によっては、画像の上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  ・品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）
- HDMI出力しているときは、液晶モニター/外部ライブビューファインダー（別売：DMW-LVF1）に画像は表示されません。
- AVケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、HDMIミニケーブルからの出力が優先されます。
- パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIミニケーブルを接続してもHDMI出力できません。
- HDMIミニケーブル接続時にUSB接続ケーブルを挿入すると、HDMI出力は解除され、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- テレビの取扱説明書もお読みください。
- 音声はモノラルで再生されます。
- 使用できない機能があります。（[タイトル入力]、[動画分割]、[文字焼き込み]、[リサイズ（縮小）]、[トリミング（切抜き）]、[傾き補正]、[認証情報編集]、[画像コピー]、画像複数選択など）

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）を使う

ビエラリンク（HDMI）とは

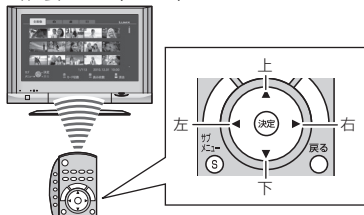
- 本機とHDMIミニケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。（すべての操作ができるものではありません）
- ビエラリンク（HDMI）はHDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク（HDMI） Ver.5に対応しています。ビエラリンク（HDMI） Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2009年12月現在）

準備：[ビエラリンク]（P32）を[ON]に設定する。

1 HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）をつなぐ（P139）

当社製テレビ（ビエラ）

2 本機の電源を入れ、[▶] を押す

3 テレビのリモコンで操作する

■ 使用できる機能

テレビのリモコンで操作します。

マルチ再生 	**ビエラリンク使用時にはじめに表示されます** ▲/▼/◀/▶：　画像を選ぶ [決定]：　1 画面表示へ進む [赤]：　再生するデータの種類を切り換える [サブメニュー]：　再生モード選択画面を表示する ● 再生するデータの種類は、[全画像] → [📷] → [🎥] → [🎞] → [全画像]の順に切り換わります。 ● 再生モード選択画面では、[通常再生]/[スライドショー]/[カテゴリー再生]/[カレンダー検索]/[お気に入り再生]のいずれかを選択できます。
1 画面表示 操作アイコン	**マルチ再生時に画像を選び、[決定] を押す** ◀/▶：　画像を送る ▲：　撮影情報を表示する ▼：　マルチ再生に戻る [決定]：　動画を再生する(動画選択時) [赤]：　スライドショーを開始する [サブメニュー]：　スライドショー設定画面へ進む ● 動画再生中は ◀/▶ で早戻し / 早送り、▼ で再生を終了します。
スライドショー 操作アイコン	**1 画面表示時に [赤] を押す** ◀/▶：　画像を送る(動画再生時/一時停止時) ▼：　スライドショーを終了し、1 画面表示に戻る [決定]：　一時停止する [サブメニュー]：　スライドショー設定画面へ進む ● 動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。

お知らせ

- 操作アイコン表示中に[戻る]を押すか、しばらく何も操作しないと、操作アイコンが非表示になります。また操作アイコン非表示中に以下のボタンのいずれかを押すと、操作アイコンが表示されます。
  ・▲/▼/◀/▶、[決定]、[サブメニュー]、[戻る]、[赤]、[緑]、[黄]
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをおすすめします。
- 本機の[ビエラリンク](P32)を[ON]に設定している場合は、本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- 接続したテレビ側のビエラリンク(HDMI)が働くように設定しておいてください。(設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク](P32)を[OFF]に設定してください。

テレビで見る（つづき）

再生モード：▶

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶]を押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、173ページをご確認ください。

お知らせ

- お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、テレビの取扱説明書をお読みください。

VIERA Link

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  ・品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）
- パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIミニケーブルを接続してもビエラリンクが働きません。
- ビエラリンク動作時、本機の[HDMI出力解像度]（P32）は自動的に判別されます。
- 本機以外で撮影された[AVCHD Lite]動画を本機で再生する場合、自動的に解像度が切り換わることがあります。その際にしばらくの間、画面が黒くなることがありますが故障ではありません。

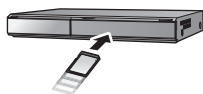
記録した写真や動画を残す

本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、RAW、AVCHD Lite、Motion JPEG)によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SDカードをレコーダーに入れてダビングする

取り込み可能なファイル形式: 写真 (JPEG)/ 動画 (AVCHD Lite)

当社製ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーに本機で撮影したSDカードを入れると、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスクにダビングすることができます。

- [AVCHD Lite]で撮影された動画は、AVCHDに対応していない機器(従来のDVDレコーダーなど)では再生できません。また、再生可能なAVCHD対応機器でも、ダビングができない機器もあります。
- SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードに対応しているレコーダーでなければ再生できません。
- SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカードに対応しているレコーダーでなければ再生できません。
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

AVケーブルを使って再生映像をダビングする

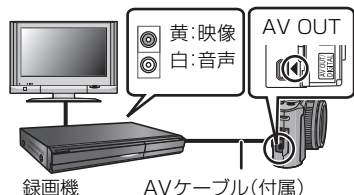
取り込み可能なファイル形式: 動画 (AVCHD Lite、Motion JPEG)

本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオなどにダビングします。ハイビジョン(AVCHD)対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

1 本機と録画機をAVケーブル(付属)で接続する

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

お知らせ

- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P32)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビング時は本機の[DISPLAY]を押し、画面表示を消しておくことをおすすめします。(P49)
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

記録した写真や動画を残す（つづき）

「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使ってパソコンにコピーする

取り込み可能なファイル形式：写真（JPEG、RAW）/動画（AVCHD Lite、Motion JPEG）

CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使ってパソコンに写真や[AVCHD Lite]、[MOTION JPEG]で撮影した動画を取り込んだり、[AVCHD Lite]で撮影した動画から、従来の標準画質のDVDビデオを作成することなどができます。（P145）

またDVDへの画像書き込み、複数の写真をつなぎ合わせて１枚のパノラマ写真に合成やお好みの音楽や効果を付けてスライドショーを作成などができ、それらをDVDに保存することもできます。

1　お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」をインストールする
- 動作環境やインストールについて、詳しくは別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

2　本機とパソコンを接続する
- 接続のしかたについては、146 ページ「パソコンと接続する」をお読みください。

3　「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使って画像をパソコンにコピーする
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」の取扱説明書（PDF）をお読みください。

お知らせ
- 取り込んだ[AVCHD Lite]動画に関するファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去、変更、移動をすると再生、編集などができなくなりますので、[AVCHD Lite]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使って取り込んでください。

パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- **SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。（撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください）カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。**
  http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使うと便利です。
- CD-ROM（付属）のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続編取扱説明書」**をお読みください。

■ 使用できるパソコン

	Windows			Macintosh
	98/98SE	Me/2000	XP/Vista/7	OS 9/OS X
PHOTOfunSTUDIOは使える？	**使えません**		**使えます※1**	**使えません**
[AVCHD Lite]動画をパソコンに取り込める？	**取り込めません**		**取り込めます※2**	**取り込めません**
USB接続ケーブルを使ってデジタルカメラの写真、[MOTION JPEG]動画をパソコンに取り込める？	**取り込めません**	**取り込めます**		**取り込めます** （OS 9.2.2/OS X [10.1～10.6]）

- Windows 98/98SE以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー/ライターが利用できれば取り込めます。

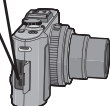
※1 Internet Explorer 6.0 以上がインストールされている必要があります。
お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※2 [AVCHD Lite]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使って取り込んでください。

パソコンと接続する（つづき）

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

写真、[MOTION JPEG] 動画を取り込む（[AVCHD Lite] 動画以外）

準備：本機とパソコンの電源を入れる。
　　　内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。

● 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC7）を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」（P147）をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊される恐れがあります。

1 USB接続ケーブル（付属）を本機とパソコンに挿入する

● **付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。**

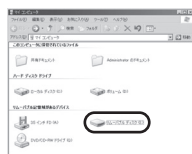
2 ▲/▼ で [PC] を選び、[MENU/SET] を押す

USB USB モード
USBモードを
選択してください
PictBridge(PTP)
PC
選択　決定

● セットアップメニューで[USBモード]（P32）を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPCと接続します。接続のたびに設定する必要がないので、便利です。
● [USBモード]を[PictBridge（PTP）]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。
[キャンセル]（中止）を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。
[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

3 「マイコンピュータ」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

● Macintoshの場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます）

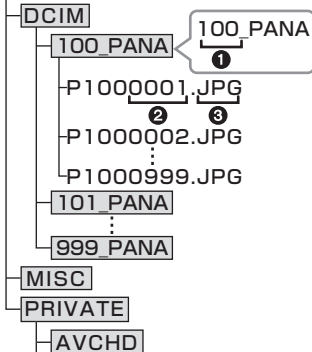
4 「DCIM」フォルダーをダブルクリックする

5 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップする

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

- パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
  アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

お知らせ

- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをおすすめします。
- 本機の電源を切ってからACアダプター(別売)を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。

■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る(フォルダー構造)

- パソコンで加工したフォルダーや画像はカメラ本体で再生できません。
  パソコンからカードに画像を書き込む際には、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使うことをおすすめします。

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG: 画像
　MOV: Motion JPEG 動画
　RW2: RAW ファイルの画像
MISC: DPOFプリント
　お気に入り
AVCHD: AVCHD Lite 動画

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
- セットアップメニューの[番号リセット](P31)実行後
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合
  (他社のカメラで撮影した場合など)
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

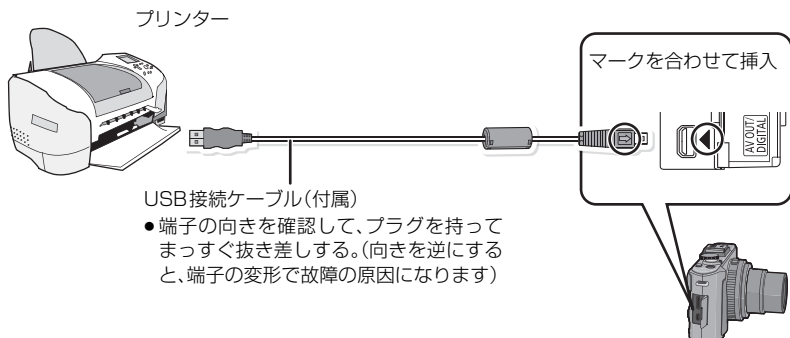
■ PTPモードで接続する
(Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7/Mac OS Xのみ)

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。
カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードでは [AVCHD Lite] で撮影された動画は再生できません。

プリントする

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備：本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC7）を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

1 USB接続ケーブル（付属）を本機とプリンターに挿入する

- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[ ]が表示されます。[ ]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

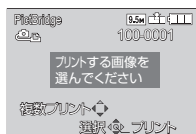
2 ▲/▼で[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをおすすめします。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 本機の電源を切ってからACアダプター（別売）を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 接続中は内蔵メモリー/カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度USB接続ケーブルを抜き、カードを入れて（または取り出して）から接続し直してください。
- 動画はプリントできません。

画像を選んで1枚ずつプリントする

1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

- メッセージは約2秒後に消えます。

2 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については150ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

1 ▲を押す

2 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。

PictBridge
複数選択
全画像
プリント設定(DPOF)
お気に入り
戻る 選択 決定

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[DISPLAY]を押すとプリントする画像に[🖶]が表示されます。(もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます) ● 選択が終了したら[MENU/SET]を押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定(DPOF)	[プリント設定]で設定(P134)された画像のみをプリントします。
お気に入り※	[お気に入り]設定(P133)された画像のみをプリントします。

※[お気に入り]が[ON]で、設定済みの画像があるときのみ(P133)

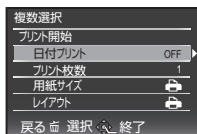
3 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については150ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

プリントする（つづき）

プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定(DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

日付プリント

項目	設定内容
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。

プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
🖶	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
(プリンターアイコン)	プリンターの設定が優先されます。
(1面ふちなしアイコン)	1面ふちなし印刷
(1面ふちありアイコン)	1面ふちあり印刷

項目	設定内容
(2面アイコン)	2面印刷
(4面アイコン)	4面印刷

● プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[(4面アイコン)]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[(4面アイコン)]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

● プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
● プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
● RAW ファイルをプリントする場合、本機で同時に記録された JPEG 画像がプリントされます。JPEG 画像がない場合はプリントされません。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

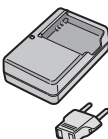
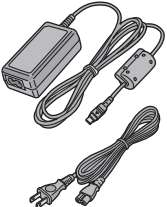
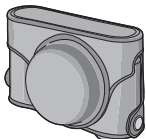
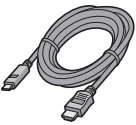
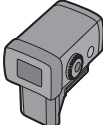
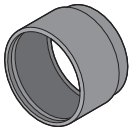
[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

● **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[DISPLAY]を押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

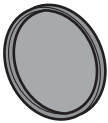
お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(個人認証またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介

品名・品番	
品名: バッテリーパック **品番:** DMW-BCJ13	
品名: バッテリー チャージャー **品番:** DMW-BTC5	
品名: DCカプラー※ **品番:** DMW-DCC7 **品名:** ACアダプター※ **品番:** DMW-AC5	
品名: 本革ケース **品番:** DMW-CLX5	

※ **DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。**
単独では使用できません。

品名・品番	
品名: HDMIミニケーブル **品番:** RP-CDHM15 RP-CDHM30	
品名: フラッシュライト **品番:** DMW-FL220 DMW-FL360 DMW-FL500	
品名: 外部ライブビュー ファインダー **品番:** DMW-LVF1	
品名: 外部光学 ファインダー **品番:** DMW-VF1	

品名: レンズアダプター 品番: DMW-LA6	

本機に取り付けるにはレンズアダプター(DMW-LA6)が必要です。	
品名: ワイドコンバージョンレンズ 品番: DMW-LWA52	
品名: PLフィルター(サーキュラータイプ) 品番: DMW-LPL52	
品名: MCプロテクター 品番: DMW-LMC52	
品名: NDフィルター 品番: DMW-LND52	

品名: SDメモリーカード SDHCメモリーカード SDXCメモリーカード	

記載の品番は2010年7月現在のものです。変更されることがあります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。

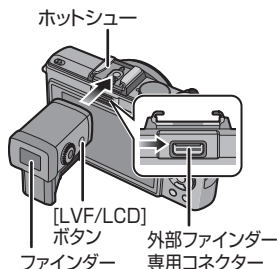
http://p-mp.jp/cpm

外部ライブビューファインダー（別売）を使う

外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)を使用すると、ローアングル撮影時などでも撮影画面をライブビューファインダーで見ることができます。

準備:
- 本機の電源スイッチを[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じる。
- 本体に取り付けられているホットシューカバーを取り外してください。(P14)

1 ホットシューに外部ライブビューファインダーを奥まで確実に差し込む

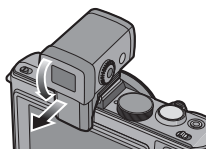
- 外部ライブビューファインダーの下部を指で押して、端子部を確実に差し込んでください。
(ファインダー部分を押さないでください)

2 本機の電源スイッチを[ON]にする

- 液晶モニターに[▣]が表示されます。表示されない場合は、正しく装着されていない可能性があります。

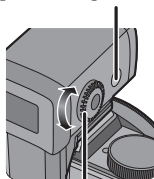
3 外部ライブビューファインダーの[LVF/LCD]ボタンを押して切り換える

- LCD(液晶モニター)表示とLVF(ライブビューファインダー)表示を切り換えることができます。
- [LVF/LCD]ボタンによる切り換えはデジタルカメラの電源スイッチを[OFF]にしても保持されます。
- [LVF/LCD]ボタンによる切り換えは撮影モードと再生モードのそれぞれに、異なる表示が保持できます。
- セットアップメニューの[モニター優先]を[ON]に設定すると、撮影モードから再生モードに切り換えたときに自動で液晶モニターが点灯します。(P50)

■ 外部ライブビューファインダーを取り外す場合

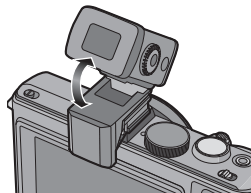
1 電源スイッチを[OFF]にする
2 外部ライブビューファインダーのアングルを変えている場合は、元の位置へ閉じる
3 矢印の方向に引いて取り出す
- ホットシューカバーを元の位置に取り付けておいてください。

■ 視度調整について

使う前に、視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるようにします。

ファインダー内の表示を見て、はっきり合うところまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。

■ 撮影アングルの設定について

撮影アングルに合わせて(約 0°～ 90°)見やすい角度に設定してください。

90°以上開かないでください。故障の原因となります。

- 角度を開いた状態でフラッシュ撮影した場合は、フラッシュ光がさえぎられることがあります。

お知らせ

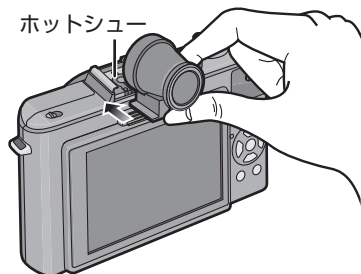
- 取り付け･取り外しの際は、ゆっくりとていねいに行ってください。
- 外部ライブビューファインダーは、外部フラッシュ(別売:DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500)との併用はできません。
- ショルダーストラップ装着時は、外部ライブビューファインダーに引っかけないようにお気をつけください。
- 外部ライブビューファインダー装着時は、脱落の恐れがありますので、外部ライブビューファインダーのみを持たないようにしてください。
- アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- 詳しくは、外部ライブビューファインダーの説明書をお読みください。

外部光学ファインダー(別売)を使う

外部光学ファインダー(別売:DMW-VF1)を使用すると、W端時の撮影画面をファインダーで見ることができます。

準備:
- 本機の電源スイッチを[OFF] にし、内蔵フラッシュを閉じる。
- 本体に取り付けられているホットシューカバーを取り外してください。(P14)

1 ホットシューに外部光学ファインダーを奥まで確実に差し込む

- 外部光学ファインダーの下部を指で押して、差し込んでください。
  (レンズ部分を押さないでください)
- 取り付けは、ゆっくりていねいに行ってください。
- 取り外すときは、ゆっくり引き抜いてください。

2 撮影メニューから [外部光学ファインダー] を選ぶ(P25)

- [外部光学ファインダー] については、116 ページをお読みください。

3 ▲/▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] を押して設定する

- [DISPLAY]を数回押すことで、液晶モニターを画面表示なしに切り換えることができます。(P49)

お知らせ

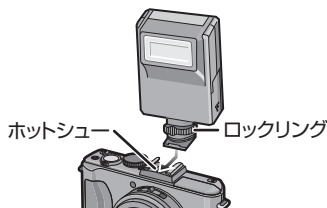
- 外部ファインダーの視野枠は、24 mm (35 mmフィルムカメラ換算、横縦比3:2、W端)を示しています。
- 枠表示は撮影範囲の目安です。正しくは液晶モニターをご確認ください。
- レンズ表面に汚れが付いた場合、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 取り外しの際は、本機の電源スイッチを[OFF]にしてから行ってください。
- 外部光学ファインダーは、外部フラッシュ(別売:DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500)との併用はできません。
- 詳しくは、外部光学ファインダーの説明書をお読みください。

外部フラッシュ(別売)を使う

外部フラッシュ(別売:DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500)を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

準備:
- 本機の電源スイッチを[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じる。
- 本体に取り付けられているホットシューカバーを取り外してください。(P14)

■ 専用フラッシュライト(別売:DMW-FL220)を使う場合

1 ホットシューに専用フラッシュライトを取り付け、本機と専用フラッシュライトの電源を入れる
- 専用フラッシュライトのロックリングは、確実に締め込んでください。

2 撮影メニューから[フラッシュ]を選ぶ(P25)

3 ▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す
- 表示される画面は、専用フラッシュライトのフラッシュモードによって異なります。

撮影
手ブレ補正
AF補助光
フラッシュ
フラッシュシンクロ
フラッシュ光量調整
選択 決定

4 [MENU/SET]を押して、メニューを終了する
- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- 外部フラッシュ接続中は以下のアイコンが表示されます。

/ :外部フラッシュ発光

/ :外部フラッシュ発光禁止

■ 本機(DMC-LX5)との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合
- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本機側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることのできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。(シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。)

外部フラッシュ(別売)を使う (つづき)

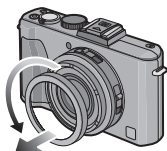
お知らせ

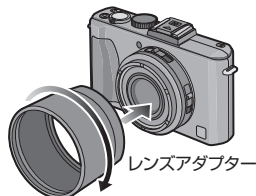
- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 専用フラッシュライト以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源スイッチが[OFF]でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外すか、外部フラッシュを発光禁止にしてください。
- 外部フラッシュ接続中は、内蔵フラッシュは使えません。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をおすすめします。
- 取り外しの際は、本機の電源スイッチを[OFF]にしてから行ってください。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落の恐れがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時に[ホワイトバランス]を[⚡WB]に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。(P104)
- 広角時に近くで撮影すると、画面の下部がケラレる場合があります。
- 外部フラッシュは、外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)または外部光学ファインダー(別売:DMW-VF1)との併用はできません。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

コンバージョンレンズ(別売)を使う

ワイドコンバージョンレンズを使用すると、風景などをより広角に撮影することができます。
準備：本機の電源スイッチを[OFF]にし、レンズキャップを取り外す。

1 レンズリングフロントを取り外す

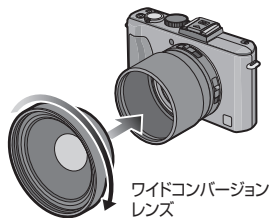
●レンズリングフロントの紛失にお気をつけください。

2 レンズアダプター(別売：DMW-LA6)を取り付ける

●ワイドコンバージョンレンズとフィルターを併用することはできません。必ず取り外してからワイドコンバージョンレンズを取り付けてください。
●ゆっくりていねいに回してください。

3 ワイドコンバージョンレンズ(別売：DMW-LWA52)を取り付ける

●レンズアダプターとワイドコンバージョンレンズのねじ部がしっかり締まっていることを確認してください。

■ワイドコンバージョンレンズ使用時の撮影可能範囲

●カメラ本体の焦点距離の0.75倍になります。

ズーム倍率	実際の倍率	35 ミリ換算
1 ×	0.75×	18 mm

4 撮影メニューから[コンバージョン]を選ぶ(P25)

●[コンバージョン]については、116 ページをお読みください。

5 ▲/▼で[ ]を選び、[MENU/SET]を押して設定する

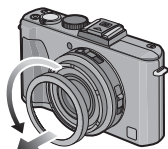
お知らせ

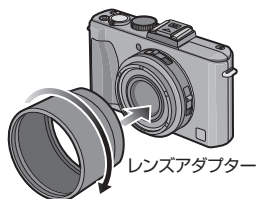
● **コンバージョンレンズを使用するには、レンズアダプター(別売：DMW-LA6)が必要です。**
●レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)が付いた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
●ワイドコンバージョンレンズを外したときは、[コンバージョン]を[OFF]にしてください。
●近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
●詳しくは、ワイドコンバージョンレンズの説明書をお読みください。
●取り外しの際は、本機の電源スイッチを[OFF]にしてから行ってください。
●[コンバージョン]を[ ]にした場合、フラッシュは[ ]に固定されます。
●付属のレンズキャップをレンズアダプター、ワイドコンバージョンレンズと同時に取り付けることはできません。

フィルター(別売)を使う

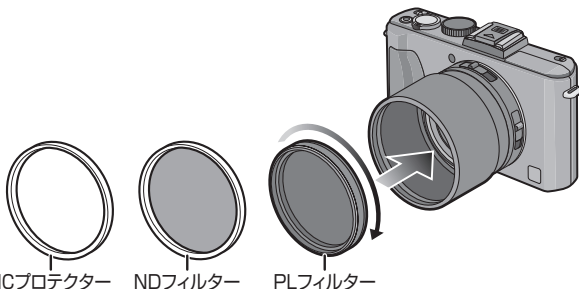
MCプロテクター(別売:DMW-LMC52)は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。
NDフィルター(別売:DMW-LND52)は、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8(3絞り分)に減少させることができます。
PLフィルター(別売:DMW-LPL52)は、金属や球面以外(平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など)からの反射光をおさえ、コントラストを強調する写真を撮影することができます。
準備: 本機の電源スイッチを[OFF]にし、レンズキャップを取り外す。

1 レンズリングフロントを取り外す

- レンズリングフロントの紛失にお気をつけください。

2 レンズアダプター(別売:DMW-LA6)を取り付ける

- ゆっくりていねいに回してください。

3 フィルターを取り付ける

- ゆっくりていねいに回してください。

MCプロテクター　NDフィルター　PLフィルター

- レンズアダプターとフィルターのねじ部がしっかり締まっていることを確認してください。

お知らせ

- **フィルターを使用するには、レンズアダプター(別売:DMW-LA6)が必要です。**
- **レンズアダプターが付いた状態でフラッシュ撮影すると、フラッシュの光がレンズアダプターに遮られることがあります。**
- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを強く締めすぎると、外れなくなる恐れがありますので、強く締めないようにしてください。
- フィルターが落下すると、壊れる恐れがあります。取り付けるときは、落とさないようにお気をつけください。
- フィルターに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わないことがありますので、お気をつけください。
- 詳しくは、各種フィルターの説明書をお読みください。
- 取り外しの際は、電源スイッチを[OFF]にしてから行ってください。
- 付属のレンズキャップをレンズアダプター、フィルターと同時に取り付けることはできません。

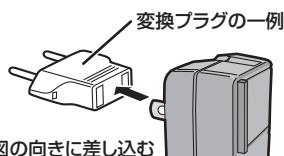
海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付けかた

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

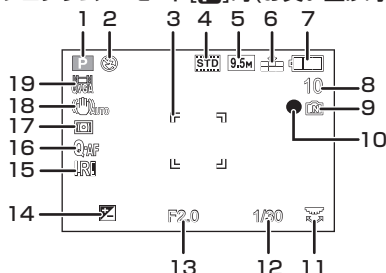
■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

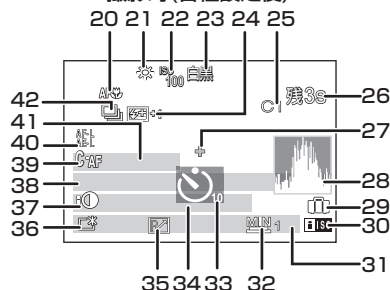
セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

画面表示

画面表示は、本機の操作状態を示しています。

プログラムAEモード[P]時(お買い上げ時)

撮影時(各種設定後)

■ 撮影時

1 撮影モード
2 フラッシュモード(P52)
3 AF エリア(P37)
4 フィルムモード(P98)
5 記録画素数(P100)
6 クオリティ(P101)
7 バッテリー残量(P18)
8 記録可能枚数※1(P181)
フォーカス(P37):●
9 内蔵メモリー(P22)
カード(P22):(記録時のみ表示)
10 記録動作
11 後ダイヤル操作
(P38、45、46、62、65、66、68、88、108)
ISO 感度(P102)
12 シャッタースピード(P37)
13 絞り値(P37)
14 露出補正(P62)
15 超解像(P113)
16 クイックAF(P109)
17 測光モード(P110)
18 手ブレ補正(P114)
手ブレ警告(P37):
19 撮影モード(動画撮影時)(P84)
画質設定(P84)

20 AFマクロ撮影(P58)
追尾AF(P107):
MF(P68):MF
風音低減(P117):
21 ホワイトバランス(P103)
ホワイトバランス微調整(P104)
22 ISO感度(P102)
ISO感度上限設定(P102)
23 カラーエフェクト(P41)
24 フラッシュ光量調整(P56)
25 カスタムセット(P72)
26 記録可能時間(P82):残XXhXXmXXs※2
27 スポット測光ターゲット(P110)
28 ヒストグラム表示(P51)
29 トラベル日付(P95)
記録経過時間(P82)
30 インテリジェント ISO(P102)
追尾AF操作(P40、107)

31 現在日時/旅行先設定(P97)※3:
ズーム/EX光学ズーム(P42)/
iAズーム(P42、113)
デジタルズーム(P42、113):
EZ iA ZOOM W T 1X
ステップズーム(P44、113):
W 35 50 70 T

32 下限シャッター速度(P112)

33 セルフタイマーモード(P59)

34 月齢/年齢※4(P78)
旅行先※3(P95)
フォーカス距離(P68)

35 プログラムシフト(P38)

36 液晶モード(P28)

37 暗部補正(P110)

38 名前※4(P78)

39 コンティニュアスAF(P109)
AF補助光(P114):AF
AF ロック(P109):AF-L

40 AF/AE ロック(P109)
AE ロック(P109):AE-L

41 トラベル経過日数(P95)

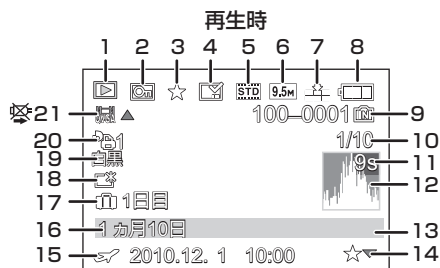
42 連写(P112)
オートブラケット(P63):
アスペクトブラケット(P63):
ホワイトバランスブラケット(P104):WB
多重露出(P110):

※1 残り枚数が100000枚以上の場合は、[+99999]と表示されます。

※2 hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

※3 電源を入れたとき/時計設定後/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

※4 シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]で電源を入れた場合に約5秒間表示されます。

画面表示（つづき）

■ **再生時**

1 再生モード(P45)
2 プロテクト(P135)
3 お気に入り表示(P133)
4 文字焼き込み済み表示(P128)
5 フィルムモード(P98)
6 記録画素数(P100)
7 クオリティ(P101)
8 バッテリー残量(P18)
9 フォルダー・ファイル番号(P147)
内蔵メモリー(P22)
再生経過時間(P123)：XXhXXmXXs ※1
10 画像番号/トータル枚数
11 動画記録時間(P123)：XXhXXmXXs ※1
12 ヒストグラム表示(P51)
13 撮影情報(P49)
14 お気に入り設定(P133)
15 撮影日時/ワールドタイム(P97)
名前※2(P78、92)
旅行先※2(P95)
タイトル※2(P126)
16 月齢/年齢(P78)
17 トラベル経過日数(P95)
18 パワーLCDモード(P28)
19 カラーエフェクト(P41)
20 プリント枚数(P134)
21 動画再生(P123)：QVGA▲/SH▲
画質設定(P84)：QVGA/SH
ケーブル切断禁止アイコン(P148)

※1 h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。
※2 [タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニター/外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)に文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードは書込み禁止スイッチが「禁止」になっています	カードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P22)
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P135)消去をしてください。
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P33)してください。
設定枚数をこえました	[複数消去](P48)、[お気に入り](P133)、[タイトル入力](P126)、[文字焼き込み](P128)、[リサイズ(縮小)](P130)の複数設定時に一度に設定できる枚数を超えています。 設定枚数を減らしてから、もう一度操作を行ってください。 お気に入り設定が999枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ) ● DCF規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか?	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマット(P33)し直してください。 データは消去されます。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか?	本機では使用できないフォーマットです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P33)し直してください。
電源を入れ直してください/システムエラー	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メッセージ表示（つづき）

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です/このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。(P22) ●SDメモリーカード(8 MB～2 GB) ●SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB) ●SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)
カードを入れ直してください/別のカードでお試しください	●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
リードエラー/ライトエラー カードを確認してください	●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	●[AVCHD Lite]で動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class4」以上のカードを使用してください。 また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。 ※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。 ●「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P33)することをおすすめします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
このカードは本機でフォーマットされていないため動画記録には適しません	パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合、書き込み速度が低下しているため、途中で動画撮影が終了する場合があります。そのときはバックアップをとり、本機でフォーマット(P33)してください。
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません	●パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P33)してください。 ●別のカードを入れてお試しください。

メッセージ	実行していただきたいこと
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。(P147) パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P33)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P31)
16:9TV用で出力します/ 4:3TV用で出力します	●本機にAVケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET]を押してください。 ●[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P32) ●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P146、148)
プリンタービジー プリンターを確認してください	プリンター側が印刷できない状態です。 プリンターを確認してください。
バッテリー残量が不足しています	バッテリー残量が少なくなっています。充電してください。
このバッテリーは使えません	●本機では認識できないバッテリーです。パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。端子部のごみなどを取り除いてください。

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P168～174)をお試しください。

それでも解決できない場合は、**撮影モードでセットアップメニューの[設定リセット](P31)を行うと症状が改善する場合があります。**

■ バッテリー、電源について

Q(質問)	A(回答)
電源スイッチを[ON]にしても動作しない。	● バッテリーが正しい向きに入っていません。(P20) ● バッテリーが消耗しています。充電してください。
電源スイッチを[ON]にしているのに、液晶モニターが消灯している。	● [外部光学ファインダー]が[ON](P116)になっていませんか？ → [DISPLAY]を押して、液晶モニター表示に切り換えてください。 ● 外部ライブビューファインダー(別売：DMW-LVF1)表示になっていませんか？ → 外部ライブビューファインダー(別売)の[LVF/LCD]を押して、液晶モニター表示に切り換えてください。(P154) ● [エコモード]の[自動液晶 OFF](P30)が働いていませんか？ → シャッターボタンを半押しして、解除してください。 ● バッテリーが消耗しています。充電してください。
電源スイッチを[ON]にしてもすぐに切れる。	● バッテリーが消耗しています。充電してください。 ● 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 → [エコモード](P30)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
電源が勝手に切れる。	● ビエラリンク(HDMI)対応のテレビとHDMIミニケーブル(別売)で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 → ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク]を[OFF]に設定してください。(P32)
充電[CHARGE]ランプが点滅する。	● バッテリーが高温、あるいは低温になりすぎていませんか？その場合、充電時間が通常よりも長くなるか、充電が完了しない場合もあります。 ● チャージャーやバッテリーの端子部が汚れていませんか？ → 乾いた布でふき取ってください。

■ 撮影について

Q(質問)	A(回答)
画像が撮れない。	● モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？ ● 内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ → 不要な画像を消去して容量を増やしてください。(P48)
撮影した画像が白っぽい。	● レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 → 汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒(P12)を出した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
撮影した画像の周囲が暗くなる。	● W端付近で至近距離のフラッシュ撮影した画像ではありませんか？ → 少しズームしてから撮影してください。(P42) ● マイカラーモードの[ピンホール]で撮影した画像ではありませんか？

■ 撮影について(つづき)

Q(質問)	A(回答)
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→露出が正しく補正されているか確認してください。(P62) ●[下限シャッター速度]を速く設定すると暗く写りやすくなります。 →[下限シャッター速度](P112)を遅く設定してください。
1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。	→[マルチフィルム](P99)またはホワイトバランスブラケット(P104)の設定を解除してください。 →[オートブラケット](P63)、[アスペクトブラケット](P63)、[連写](P112)を[OFF]に設定してください。 ●シーンモードの[高速連写](P79)または[フラッシュ連写](P80)になっていませんか?
ピントが合わない。	●撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 →被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ●ピントが合う範囲から外れています。(P36) ●手ブレや被写体ブレしています。(P37)
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	→暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P34) →遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー(P59)を使って撮影してください。
[オートブラケット]/[アスペクトブラケット]/ ホワイトバランスブラケット撮影ができない。	●記録可能枚数が2枚以下ではありませんか?
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	●ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか?(お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます) →ISO感度を低くしてください。(P102) →[フィルムモード]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P98) →明るい場所で撮影してください。 ●シーンモードの[高感度]または[高速連写]に設定していませんか?高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	●蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
撮影時やシャッター半押し時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじが出たり、液晶モニターの一部または全体が赤っぽくなることがある。	●CCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。 ●太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。

■ 撮影について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
動画撮影が途中で止まる。	● [AVCHD Lite]で動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class4」以上のカードを使用してください。 また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。 ※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。 ● 使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合やパソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット（P33）することをおすすめします。
ズームが正常に働かない。	● [ステップズーム]（P113）を [ON] に設定していませんか？ ● [コンバージョン]（P116）を[W] に設定していませんか？
被写体をロックできない。（動体追尾できない）	● 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AF枠に合わせて設定してください。（P107）

■ レンズについて

Q（質問）	A（回答）
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。

■ 液晶モニター/ 外部ライブビューファインダー（別売：DMW-LVF1）について

Q（質問）	A（回答）
電源 [ON] 中に、液晶モニターが消える。	● [エコモード]の[自動液晶OFF]（P30）が働くと、液晶モニターが消灯し、動作表示ランプが点灯します。[ただし、ACアダプター（別売：DMW-AC5）使用時を除く]
液晶モニター/ 外部ライブビューファインダー（別売）の明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	● この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ● ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	● 電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	● [パワーLCD] になっていませんか？（P28）
液晶モニターに画像が出ない。	● [外部光学ファインダー]が[ON]（P116）になっていませんか？ → [DISPLAY] を押して、液晶モニター表示に切り換えてください。 ● 外部ライブビューファインダー（別売）表示になっていませんか？ → 外部ライブビューファインダー（別売）の[LVF/LCD]を押して、液晶モニター表示に切り換えてください。（P154）

■ 液晶モニター/外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)について(つづき)

Q(質問)	A(回答)
外部ライブビューファインダー(別売)の[LVF/LCD]を押しても液晶モニターと外部ライブビューファインダーが切り換わらない。	●パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面は液晶モニター表示のみになります。
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	●暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。
外部ライブビューファインダー(別売)撮影で目を動かしたり、カメラを速く動かしたときに赤や緑、青のちらつきが見える。	●これは外部ライブビューファインダー(別売)の駆動方式の特徴であり異常ではありません。記録される画像には問題ありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	●フラッシュを閉じていませんか? →[⚡OPEN]をスライドさせて、フラッシュを開いてください。(P52) ●[オートブラケット](P63)、[マルチフィルム](P98)または[連写](P112)を設定しているときは、フラッシュは使用できません。
フラッシュが複数回発光する。	●赤目軽減(P52)にしている場合は、2回発光します。 ●シーンモードの[フラッシュ連写](P80)になっていませんか?

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	●[回転表示](P132)を[ON]に設定しています。
再生できない。 撮影した画像がない。	●[▶]を押しましたか? ●内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか? →カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ●パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか?その場合、本機で再生することはできません。 ●[モード別再生]、[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]になっていませんか? →[通常再生]に設定してください。(P47)

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 再生について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
フォルダー・ファイル番号が[－]で表示されたり、画面が黒くなる。	● 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ● 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ → このような画像を消去するには、フォーマット（P33）してください。（他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください）
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	● 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？（P23） ● パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	● 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	● デジタル赤目補正（[⚡A◎]、[⚡◎]、[⚡S◎]）が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 → フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを[⚡A]、[⚡]または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをおすすめします。（P115）
画面に「サムネイル表示」と表示される。	● 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
動画に「カチッ」という音が録音される。	● 動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	● 正しく接続されていますか？ → テレビの入力切換を外部入力にしてください。 ● パソコンやプリンターと接続しているとき、[HDMI]端子からの出力はできません。 → 本機をテレビにのみ接続してください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	● テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて(つづき)

Q(質問)	A(回答)
テレビで動画の再生ができない。	● カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか? → AVケーブル(付属)またはHDMIミニケーブル(別売)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P138、139) → [AVCHD Lite] で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークがついている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→ 本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P32)
ビエラリンク(HDMI)が働かない。	● HDMIミニケーブル(別売)で正しく接続されていますか?(P139) → HDMIミニケーブル(別売)が奥まで確実に入っていることを確認してください。 → 本機の[▶]を押してください。 ● 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか?(P32) → テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) → 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 → 本機の電源を入れ直してください。 → テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)
パソコンに接続して画像を転送できない。	● 正しく接続されていますか? ● パソコンが本機を正常に認識していますか? → 本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P32、146)
パソコンにカードが認識されない。 (内蔵メモリーになっている)	→ USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
パソコンにカードが認識されない。 (SDXCメモリーカードを使用している)	→ お使いのパソコンが SDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ → 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 → 液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブルを抜いてください。
プリンターに接続して、プリントができない。	● PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 → 本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P32、148)
プリントすると、画像の端が切れる。	→ トリミング(切抜き)や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング(切抜き)または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください) → お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

Q ＆ A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ その他

Q(質問)	A(回答)
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P114)が赤く点灯します。
画像の一部が白と黒に点滅する。	● 白とびが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。(P29) ● [ハイライト表示]が[ON]になっていませんか？
AF補助光が点灯しない。	● 撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？(P114) ● 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	● ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能･品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	● ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P23)時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0　0:00]の日付が記録されます。
ズームを使って撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、これらは異常ではありません。
ズームの動きが一瞬止まる。	● EX光学ズーム時またはiAズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	● 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。(P147)
ファイル番号がさかのぼって記録される。	● 電源スイッチを[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー･ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源スイッチを[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
月齢/年齢が正しく表示されない。	● 時計設定(P23)または誕生日設定(P78)を確認してください。
レンズ鏡筒が収納される。	● 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
放置していたら、突然デモが表示される。	● これは本機の特長を紹介する自動デモです。ボタンを押すと、元の画面に戻ることができます。

使用上のお願い

本機について

本機を落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力をかけない

- 強い衝撃が加わると、レンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター(別売:DMW-AC5)、DCカプラー(別売:DMW-DCC7)を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。

- スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

使用上のお願い（つづき）

液晶モニター/ 外部ライブビューファインダー(別売:DMW-LVF1)について

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニター/外部ライブビューファインダー(別売)が通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター/外部ライブビューファインダー(別売)は、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニター/外部ライブビューファインダー(別売)の画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

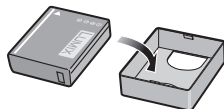
バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーは、バッテリーケース(付属)に収納してください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P161)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 20

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

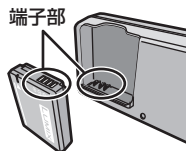
使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

本機で使用できるバッテリーについて

- 専用バッテリー(DMW-BCJ13)以外に当社が認定する他社製バッテリーについては、当社ホームページでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/info/cer_battery.html
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性などについては、当社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。
  品質・性能・安全性などについては、その製造者が責任を負います。

チャージャーについて

- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約0.1 W の電力を消費しています)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

使用上のお願い（つづき）

カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

ユーザー名を登録したり、赤ちゃんモード/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P31)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P137)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P33)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、上記の「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  （推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです）
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

画像データについて

不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。
- DCカプラーおよびACアダプター接続時、三脚/一脚の種類によっては取り付けることができないものがあります。
- 三脚/一脚の種類によっては、スピーカーがふさがれ、操作音などが聞こえにくくなる場合があります。

使用上のお願い（つづき）

−このマークがある場合は−

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数·時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)
- 被写体により記録可能枚数·時間は変動します。

■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 残り枚数が100000枚以上の場合は、[+99999] と表示されます。

画像横縦比		1:1								
記録画素数		7.5M					5.5M (EZ)			
クオリティ				RAW	RAW	RAW			RAW	RAW
内蔵メモリー(約40 MB)		12	20	2	3	4	15	26	2	3
カード	512 MB	140	220	37	41	51	165	290	38	43
	1 GB	280	440	75	83	100	330	580	78	87
	2 GB	580	900	150	170	200	680	1180	160	175
	4 GB	1140	1770	300	330	410	1340	2320	310	350
	6 GB	1740	2690	460	510	620	2030	3520	480	530
	8 GB	2330	3610	610	680	840	2720	4720	640	710
	12 GB	3520	5440	930	1030	1260	4110	7120	970	1070
	16 GB	4700	7260	1240	1370	1690	5490	9500	1290	1440
	24 GB	6830	10550	1810	1990	2450	7970	13790	1880	2090
	32 GB	9440	14570	2500	2760	3390	11010	19060	2600	2880
	48 GB	13490	21420	3670	4040	4980	15830	28020	3790	4230
	64 GB	18300	29070	4990	5490	6770	21490	38020	5140	5740

画像横縦比		1:1											
記録画素数		3.5M (EZ)				2.5M (EZ)				0.2M (EZ)			
クオリティ				RAW	RAW			RAW	RAW			RAW	RAW
内蔵メモリー(約40 MB)		18	35	3	3	37	74	3	3	310	470	4	4
カード	512 MB	200	380	40	44	400	790	45	47	3350	5030	50	50
	1 GB	400	770	82	90	810	1580	91	96	6710	10070	100	100
	2 GB	820	1570	165	180	1660	3230	185	195	12290	20480	200	200
	4 GB	1630	3090	320	360	3260	6350	360	380	24130	40220	400	400
	6 GB	2470	4700	500	550	4950	9650	550	580	36700	61160	610	620
	8 GB	3310	6290	670	740	6630	12920	740	780	49120	81870	820	830
	12 GB	5000	9490	1010	1110	10010	19490	1120	1190	74090	123490	1250	1250
	16 GB	6670	12670	1350	1490	13350	26000	1500	1580	98830	164730	1660	1680
	24 GB	9690	18390	1960	2160	19390	37760	2180	2300	143510	239180	2420	2430
	32 GB	13390	25410	2710	2990	26790	52170	3010	3180	198260	330440	3340	3370
	48 GB	19170	36420	3950	4380	36420	72850	4380	4660	182130	364270	4920	4920
	64 GB	26010	49430	5370	5950	49430	98860	5950	6330	247150	494310	6670	6670

記録可能枚数・記録可能時間（つづき）

画像横縦比		4:3												
記録画素数		10M					7M (EZ)				5M (EZ)			
クオリティ		fine	std	RAW+fine	RAW+std	RAW	fine	std	RAW+fine	RAW+std	fine	std	RAW+fine	RAW+std
内蔵メモリー（約40 MB）		9	15	1	2	2	12	20	2	2	14	26	2	2
カード	512 MB	110	165	28	30	37	135	220	29	32	160	290	30	33
	1 GB	220	330	56	62	76	270	440	59	65	320	580	61	67
	2 GB	450	680	115	125	155	560	900	120	130	660	1180	125	135
	4 GB	890	1340	220	250	300	1110	1770	240	260	1310	2320	240	270
	6 GB	1360	2030	340	380	460	1690	2690	360	390	1990	3520	370	410
	8 GB	1830	2720	460	500	620	2270	3610	490	530	2660	4720	500	550
	12 GB	2760	4110	700	760	940	3420	5440	740	800	4020	7120	760	830
	16 GB	3680	5490	940	1020	1260	4570	7260	980	1070	5370	9500	1020	1110
	24 GB	5350	7970	1360	1490	1830	6640	10550	1430	1560	7790	13790	1480	1610
	32 GB	7390	11010	1880	2060	2530	9170	14570	1980	2150	10770	19060	2050	2230
	48 GB	10710	15830	2750	3000	3710	13490	21420	2910	3160	15830	28020	3000	3280
	64 GB	14530	21490	3740	4080	5040	18300	29070	3950	4290	21490	38020	4080	4450

画像横縦比		4:3											
記録画素数		3M (EZ)				2M (EZ)				0.3M (EZ)			
クオリティ		fine	std	RAW+fine	RAW+std	fine	std	RAW+fine	RAW+std	fine	std	RAW+fine	RAW+std
内蔵メモリー（約40 MB）		18	36	2	2	46	88	2	2	230	400	2	2
カード	512 MB	200	390	31	34	490	940	35	36	2510	4310	37	37
	1 GB	400	790	64	69	990	1880	70	73	5030	8630	75	75
	2 GB	820	1610	130	140	1980	3840	140	150	10240	15360	150	150
	4 GB	1630	3170	250	280	3890	7540	280	290	20110	30170	300	300
	6 GB	2470	4820	390	420	5910	11460	430	450	30580	45870	460	460
	8 GB	3310	6460	520	570	7920	15350	580	600	40930	61400	610	620
	12 GB	5000	9740	790	860	11950	23150	870	900	61740	92610	930	930
	16 GB	6670	13000	1060	1150	15940	30880	1170	1210	82360	123540	1240	1250
	24 GB	9690	18880	1540	1670	23140	44840	1690	1760	119590	179380	1800	1810
	32 GB	13390	26080	2130	2310	31970	61950	2340	2430	165220	247830	2490	2500
	48 GB	19170	36420	3110	3370	45530	91060	3430	3570	182130	364270	3640	3670
	64 GB	26010	49430	4220	4570	61780	123570	4660	4840	247150	494310	4940	4990

画像横縦比		3:2												
記録画素数		9.5M					6.5M (EZ)				4.5M (EZ)			
クオリティ		[FINE]	[NORMAL]	RAW+[FINE]	RAW+[NORMAL]	RAW	[FINE]	[NORMAL]	RAW+[FINE]	RAW+[NORMAL]	[FINE]	[NORMAL]	RAW+[FINE]	RAW+[NORMAL]
内蔵メモリー（約40 MB）		10	15	2	2	3	12	20	2	2	14	26	2	2
カード	512 MB	110	170	29	33	41	135	220	31	34	160	290	32	36
	1 GB	220	340	60	66	83	270	450	63	70	320	580	66	72
	2 GB	460	690	120	135	165	560	910	130	140	660	1180	135	145
	4 GB	910	1370	240	260	330	1100	1800	250	280	1290	2320	260	290
	6 GB	1380	2080	370	400	500	1680	2730	390	430	1970	3520	400	440
	8 GB	1850	2790	490	540	680	2250	3660	520	570	2640	4720	540	590
	12 GB	2800	4200	750	820	1020	3390	5520	790	860	3980	7120	810	900
	16 GB	3740	5610	1000	1100	1370	4530	7370	1050	1150	5310	9500	1090	1200
	24 GB	5430	8150	1450	1600	1990	6580	10700	1530	1680	7710	13790	1580	1740
	32 GB	7500	11260	2010	2210	2750	9090	14790	2110	2320	10650	19060	2190	2410
	48 GB	11030	16550	2960	3250	4040	13000	21420	3110	3400	15170	28020	3220	3530
	64 GB	14970	22460	4010	4410	5490	17650	29070	4220	4610	20590	38020	4370	4790

画像横縦比		3:2											
記録画素数		3M (EZ)				2.5M (EZ)				0.3M (EZ)			
クオリティ		[FINE]	[NORMAL]	RAW+[FINE]	RAW+[NORMAL]	[FINE]	[NORMAL]	RAW+[FINE]	RAW+[NORMAL]	[FINE]	[NORMAL]	RAW+[FINE]	RAW+[NORMAL]
内蔵メモリー（約40 MB）		18	36	2	2	19	37	2	2	250	400	3	3
カード	512 MB	200	390	34	37	210	400	34	37	2740	4310	40	40
	1 GB	400	780	68	75	420	810	69	75	5490	8630	82	82
	2 GB	810	1570	140	150	850	1660	140	150	10240	15360	165	165
	4 GB	1600	3090	270	300	1670	3260	270	300	20110	30170	320	330
	6 GB	2440	4700	420	460	2540	4950	420	460	30580	45870	500	500
	8 GB	3270	6290	560	610	3410	6630	560	610	40930	61400	670	670
	12 GB	4930	9490	850	930	5140	10010	850	930	61740	92610	1010	1010
	16 GB	6580	12670	1130	1240	6860	13350	1140	1240	82360	123540	1350	1360
	24 GB	9560	18390	1650	1800	9960	19390	1660	1810	119590	179380	1960	1970
	32 GB	13210	25410	2280	2490	13760	26790	2290	2500	165220	247830	2710	2730
	48 GB	19170	36420	3340	3640	20230	36420	3370	3670	182130	364270	3950	4000
	64 GB	26010	49430	4530	4940	27460	49430	4570	4990	247150	494310	5370	5430

記録可能枚数・記録可能時間（つづき）

画像横縦比		16:9												
記録画素数		9M					6M（EZ）				4.5M（EZ）			
クオリティ		▲▲	▲	RAW ▲▲	RAW ▲	RAW	▲▲	▲	RAW ▲▲	RAW ▲	▲▲	▲	RAW ▲▲	RAW ▲
内蔵メモリー（約40 MB）		10	15	2	2	3	12	21	2	2	14	26	2	2
カード	512 MB	115	175	31	35	44	135	220	33	36	155	290	34	38
	1 GB	230	350	64	71	89	270	460	67	74	310	580	69	77
	2 GB	470	710	130	145	180	550	930	135	150	640	1180	140	155
	4 GB	920	1400	250	280	350	1080	1820	260	300	1260	2320	270	310
	6 GB	1410	2130	390	430	540	1650	2770	410	450	1930	3520	420	470
	8 GB	1880	2850	520	580	730	2210	3720	540	610	2580	4720	570	630
	12 GB	2840	4300	790	870	1100	3330	5610	820	920	3890	7120	860	950
	16 GB	3800	5740	1060	1170	1470	4450	7480	1100	1230	5200	9500	1140	1270
	24 GB	5510	8340	1540	1700	2130	6460	10870	1600	1780	7550	13790	1660	1850
	32 GB	7620	11520	2130	2350	2940	8930	15010	2220	2470	10430	19060	2300	2560
	48 GB	11030	16550	3110	3430	4330	13000	21420	3250	3600	15170	28020	3370	3750
	64 GB	14970	22460	4220	4660	5880	17650	29070	4410	4890	20590	38020	4570	5090

画像横縦比		16:9											
記録画素数		2.5M（EZ）				2M（EZ）				0.2M（EZ）			
クオリティ		▲▲	▲	RAW ▲▲	RAW ▲	▲▲	▲	RAW ▲▲	RAW ▲	▲▲	▲	RAW ▲▲	RAW ▲
内蔵メモリー（約40 MB）		18	35	2	3	42	83	3	3	310	470	3	3
カード	512 MB	195	380	36	39	450	880	40	42	3350	5030	43	43
	1 GB	390	770	72	80	910	1770	81	85	6710	10070	88	88
	2 GB	800	1570	145	160	1860	3610	165	170	12290	20480	180	180
	4 GB	1580	3090	290	320	3650	7090	320	340	24130	40220	350	350
	6 GB	2410	4700	440	480	5560	10790	490	520	36700	61160	530	540
	8 GB	3230	6290	590	650	7440	14440	660	690	49120	81870	720	720
	12 GB	4870	9490	900	980	11220	21790	1000	1050	74090	123490	1080	1090
	16 GB	6500	12670	1200	1320	14970	29060	1340	1400	98830	164730	1450	1460
	24 GB	9440	18390	1740	1910	21740	42200	1940	2030	143510	239180	2100	2120
	32 GB	13040	25410	2410	2640	30040	58310	2690	2810	198260	330440	2910	2930
	48 GB	19170	36420	3530	3870	40470	72850	3950	4130	182130	364270	4280	4280
	64 GB	26010	49430	4790	5250	54920	98860	5370	5610	247150	494310	5810	5810

■ 記録可能時間(動画撮影時)

ファイル形式		AVCHD Lite		
画質設定		SH	H	L
内蔵メモリー(約40 MB)		使用できません		
カード	512 MB	3分00秒	4分00秒	7分00秒
	1 GB	7分00秒	9分00秒	13分00秒
	2 GB	15分00秒	20分00秒	29分00秒
	4 GB	30分00秒	40分00秒	57分00秒
	6 GB	46分00秒	1時間1分	1時間28分
	8 GB	1時間2分	1時間22分	1時間58分
	12 GB	1時間34分	2時間4分	2時間59分
	16 GB	2時間6分	2時間45分	3時間59分
	24 GB	3時間4分	4時間00分	5時間47分
	32 GB	4時間14分	5時間32分	8時間00分
	48 GB	6時間13分	8時間8分	11時間45分
	64 GB	8時間27分	11時間3分	15時間58分

ファイル形式		MOTION JPEG			
画質設定		HD	WVGA	VGA	QVGA
内蔵メモリー(約40 MB)		—	—	—	1分26秒
カード	512 MB	2分00秒	5分10秒	5分20秒	15分40秒
	1 GB	4分00秒	10分20秒	10分50秒	31分20秒
	2 GB	8分20秒	21分20秒	22分10秒	1時間3分
	4 GB	16分30秒	41分50秒	43分40秒	2時間5分
	6 GB	25分10秒	1時間3分	1時間6分	3時間11分
	8 GB	33分40秒	1時間25分	1時間28分	4時間15分
	12 GB	50分50秒	2時間8分	2時間14分	6時間26分
	16 GB	1時間8分	2時間52分	2時間59分	8時間35分
	24 GB	1時間38分	4時間9分	4時間19分	12時間27分
	32 GB	2時間16分	5時間45分	5時間59分	17時間13分
	48 GB	3時間20分	8時間27分	8時間47分	25時間18分
	64 GB	4時間32分	11時間28分	11時間56分	34時間21分

- [AVCHD Lite]で動画を連続で撮影できるのは、最大13時間3分20秒までです。画面には13時間3分20秒までしか表示されません。ただし、バッテリー残量によっては、撮影が途中で終了する場合があります。(P19)
- [MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

お知らせ

- 画面に表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- シーンモードの[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。

仕様

電源	DC 5.1 V
消費電力	1.4 W(撮影時) 0.8 W(再生時)

カメラ有効画素数	1010万画素
撮像素子	1/1.63型CCD　総画素数1130万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学3.8倍ズーム　f=5.1 mm～19.2 mm(35 mmフィルムカメラ換算:24 mm～90 mm)/F2.0(W端時)～F3.3(T端時)
デジタルズーム	最大4倍
EX光学ズーム	最大6.7倍(300万画素 [3M] 以下時)
フォーカス	通常/AFマクロ/マニュアルフォーカス 顔認識/追尾AF/23 点 /1 点
撮影範囲	通常:50 cm～∞ マクロ/インテリジェントオート: 1 cm(W端時)/30 cm(T端時)～∞ シーンモード:上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影: 連写速度 連写枚数	約2.5コマ/秒 最大5コマ(スタンダード)、最大3コマ(ファイン)
高速連写: 連写速度 連写枚数	約10コマ/秒(速度優先時)、約6.5コマ/秒(画質優先時) 記録画素数:2.5M(1:1)、3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9) 約15枚～100枚
ISO感度 (標準出力感度)	オート/インテリジェントISO/80/100/200/400/800/1600/3200/6400/12800 シーンモードの[高感度]:1600～12800
最低照度	約 3 lx(iローライト時)
シャッタースピード	60秒～1/4000秒、シーンモードの[星空]:15秒、30秒、60秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/ フラッシュ/白熱灯/セットモード 1/セットモード 2/ 色温度設定
露出	プログラムAE(P)、絞り優先AE(A)、シャッター優先AE(S)、マニュアル露出(M)、露出補正(1/3 EVステップ、−3 EV～+3 EV)
測光方式	マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光
液晶モニター	3.0型TFT液晶(3:2)(約46万ドット)(視野率約100%)
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 撮影可能範囲:約80 cm～約7.2 m(W端、[ISO AUTO]設定時)
	オート/赤目軽減オート/強制発光(赤目軽減強制発光)/ 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー(約40 MB)/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード /SDXCメモリーカード

記録画素数 　**写真**	 画像横縦比 [1:1] 設定時 2736×2736画素/2304×2304画素/ 1920×1920画素/1536×1536画素/480×480画素 画像横縦比[4:3]設定時 3648×2736画素/3072×2304画素/2560×1920画素/ 2048×1536画素/1600×1200画素/640×480画素 画像横縦比[3:2]設定時 3776×2520画素/3168×2112画素/2656×1768 画素/ 2112×1408 画素/2048×1360画素 /640×424画素 画像横縦比[16:9]設定時 3968×2232画素/3328×1872画素/2784×1568画素/ 2208×1248画素/1920×1080画素 /640×360画素
動画	AVCHD Lite（音声付き） 　[SH] 設定時 1280×720画素 　（60p 記録※ /約17 Mbps、カード使用時のみ） 　[H] 設定時 1280×720画素 　（60p 記録※ /約13 Mbps、カード使用時のみ） 　[L] 設定時 1280×720画素 　（60p 記録※ /約9 Mbps、カード使用時のみ） 　※ CCD からの出力は 30コマ/秒です MOTION JPEG（音声付き） 　[HD] 設定時 1280×720画素（30コマ/秒、カード使用時のみ） 　[WVGA] 設定時 848×480画素（30コマ/秒、カード使用時のみ） 　[VGA] 設定時 640×480画素（30コマ/秒、カード使用時のみ） 　[QVGA] 設定時 320×240画素（30コマ/秒）
クオリティ（圧縮率）	ファイン/スタンダード/RAW/RAW+JPEG ファイン / RAW+JPEG スタンダード
記録画像ファイル形式 　**写真** 　**音声付き動画**	 JPEG（DCF準拠、Exif2.3準拠）/DPOF対応 AVCHD Lite/QuickTime Motion JPEG
インターフェース 　**デジタル** 　**アナログビデオ** 　**オーディオ**	 USB 2.0（High Speed） NTSCコンポジット オーディオライン出力（モノラル）
端子 　**AV OUT/DIGITAL** 　**HDMI**	 専用ジャック（8 pin） miniHDMI　C タイプ
寸法	約 幅109.7 mm×高さ 65.5 mm×奥行き43.0 mm（突起部除く）
質量	約271 g（カード、バッテリー含む） 約233 g（本体）
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切換	なし（日本語のみ）

仕様（つづき）

専用バッテリーチャージャー: DE-A81A

定格入力	100 V－240 V　50/60 Hz
入力容量	15 VA
定格出力	DC 4.2 V　0.65 A

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BCJ13

電圧/容量	3.6 V/1250 mAh

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れなどは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話　（　　）　ー

お買い上げ日　年　月　日

修理を依頼されるときは・・・

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（165～174ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-LX5
●故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
部品代　部品および補助材料代
出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　8年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック LUMIX(ルミックス)相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。
併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。
当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	住所
北海道地区	札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241 （函館流通卸センター内）
東北地区	青森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

地区	拠点	電話番号	所在地
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 0510

さくいん

さくいん（つづき）

Q&A
その他

会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで！

- ■ 撮りかたのコツや新製品情報 http://panasonic.jp/
- ■ サポート情報 http://panasonic.jp/support/
- ■ 便利なLUMIX修理サービス http://lumix.jp/repair/

"AVCHD", "AVCHD Lite"および"AVCHD", "AVCHD Lite"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

X0710CT2091